IPSiO NX810

使用説明書
〈取り扱い編〉

ご使用の前に必ずこの「使用説明書」をお読みの上、正しくお使いください。
本書をすぐに利用できるように保管してください。

■ はじめに

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
この使用説明書は、製品の正しい使い方や使用上の注意について記載してあります。ご使用の前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、この使用説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。

株式会社リコー

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず「安全上のご注意」をお読みください。

商標

- EPSON，ESC/Pは、セイコーエプソン株式会社の登録商標です。
- Ethernetは、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
- EtherTalk，Macintosh，TrueTypeは、米国Apple Computer,Inc.の各国での登録商標または商標です。
- HP-GL，HP-GL/2，HP RTL，HP-DJ600，HP7550Aは、米国Hewlett-Packard社の商標です。
- IBM，DOS/Vは、米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- Lotus1-2-3は、Lotus Development Corporationの登録商標です。
- Microsoft，Windows，Windows NT，MS-DOSは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- NECは、日本電気株式会社の登録商標です。
- NetWareは、米国Novell,Inc.の登録商標です。
- PC98-NXシリーズ，PC-9800シリーズ，PC-9821シリーズは、日本電気株式会社の製品です。
- PC-PR201Hシリーズは、日本電気株式会社の商標です。
- PostScriptは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の各国での登録商標または商標です。
- UNIXは、X/Openカンパニーリミテッドがライセンスしているソフトウエアです。
- 一太郎は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- その他の製品名、名称は、各社の商標または登録商標です。

* Windows® 98の製品名は、Microsoft® Windows® 98 です。
* Windows® 95の製品名は、Microsoft® Windows® 95 です。
* Windows® 3.1の製品名は、Microsoft® Windows® 3.1です。
* Windows® 2000 の製品名は以下のとおりです。
　Microsoft® Windows® 2000 Professional
　Microsoft® Windows® 2000 Server
* Windows NT® 4.0の製品名は以下のとおりです。
　Microsoft® Windows NT® Server 4.0
　Microsoft® Windows NT® Workstation 4.0
* Windows NT® 3.51の製品名は以下のとおりです。
　Microsoft® Windows NT® Server 3.51
　Microsoft® Windows NT® Workstation 3.51

安全上のご注意

表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

表示の例

	△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。
	⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。 ⃠の中に具体的な禁止内容が描かれています。 （左図の場合は、“分解禁止”を表します）
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 ●の中に具体的な指示内容が描かれています。 （左図の場合は、“アースを接続してください”を表します）

本機を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

⚠警告

- アース接続してください。アース接続がされないで、万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。アース接続がコンセントのアース端子にできない場合は、接地工事を販売店またはサービス実施店に相談してください。

- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。火災や感電の原因になります。
- 延長コードの使用は避けてください。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、束ねたり、加工しないでください。また、重い物を載せたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災や感電の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

- 機械は電源コンセントにできるだけ近い位置に設置し、異常時に電源プラグを容易に外せるようにしてください。

- 本書で指定している部分以外のカバーやねじは外さないでください。機械内部には電圧の高い部分やレーザー光源があり、感電や失明の原因になります。機械内部の点検・調整・修理はサービス実施店に依頼してください。
- この機械を改造しないでください。火災や感電の原因になります。また、レーザー光洩れにより失明の恐れがあります。

- 万一、煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常状態が見られる場合は、すぐに電源スイッチ（機種によっては主電源スイッチを含みます）を切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因になります。そしてサービス実施店に連絡してください。機械が故障したり不具合のまま使用し続けないでください。
- 万一、金属、水、液体などの異物が機械内部に入った場合は、まず電源スイッチ（機種によっては主電源スイッチを含みます）を切り、電源プラグをコンセントから抜いてサービス実施店に連絡してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。

- この機械の上に花瓶、植木鉢、コップ、水などの入った容器または金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災や感電の原因になります。

- トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器を火中に投入しないでください。トナー粉がはねて、やけどの原因になります。
- トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器を廃棄する場合は、トナー粉が飛び散らないように袋に入れて、一般のプラスチック廃棄物と同様に処理してください。

本機を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

⚠注意

- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因になります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。

- プリンター本体は約40Kgあります。
- 機械を移動するときは、2人以上で両側面にある取っ手を持ち、ゆっくりと体に負担がかからない状態で持ち上げてください。無理をして持ち上げたり、乱暴に扱って落としたりすると、けがの原因になります。

- 500枚増設トレイユニットは約11Kgあります。
- 500枚増設トレイユニットを移動するときは、両側面の下部を持ち、ゆっくりと体に負担がかからない状態で持ち上げてください。無理して持ち上げたり、乱暴に扱って落としたりすると、けがの原因になります。

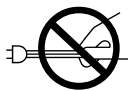
- 1000枚給紙テーブルは約22.8Kgあります。
- 1000 枚給紙テーブルを移動するときは、 2人以上で給紙テーブル上面の2本の棒を持ち、ゆっくりと体に負担がかからない状態で持ち上げてください。無理をして持ち上げたり、乱暴に扱って落としたりすると、けがの原因になります。

- 2000枚給紙テーブルは約22.8Kgあります。
- 2000 枚給紙テーブルを移動するときは、 2人以上で給紙テーブル上面の2本の棒を持ち、ゆっくりと体に負担がかからない状態で持ち上げてください。無理をして持ち上げたり、乱暴に扱って落としたりすると、けがの原因になります。

- 4ビンプリントポストは約7.1Kgあります。
- 4ビンプリントポストを移動するときは、両側面の中央部分を持ち、ゆっくりと体に負担がかからない状態で持ち上げてください。無理して持ち上げたり、乱暴に扱って落としたりすると、けがの原因になります。

- 500枚フィニッシャーは約8.3kgあります。
- 500枚フィニッシャーを移動するときは、両側面をしっかり持ち、ゆっくりと体に負担のかからない状態で持ち上げてください。無理して持ち上げたり、乱暴に扱って落としたりすると、けがの原因になります。

- 機械を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

- 連休等で長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

- 狭い部屋で長時間連続してご使用になるときは、換気にご注意ください。

- ステープラーの針がついたままの用紙の再利用や銀紙、カーボン含有紙等の導電性の用紙は使用しないでください。火災の原因になります。

- 機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

- 機械内部には高温の部分があります。紙づまりの処置の際は、本書で指定している場所以外には触れないでください。やけどの原因になります。

- オプションの取り付け、取り外しは、プリンターの電源スイッチが切れていて、プリンター本体が常温であることを確認してから行ってください。やけどの原因になります。

- 定着ユニットは高温になります。定着ユニットの交換はプリンター本体の電源を切ってから60分以上待ち、定着ユニットが常温になってから行ってください。やけどの原因になります。

- 電源プラグは年に１回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分の掃除をしてください。ほこりがたまると、火災の原因になります。

- トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器は、子供の手に触れないようにしてください。

使用上のお願い

- トナーなどの消耗品や部品は、リコー指定の製品により安全性を評価しています。安全にご使用いただくため、リコー指定の消耗品または交換部品をご使用ください。部品の交換はサービス実施店に相談してください。
- 寒い所から暖かい所に移動すると、機械内部に結露が生じることがあります。結露が生じた場合は、１時間以上放置して環境になじませてからご使用ください。
- プリンター内部の温度が上昇すると、故障の原因になります。物を置いたり、立て掛けたりして排気口や給気口をふさがないようにしてください。
- 各部のカバーを開けたままにしないでください。けがの原因になります。
- 印刷中に各部のカバーや両面ユニットを開けたり、プリンターを移動したりしないでください。
- 印刷中は給紙トレイを引き出さないでください。印刷が停止し、用紙がつまります。
- クリップなどの異物がプリンターの中に入らないようにしてください。
- 印刷中に電源を切ったり、電源ケーブルを抜かないでください。
- 印刷中にプリンターの上で紙を揃えるなど外的ショックを与えないでください。
- 日本国外へ移動された場合は、保守サービスの責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本機は、月間印刷ページ数が60,000ページ以下（A4）、１日の通電時間の合計が８時間程度の条件で、使用年数を５年と想定して設計・製造されています。月間印刷ページ数が60,000ページを超えていたり、１日に合計８時間以上電源が入っていたり、総印刷ページ数が1,200,000ページを超えたりすると、想定された年数より使用年数が短くなる場合があります。

エネルギースター

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラムとは、地球温暖化など、環境問題に対応するため、エネルギー消費効率の高いオフィス用機器の開発、導入を目的とした国際的な省エネルギー制度です。

このプログラムへの参加事業者は、製品が同プログラムの省エネルギー基準を満たしている場合に、エネルギースターロゴマークを製品に表示することができます。

本製品は、同プログラムに揚げる低電力モードなどを搭載し、省エネルギーを実現しています。

- 低電力機能
  - 本機には、低電力機能として「省エネモード」が搭載されています。一定時間本機を操作しない時間が続いたとき、自動的に電力の消費が低くなります。省エネモードは、パソコンから印刷の指示をするか、操作パネルのキーを押すと解除されます。
  - 省エネモードの設定時間は、システム条件で変更します。システム条件の変更のしかたは、P.105 「システム条件を設定する」を参照してください。
  - 機能の仕様

低電力機能	消費電力	28W以下
	省エネモードへの移行時間	30分

- 再生紙
  エネルギースタープログラムでは、環境に与える負荷の少ない再生紙の使用をお勧めしています。推奨紙などは販売担当者にご相談ください。

電波障害自主規制、高調波ガイドライン

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

高調波ガイドライン適合品

使用説明書について

同梱されている使用説明書

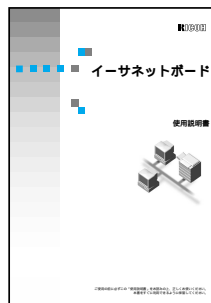
本機に同梱されている使用説明書と内容は以下のとおりです。

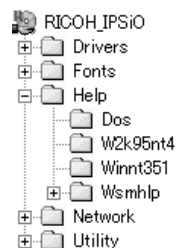
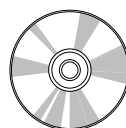
❖ セットアップガイド

同梱品の確認から、ネットワークやパソコンへの接続、プリンタードライバーをインストールして印刷できるようにするまでの手順を説明しています。

❖ 使用説明書<取り扱い編>

印刷がはじまらないときや思いどおりに印刷できないときの解決方法、紙づまりの処置や、印刷に関する情報など、本機を使用する上で重要な情報がまとめてあります。

❖ 使用説明書<イーサネットボード>

本機をネットワークプリンターとして使用するための情報や設定方法を説明しています。使用しているネットワーク環境に対応する部分をお読みください。

❖ ヘルプファイル

付属のCD-ROMにWindowsのヘルプファイル形式で収録されています。

ヘルプファイルにはプリンタードライバーの詳しい説明や、本機の機能を十分に活用するための情報がまとめてあります。

一歩進んだ印刷方法を試したいとき、どの項目を設定すればいいのか迷ったときに参照してください。

また、WWWブラウザによるイーサネットボードの設定ヘルプがHTML形式で格納されています。

使用説明書の読み方

ご使用のOSによって、使用説明書の読む個所が異なります。以下の表を参考にしてください。

○：必ずお読みください。
△：必要に応じてお読みください。

	Windows 95/98 Windows 2000 Windows NT4.0で使用する	Windows NT3.51で使用する	DOSで使用する
セットアップガイド			
1. 設置と接続 プリンターを設置してからパソコンと接続するまでの手順	○	○	○
2. 印刷するための準備をする 印刷のために必要なパネルでの操作とソフトウェアのインストール手順			
ネットワーク環境の設定をする	○	○	−
ソフトウェアをインストールする	○	○	−
CD-ROM収録ソフトウェアについて	○	○	−
取り扱い編			
1. はじめに IPSiO NX810の特長、各部名称とそのはたらき	○	○	○
2. 用紙について 使用できる用紙の種類と注意、用紙のセット方法	○	○	○
3. プリンタープロパティの表示と印刷の中止 プリンタードライバーの設定画面を表示させる方法、印刷を中止する方法	○	○	−
5. こんなときには エラーメッセージが表示されたときや思いどおりに印刷できないときの解決方法、紙づまりが起きたときの対処方法	△	△	△
6. 付録 システム条件、DOSでの印刷方法、保守･運用方法、消耗品一覧、仕様、用語解説など	△	△	○
ヘルプファイル			
Windows 95/98、Windows 2000、Windows NT4.0編	○	−	−
Windows NT3.51編	−	○	−
DOS編	−	−	○
イーサネットボード			
ネットワークプリンターとして使用するための情報や設定方法	○	○	○

マークについて

本書で使われているマークには次のような意味があります。

⚠警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。冒頭にまとめて記載していますので、必ずお読みください。

⚠注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。冒頭にまとめて記載していますので、必ずお読みください。

※以上は、安全上のご注意についての説明です。

重要

誤って操作をすると、紙づまり、データ消失などの原因になることがあります。必ず、お読みください。

操作の前に

操作をする前に知っておいていただきたいこと、あらかじめ準備していただきたいことなどを説明しています。

補足

操作するときに気を付けることや、操作を誤ったときの対処方法などを説明しています。

制限

数値の制限や組み合わせできない機能、機能が使用できない状態を説明しています。

参照

参照先を示します。

[　]

画面のキーの名称を示します。

【　】

操作部（画面を除く）のキーの名称を示します。

目次

1. はじめに

2. 用紙について

3. プリンターのプロパティの表示と印刷の中止

4. 試し印刷／機密印刷する

5. こんなときには

6. 付録

IPSiO NX810の特長

ワークグループに最適な高速ネットワークプリンター

クラス最速印刷

連続32枚/分（A4▯）とファーストプリント７秒以下 *1 のクラス最速プリントを実現。内部動作クロックアップ、64ビットバスにより大幅に処理速度を向上させた新世代64bitコントローラーと合わせて、各クライアントから集中する多数の印刷指示もすばやく印刷します。スループットの向上により基本機能がアップしました。

*1　A4▯を第１給紙トレイから印刷した場合

ネットワークI/F標準搭載

ネットワークI/Fを標準で搭載しました。100BASE-TX/10BASE-T自動切換のイーサネットボードにより、プリンターをセットアップしてすぐに各クライアントからの印刷をネットワーク経由で行えます。

多彩な給紙対応力

標準で500枚×２段の給紙が可能。第２トレイは普通紙のほかに官製はがき *1、OHPフィルム *1 などが給紙可能なマルチメディアトレイとして利用できます。オプションとして、増設トレイは500枚×１段、500枚×２段、A4用紙を最大2,000枚セット可能な大容量給紙テーブルから選択が可能です。手差しトレイ（オプション）も合わせると最大3,100枚の給紙に対応します。

*1　推奨紙をご使用ください。詳しくはP.142 「消耗品一覧」を参照してください。

ソート、ステープル、両面印刷対応

電子ソート機能 *1 による仕分け印刷、ステープル印刷 *2、両面印刷 *3 などが可能。両面印刷は、25枚/分（A4▯）とスループットを向上させました。会議資料、教育資料などの作成に威力を発揮します。

*1　電子ソートにはオプションのSDRAMモジュールまたは、拡張HDDを増設することをお勧めします。

*2　オプションのフィニッシャー（「500枚フィニッシャー タイプ810」または「1000枚フィニッシャー タイプ800」）が必要です。

*3　オプションの「両面印刷ユニット タイプ810」が必要です。また、両面印刷にはオプションのSDRAMモジュールが必要な場合があります。

企業機密のセキュリティのための「機密印刷」機能 *1、無駄な印刷を減らす「試し印刷」機能 *1

企業の機密文書や人事情報などを印刷するために「機密印刷」が行えます。プリンタドライバで「機密印刷」、ユーザID、パスワードを指定して印刷指示することにより紙への印刷、排紙を抑制します。紙へ印刷するには、プリンターのパネルからパスワードを入力することが必要です。

印刷設定ミスを防ぐために「試し印刷」をすることができます。「試し印刷」で１部のみ印刷し、印刷結果確認後にプリンターのパネル上で残り部数の印刷が可能です。

*1　**オプションの拡張HDDが必要です。**

多彩なフィニッシャー対応

オプションの「1000枚フィニッシャータイプ800」、「500枚フィニッシャータイプ810」を取り付けることによって、ステープル、シフトソート、ジョブ仕分けが可能です。

印刷済み用紙の混在を防ぐ４ビンプリントポスト

オプションの「４ビンプリントポスト タイプ800」を取り付けることによって、標準の排紙トレイと合わせて５カ所の排紙先指定が可能です。ワークグループで共有する場合の印刷済み用紙の混在を防ぎます。トップマウント方式なので場所も取らず省スペースです。

また、自動切替排紙機能を使用することにより標準の排紙トレイからの排紙が満杯になった場合、自動的にプリントポストのビンに切り替えての排紙が可能です。自動切替排紙機能を使用すると、連続排紙枚数は1,000枚になります。また「1000枚フィニッシャー タイプ800」を取り付けると、最大1,500枚の連続排紙が可能になります。

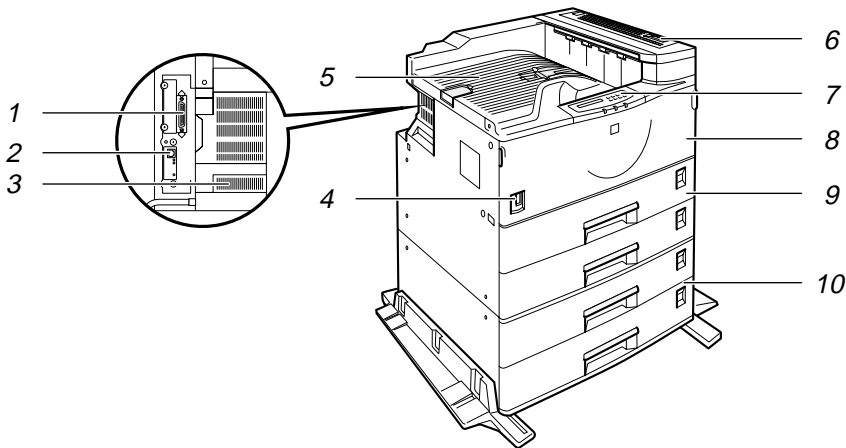
使い勝手を追求したネットワークユーティリティ標準添付

標準添付のネットワークユーティリティ「PortNavi」により、印刷をかけたネットワークプリンタが使用不可能の場合に他のプリンタに印刷を行う「代行印刷」や、大量部数を複数のプリンタで分散する「分散印刷」が可能。席に居ながら自分の印刷の終了がわかる印刷終了通知も発行します。また、異なるアプリケーションからの出力ジョブをまとめて一つの文書として印刷可能な「Job Binder」も標準添付。

IPP対応ネットワークユーティリティ標準添付

最新のIPP（Internet Printing Protocol）に対応しています。インターネット、イントラネット経由での印刷が簡単に行えます。Windows 2000ではIPP印刷を標準で対応していますので、Windows 2000からの印刷や管理がWebブラウザで行えるようになりました。Multi Direct Printを使用すれば、Windows 95/98、Windows NT4.0でもIPP印刷が可能です。

各部の名称とはたらき

全体

***1.* パラレルインターフェースコネクター**

プリンターとパソコンを接続するパラレルインターフェースケーブルを接続します。

***2.* イーサネットケーブルコネクター**

プリンターとネットワーク接続するイーサネットケーブルを接続します。

***3.* 排気口**

機械内部の温度上昇を防ぐために空気が排出されます。物を立て掛けたりして排気口をふさがないでください。機械内部の温度が上昇すると故障の原因になります。

***4.* 電源スイッチ**

プリンターの電源を入れたり切ったりします。

***5.* 排紙トレイ**

印刷された用紙が、印刷された面を下向きに排紙されます。

***6.* 上カバー**

つまった用紙を取り除くときなどに開けます。オプションの分岐ユニットを取り付けるときには取り外します。

***7.* 操作パネル**

プリンターを操作したり、動作状態を確認できます。

⇒ P.18 「操作パネル」

***8.* 前カバー**

トナーや感光体ユニットを交換するときに開けます。

***9.* 給紙トレイ**

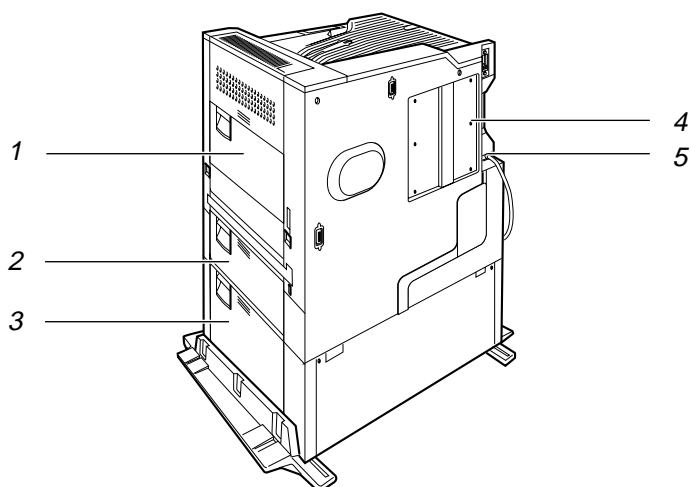
用紙をセットします。各トレイに普通紙で最大500枚までセットできます。上から2段目の給紙トレイには官製はがきやOHP フィルムをセットできます。

⇒ P.26 「給紙トレイに用紙をセットする」

***10.* 1000枚給紙テーブル(オプション)**

オプションの給紙トレイです。各トレイに普通紙で最大500枚までセットできます。

1000枚給紙テーブルの替わりに、「500枚増設トレイユニット」または「2000枚給紙テーブル」を取り付けることができます。2000枚給紙テーブルには普通紙で最大2,000 枚までセットできます。

背面

1. **右カバー**

定着ユニットや転写ローラーを交換するときや、つまった用紙を取り除くときなどに開けます。

2. **右下カバー１**

つまった用紙を取り除くときなどに開けます。

3. **右下カバー２**

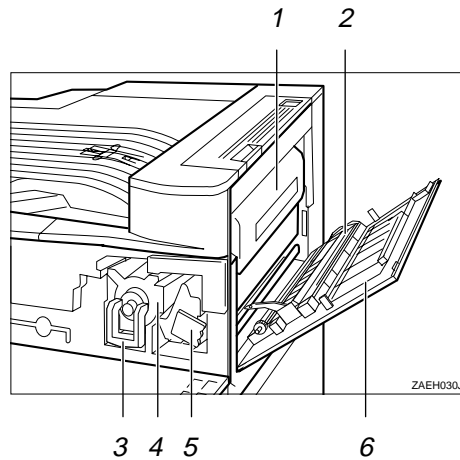
つまった用紙を取り除くときなどに開けます。

4. **コントローラーボードカバー**

SDRAMモジュールやマルチエミュレーションモジュールなどのオプションを取り付けるときに取り外します。

5. **電源ケーブル**

電源プラグをコンセントに差し込みます。

内部

1. **定着ユニット**

   「メンテキット コウカン」というメッセージが表示されたときに交換します。

2. **転写ローラー**

   「メンテキット コウカン」というメッセージが表示されたときに交換します。

3. **トナー固定レバー**

   トナーを交換するときに引き上げます。

4. **トナーホルダー**

   トナーを交換するときに引き出します。

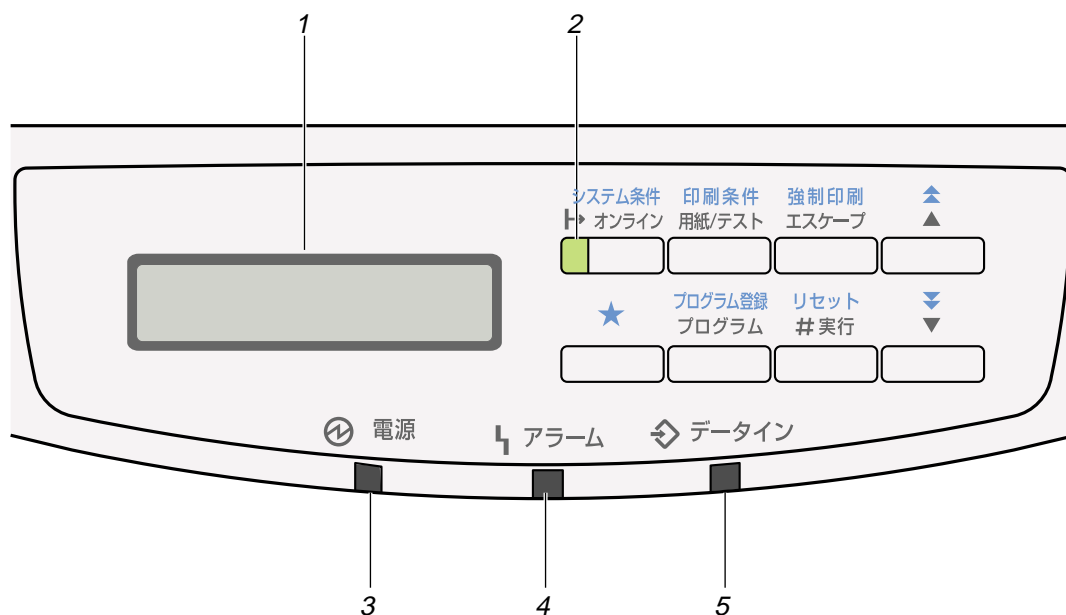
5. **感光体ユニット**

   「カンコウタイ コウカン」というメッセージが表示されたときに交換します。

6. **右カバー**

   定着ユニットや転写ローラーを交換するときや、つまった用紙を取り除くときなどに開けます。

操作パネル

1

1. **ディスプレイ**

   プリンターの状態やエラーメッセージが表示されます。

   ⇒ P.65 「メッセージが表示されたとき」

2. **オンラインランプ**

   プリンターが「オンライン状態」か「オフライン状態」かを示します。

   「オンライン状態」はパソコンからデータを受信できる状態でランプは点灯します。

   「オフライン状態」はパソコンからデータを受信できない状態でランプは消灯します。

3. **電源ランプ**

   電源が入っているときに点灯します。ただし、予熱モードまたは省エネモードになっているときは消灯します。

4. **アラームランプ**

   エラーが発生したときに点灯します。ディスプレイでエラーの内容を確認して対処してください。

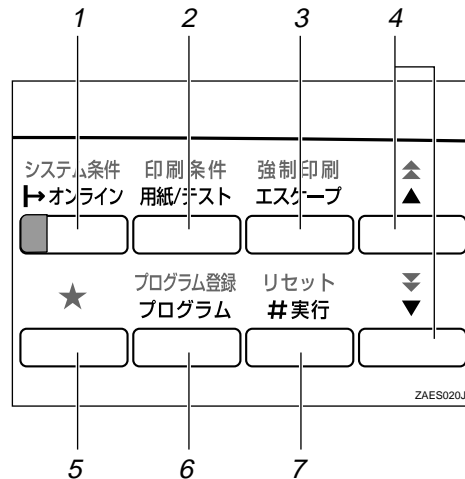
   ⇒ P.65 「メッセージが表示されたとき」

5. **データインランプ**

   パソコンからデータを受信しているときに点滅します。印刷待ちのデータがあるときは点灯します。

キーのはたらき

重要

- ❒ 印刷時、データインランプが点滅または点灯しているときはキー操作を行わないでください。

1. **【オンライン】キー**

オンライン、オフラインを切り替えるときに使用します。オンラインのとき、パソコンからデータを受信できます。

【システム条件】キー（**【★】**キーを押しながら）

システム条件の設定を行うときに使用します。

2. **【用紙/テスト】キー**

給紙トレイや用紙サイズの選択、テスト印刷などを行うときに使用します。

⇒ P.136 「【用紙/テスト】キーの使い方」

【印刷条件】キー（**【★】**キーを押しながら）

現在設定されているエミュレーションの印刷条件を変更するときに使用します。

このキーはDOSで印刷する場合に使用します。

3. **【エスケープ】キー**

設定をキャンセルして、1つ前の画面に戻ります。用紙サイズエラーを解除するときにも使用します。

【強制印刷】キー（**【★】**キーを押しながら）

オフライン状態のときはプリンター内に残っているデータを強制的に印刷します。オンライン状態のときは無効です。

4. **【▲】【▼】キー**

表示画面をスクロールするとき、設定値を増減するときに使用します。

【⇞】【⇟】キー（**【★】**キーを押しながら）

数値を入力するときなどに、10単位で増減します。

5. **【★】キー**

キーの上側（青色部分）の機能を使用するときは、**【★】**キーを押しながらそれぞれのキーを押します。

6. **【プログラム】キー**

エミュレーションやプログラムを切り替えるときに使用します。このキーはDOSで印刷する場合に使用します。

【プログラム登録】キー（**【★】**キーを押しながら）印刷条件をプログラムとして登録、削除したり、内容を印刷したりするときに使用します。

このキーはDOSで印刷する場合に使用します。

7. **【実行】キー**

設定値を確定します。表示は次の表示に進むか、最初の表示に戻ります。

【リセット】キー（**【★】**キーを押しながら）

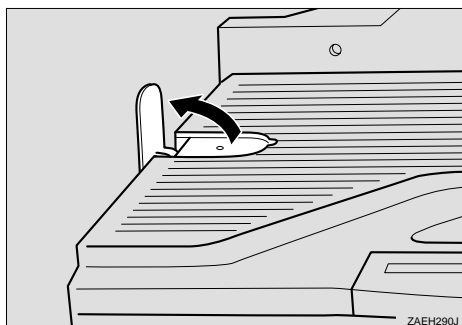
オフライン状態のときは電源を入れ直した状態になります。オンライン状態のときは印刷中のデータが取り消されます。

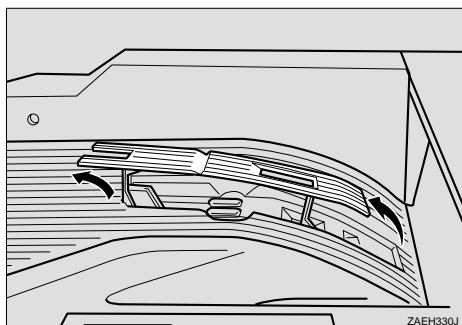
1

排紙トレイについて

A3サイズの用紙や薄い用紙などに印刷するときはエンドフェンス、ガイドをセットしてください。

❖ A3の用紙に印刷するとき

A3の用紙に印刷するときは、エンドフェンスをおこしてください。印刷された用紙が排紙トレイから落下するのを防ぎます。

❖ 薄い紙、厚い紙、小サイズ用紙に印刷するとき

薄い紙（第二原図用紙など）や厚い紙、小サイズの用紙（はがきなど）に印刷するときは、ガイドをカチッと音がするまでおこしてください。印刷された用紙がまるまって排紙されるのを防ぎます。

使用できる用紙

用紙の種類とサイズ

各トレイにセットできる用紙の種類、サイズと方向、最大セット枚数は以下のとおりです。

重要

- ▯は用紙のセット方向を表し、操作パネルでは▯と表示されます。
- ▭は用紙のセット方向を表し、操作パネルでは▭と表示されます。

❖ トレイ１、500枚増設トレイ（オプション）、1000枚給紙テーブル（オプション）にセットできる用紙

用紙の種類	用紙サイズダイヤルをセットしたサイズと方向に合わせます	用紙サイズダイヤルを「＊」に合わせて操作パネルで用紙サイズを設定します	最大セット枚数 [*1]
普通紙 再生紙 カラー紙	A3▭、B4▭、A4▯▭、 B5▯▭、A5▭	11×17▭、Legal(8 1/2×14)▭、 Letter(8 1/2×11)▯▭、 5 1/2×8 1/2▭	500枚

*1　**最大セット枚数は「リコー PPC用紙タイプ6200」使用時のものです。**

❖ トレイ２にセットできる用紙

トレイ２には、厚紙、OHPフィルム、はがきなどもセットできます。

用紙の種類	用紙サイズダイヤルをセットしたサイズと方向に合わせます	用紙サイズダイヤルを「＊」に合わせて、操作パネルで用紙サイズを設定します	最大セット枚数 [*1]
普通紙 再生紙 カラー紙 OHPフィルム ハクリ紙 第二原図用紙 官製はがき	A3▭、B4▭、A4▯▭、 B5▯▭、A5▭	11×17▭、Legal(8 1/2×14)▭、 Letter(8 1/2×11)▯▭、 5 1/2×8 1/2▭、B6▭、A6▭、 はがき、 不定形サイズ（フリー）： 縦148～432mm、 横100～297mm	500枚

*1　**最大セット枚数は「リコー PPC用紙タイプ6200」使用時のものです。**

重要

- セットした用紙サイズと方向に用紙サイズダイヤルを合わせてください。海外向けサイズの用紙をセットしたときは、用紙サイズダイヤルを「＊」に合わせ、操作パネルで用紙サイズの設定をしてください。
- 不定形サイズの用紙をセットしたときは、操作パネルやプリンタードライバーで用紙サイズを入力する必要があります。操作パネルでの設定方法はP.29「トレイ２に不定形サイズの用紙をセットしたとき」を、プリンタードライバーでの設定方法はプリンタードライバーのヘルプを参照してください。

補足

- ❒ 給紙トレイ、500枚増設トレイ、1000枚給紙テーブルにセットできる用紙の厚さは52〜90Kg紙（60〜105g/m^2）です。
- ❒ トレイ２にセットできる用紙の厚さは52〜135Kg紙（60〜157g/m^2）です。

❖ 2000枚給紙テーブル（オプション）にセットできる用紙

用紙の種類	セットできる用紙のサイズ	最大セット枚数 *1
普通紙 再生紙 カラー紙	A4、Letter(8 1/2×11)	2,000枚

*1 **最大セット枚数は「リコー PPC用紙タイプ6200」使用時のものです。**

補足

- ❒ 2000枚給紙テーブルにセットできる用紙の厚さは52〜90Kg紙（60〜105g/m^2）です。
- ❒ Letter（8 1/2×11）の用紙をセットするときは販売担当者にご連絡ください。

❖ 手差しトレイ（オプション）にセットできる用紙

用紙の種類	セットできる用紙のサイズとセット方向	最大セット枚数 *1
普通紙 再生紙 カラー紙	定型サイズ： A3、B4、A4、B5、A5、B6、A6、11×17、Legal(8 1/2×14)、Letter(8 1/2×11)、5 1/2×8 1/2 不定形サイズ（フリー）： 縦148〜1260mm、横90〜297mmの範囲で設定できます。	100枚 B4より大きいサイズ：10枚
OHPフィルム		1枚
第二原図用紙		1枚
ハクリ紙		1枚
官製はがき	はがき、A5（往復はがき）	40枚

*1 **最大セット枚数は「リコー PPC用紙タイプ6200」使用時のものです。**

重要

- ❒ 手差しトレイに用紙をセットしたときは、操作パネルやプリンタードライバーで用紙サイズの設定が必要です。操作パネルでの設定方法は、P.32「手差しトレイ（オプション）に用紙をセットする」を、プリンタードライバーでの設定方法はヘルプを参照してください。
- ❒ 不定形サイズの用紙をセットしたときは、操作パネルやプリンタードライバーで用紙サイズを入力する必要があります。操作パネルでの設定方法は、P.34「不定形サイズの用紙をセットしたとき」を、プリンタードライバーでの設定方法はヘルプを参照してください。
- ❒ プリンタードライバーから印刷する場合は、手差しトレイに用紙を方向にセットしてください。

補足

- ❒ 手差しトレイにセットできる用紙の厚さは52〜135Kg紙（60〜157g/m^2）です。
- ❒ 432mmを超えるサイズを使用する際は、メモリーを増設してご使用ください。

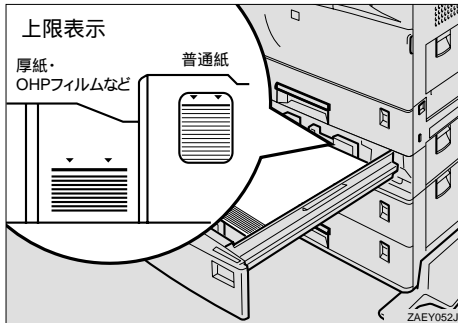
❖ 海外向けサイズの用紙の表示について

本書の表記	11×17	Legal(8 1/2×14)	Letter(8 1/2×11)	5 1/2×8 1/2
パネルの表記	DL	LG	LT	HL
プリンタードライバーの表示	ダブルレター	リーガル	レター	ハーフレター

用紙を取り扱うときの注意

用紙を取り扱うときは以下の点に注意してください。

用紙をセットするとき

- 用紙はリコー推奨の用紙をご利用ください。それ以外を使用した印刷についてはその印刷結果は保証いたしかねますので、あらかじめご了承ください。リコー推奨の用紙の種類とサイズはP.142「消耗品一覧」を参照してください。
- 給紙トレイ、オプションの給紙トレイに用紙をセットするときは、トレイの上限表示を超えないようにしてください。

補足

❒ 厚紙、OHPフィルム用の上限表示は、トレイ２にのみ表示されています。

- 反っていたり曲がっているときは、まっすぐに直してからセットしてください。

用紙を保管するとき

- 用紙は以下の点に注意して保管してください。
  - 湿気の多い所には置かない。
  - 直射日光の当たる所には置かない。
  - 立て掛けない。
  - 残った用紙は購入時に入っていた袋や箱の中に入れて保管する。

用紙の種類ごとの注意

❖ 普通紙

- 90〜135kg紙（105〜157g/m^2）の用紙に印刷するときは、トレイ２または手差しトレイ（オプション）にセットしてください。
- 目安として、90kg紙（105g/m^2）より厚い用紙をセットしたときは、「厚紙モード」に切り替えます。切り替え方法は、トレイ２の場合P.31「厚紙、OHPフィルムをセットしたとき」を、手差しトレイの場合P.35「厚紙、OHPフィルムをセットしたとき」を参照してください。
- 薄い紙や A5 より小さいサイズの用紙に印刷するときは、排紙トレイ上面にあるガイドをおこしてください。
⇒ P.20「排紙トレイについて」
- 反っていたり曲がっているときは、まっすぐに直してからセットしてください。

❖ 官製はがき

- 官製はがきはトレイ２または手差しトレイ（オプション）にセットしてください。
- トレイ２にセットするときは、トレイ内に表示された上限表示を超えないようにしてください。
- 手差しトレイに一度にセットできる枚数は40枚です。
- 官製はがきに印刷するときは、「厚紙モード」に切り替えます。切り替え方法は、トレイ２の場合P.31「厚紙、OHPフィルムをセットしたとき」を、手差しトレイの場合P.35「厚紙、OHPフィルムをセットしたとき」を参照してください。
- 反っていたり曲がっているときは、まっすぐに直してからセットしてください。
- 印刷できるのは官製はがきだけです。
- トレイ２にセットするときは、印刷面を上にしてセットしてください。
- 手差しトレイにセットするときは、印刷面を下にして、印刷方向から先に差し込みます。
- 往復はがきをセットしたときは、用紙サイズをA5に設定します。
- 官製はがきに印刷するときは、排紙トレイ上面にあるガイドをおこしてください。⇒ P.20「排紙トレイについて」

❖ OHPフィルム

- OHPフィルムはトレイ2または手差しトレイ(オプション)にセットしてください。
- トレイ2にセットするときは、トレイ内に表示された上限表示を超えないようにしてください。
- 手差しトレイにセットするときは、1枚ずつセットしてください。
- OHPフィルムに印刷するときは、「厚紙モード」に切り替えます。切り替え方法は、トレイ2の場合P.31「厚紙、OHPフィルムをセットしたとき」を、手差しトレイの場合P.35「厚紙、OHPフィルムをセットしたとき」を参照してください。
- 印刷面にできるだけ手を触れないようにしてください。印刷面が汚れたり傷ついたりすると印刷品質に影響が出ます。OHPフィルムを持つときは、できるだけ端を持ってください。
- 表裏のある OHP フィルムに印刷するときは、印刷面に注意してください。トレイ2にセットするときは印刷面を上に、手差しトレイにセットするときは印刷面を下にします。
- OHPフィルムは1枚印刷するごとに排紙トレイから取り除いてください。
- OHPフィルムに印刷するときは、排紙トレイ上面にあるガイドをおこしてください。⇒ P.20 「排紙トレイについて」

❖ 第二原図用紙

- 第二原図用紙はトレイ2または手差しトレイ(オプション)にセットしてください。
- トレイ2にセットするときはトレイ内に表示された上限表示を超えないようにしてください。
- 手差しトレイにセットするときは、1枚ずつセットしてください。
- 第二原図用紙に印刷するときは、排紙トレイ上面にあるガイドをおこしてください。⇒ P.20 「排紙トレイについて」
- 第二原図用紙をトレイにセットしたまま長時間放置しないでください。

❖ ハクリ紙

- ハクリ紙はトレイ2または手差しトレイ(オプション)にセットしてください。
- トレイ2にセットするときはトレイ内に表示された上限表示を超えないようにしてください。
- ハクリ紙を手差しトレイにセットするときは1枚ずつセットしてください。
- 用紙の全面が印刷できるもので、糊面がはみ出していないものを使用してください。
- コーティングされている用紙は、通常の用紙よりもトナーの定着が悪いため、印刷品質が落ちます。

使用できない用紙

以下のような用紙は使用しないでください。

- しわ、折れ、破れのある用紙
- 端が波打っている用紙
- カールのある用紙
- 湿気を吸っている用紙
- 乾燥して静電気が発生している用紙
- 一度印刷した用紙、特にレーザープリンター以外の機種(モノクロ・カラー複写機、インクジェットプリンターなど)で印刷された物は、定着温度の違いにより定着ユニットに影響を与えることがあります。
- 表面が加工された用紙(指定用紙を除く)
- インクジェット専用の表面がコートされた用紙
- 感熱紙やノンカーボン紙など特殊な用紙
- 厚さが規定以外の用紙(極端に厚い・薄い用紙)
- ミシン目などの加工がされている用紙
- 糊がはみ出したり、台紙の見える ラベル紙
- ステープラー・クリップなどを付けたままの用紙

補足

❒ プリンターに適切な用紙でも、保存状態が悪い場合は、紙づまりや印刷品質の低下、故障の原因になることがあります。

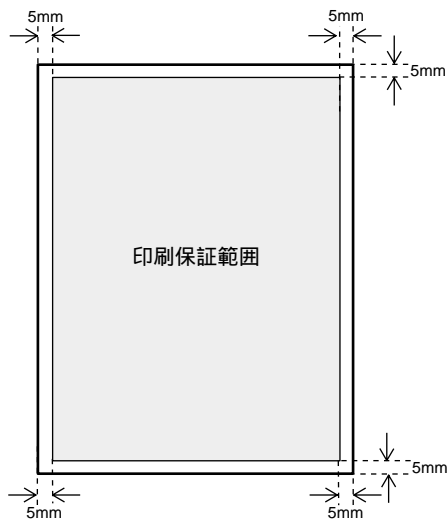
両面印刷できない場合

以下の場合、両面印刷の指示をしても片面で印刷されます。

- メモリー容量が16Mバイト（標準装備）時に解像度600dpiで、A3または11×17の用紙に両面印刷したとき。
- メモリー容量が16Mバイト（標準装備）でシステム条件の「優先メモリー」が「ページメモリー」に設定されているとき、用紙サイズ、システム条件「フレームモード」の設定値によっては両面印刷できません。

ただし、32Mバイト以上のSDRAMモジュールを増設するとすべてのサイズの用紙に両面印刷できるようになります。詳しくはP.134「メモリー容量と用紙サイズ」を参照してください。

印刷保証範囲

本機の印刷保証範囲は以下の図のとおりです。

用紙をセットする

給紙トレイに用紙をセットする

ここでは、本体トレイ（標準）に用紙をセットする方法を説明します。オプションの500枚増設トレイ、1000枚給紙テーブルのトレイにセットするときも操作方法は同じです。

用紙を補給するとき

ここでは、セットされていた用紙と同じサイズの用紙を補給するときの手順を説明します。用紙サイズを変更するときは、P.26「用紙サイズを変更するとき」を参照してください。

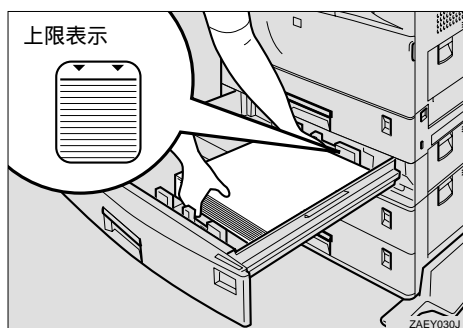
参照

セットできる用紙サイズ、種類はP.21「使用できる用紙」を参照してください。

1 用紙補給が指示された給紙トレイをいっぱいに引き出します。

2 用紙を揃えてセットします。

ZAEY030J

重要

- ❒ セットする用紙の量は、トレイ内に表示された上限表示を超えないようにしてください。
- ❒ トレイに紙が残っている状態で用紙を補給すると紙が重なって送られることがあります。

補足

- ❒ 複数枚の用紙が重なって送られないように、用紙をパラパラとほぐしてからセットしてください。

3 給紙トレイを本体の奥に突き当たるまで静かにセットします。

用紙サイズを変更するとき

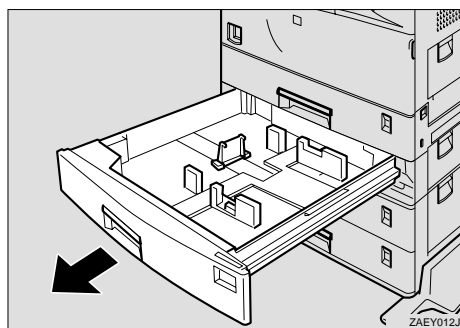
重要

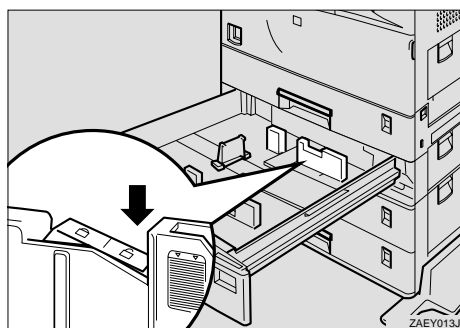
- ❒ セットした用紙サイズとセット方向に、用紙サイズダイヤルを必ず合わせてください。用紙サイズダイヤルが合っていないと、機械内部を汚したり、思いどおりの印刷ができない原因になります。

参照

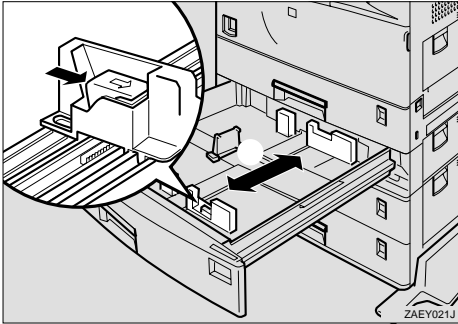
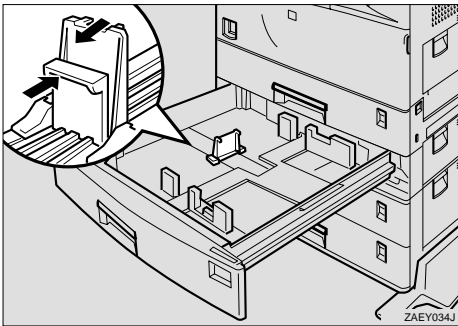
セットできる用紙については、P.21「使用できる用紙」を参照してください。

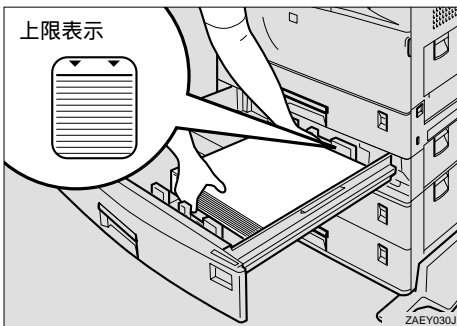
1 給紙トレイをいっぱいに引き出します。

ZAEY012J

2 サイドフェンスの固定レバーを解除します。

ZAEY013J

重要

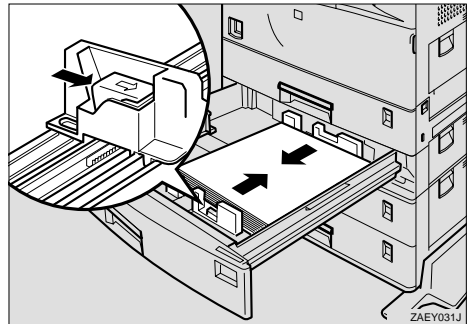
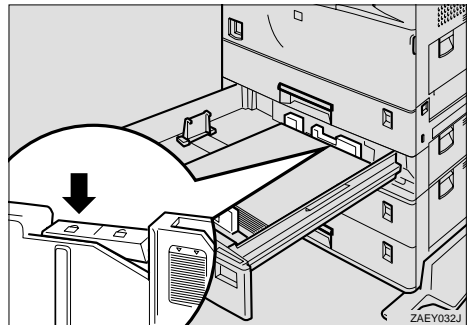
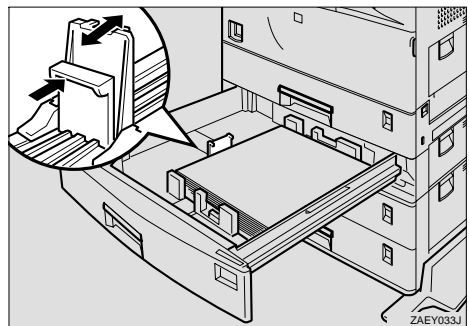
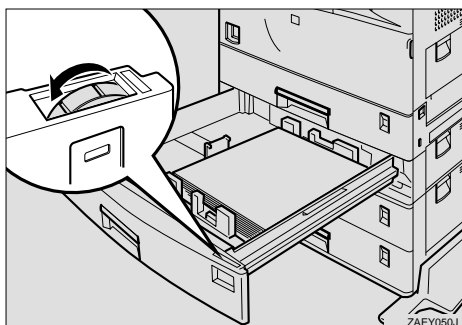
- ❒ サイドフェンスの固定レバーは必ず解除してください。解除しないでサイドフェンスを広げると破損することがあります。

3 **サイドフェンスの解除レバーを押さえながら、サイドフェンスを広げます。**

4 **解除レバーを押さえながらエンドフェンスを広げます。**

5 **用紙を揃えてセットします。**

重要

- ❒ セットする用紙の量は、トレイ内に表示された上限表示を超えないようにしてください。

補足

- ❒ 複数枚の用紙が重なって送られないように、用紙をパラパラとほぐしてからセットしてください。

6 **サイドフェンスの解除レバーを押さえながらサイドフェンスをセットした用紙サイズに合わせます。**

7 **サイドフェンスの固定レバーをロックします。**

8 **エンドフェンス解除レバーを押さえながら、エンドフェンスをセットした用紙の後端に軽く接するように合わせます。**

9 用紙サイズダイヤルをセットした用紙サイズとセット方向の組み合わせに合わせます。

重要

- ❒ A4、B5の用紙は、▯と▭にセットできます。用紙のセット方向が合っていないと、機械内部を汚したり、紙づまりの原因になります。
- ❒ 海外向けのサイズまたはサイズ表示にないサイズの用紙をセットしたときは、用紙サイズダイヤルを「＊」に合わせた後、操作パネルで用紙サイズを設定します。設定方法は、P.28「海外向けサイズの用紙をセットしたとき」を参照してください。

補足

- ❒ トレイ２には、不定形サイズの用紙や厚紙、はがきなどをセットすることができます。
- ❒ 不定形サイズの用紙をセットしたときは、必ず操作パネルおよびプリンタードライバーで用紙サイズを設定してください。⇒ P.29「トレイ２に不定形サイズの用紙をセットしたとき」
- ❒ 厚紙やはがきなどをセットしたときは、本体トレイ２の用紙サイズダイヤルのレバーを「厚紙モード」に切り替えます。⇒ P.31「厚紙、OHPフィルムをセットしたとき」

10 給紙トレイを本体の奥に突き当たるまで静かにセットします。

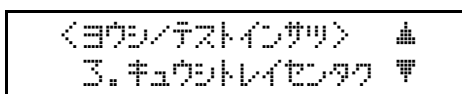
海外向けサイズの用紙をセットしたとき

1 給紙トレイの用紙サイズダイヤルを「＊」に合わせて、用紙をセットします。

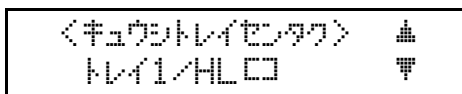
2 【用紙/テスト】キーを押します。

【用紙/テスト】キーのメニュー画面が表示されます。

3 【▲】【▼】キーを押して、「キュウシトレイセンタク」を表示させ、【実行】キーを押します。

```
<ヨウシ/テストインサツ>  ▲
 3.キュウシトレイセンタク ▼
```

給紙トレイの選択画面が表示されます。

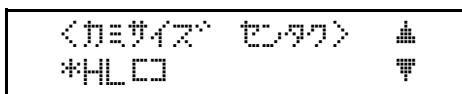
4 【▲】【▼】キーを押して、海外向けサイズの用紙をセットした給紙トレイを表示させ、【実行】キーを押します。

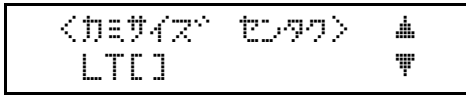
```
<キュウシトレイセンタク>  ▲
 トレイ1/HL□         ▼
```

給紙トレイが選択され、**【用紙/テスト】**キーのメニュー画面が表示されます。

5 【▼】キーを押して「カミサイズ センタク」を表示させ、【実行】キーを押します。

```
<ヨウシ/テストインサツ>  ▲
 5.カミサイズ センタク ▼
```

紙サイズの選択画面が表示されます。

```
<カミサイズ センタク>   ▲
*HL□              ▼
```

6 **【▲】【▼】キーを押して、セットした用紙サイズとセット方向の組み合わせを表示させ、【実行】キーを押します。**

```
<カミサイズ センタク>  ▲
 LT[]                ▼
```

補足

- ❒ 選択時に「RC」という表示がありますが、このサイズは使用しません。

7 **【エスケープ】キーを押します。**

通常の画面が表示されます。

```
RPDL            トレイ1
                LT[]
```

設定した給紙方法、用紙サイズとセット方向が表示されているか確認してください。

トレイ２に不定形サイズの用紙をセットしたとき

本機では、トレイ２に不定形サイズの用紙をセットすることができます。

トレイ２には縦148〜432mm、横100〜297mmの不定形サイズの用紙をセットできます。

不定形サイズの用紙をセットした場合は、操作パネルまたはプリンタードライバーで用紙サイズを設定する必要があります。ここでは、操作パネルを使用した不定形サイズの設定方法を説明します。

制限

- ❒ 不定形サイズの用紙に印刷するときの排紙先は本体排紙トレイになります。
- ❒ 不定形サイズの用紙に印刷するときは以下の機能が使用できません。
  - 両面印刷
  - ソート、シフトソート、回転ソート
  - ステープル
  - 試し印刷
  - リミットレス給紙

重要

- ❒ プリンタードライバーから印刷する場合は、操作パネルおよびプリンタードライバーで用紙サイズを設定してください。プリンタードライバーでの設定方法については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

1 **トレイ２に不定形サイズの用紙をセットし、用紙サイズダイヤルを「＊」に合わせます。**

2 **【用紙/テスト】キーを押します。**

【用紙/テスト】キーのメニュー画面が表示されます。

3 **【▲】【▼】キーを押し「キュウシトレイセンタク」を表示させ、【実行】キーを押します。**

```
<ﾖｳｼ/ﾃｽﾄｲﾝｻﾂ>   ▲
 3.ｷｭｳｼﾄﾚｲｾﾝﾀｸ  ▼
```

給紙トレイの選択画面が表示されます。

4 **【▲】【▼】キーを押し「トレイ２」を表示させ、【実行】キーを押します。**

```
<ｷｭｳｼﾄﾚｲｾﾝﾀｸ>   ▲
 ﾄﾚｲ2/A4 □      ▼
```

給紙トレイがトレイ２に設定され、**【用紙/テスト】**キーのメニュー画面が表示されます。

5 **【▲】【▼】キーを押し「カミサイズ センタク」を表示させ、【実行】キーを押します。**

```
<ﾖｳｼ/ﾃｽﾄｲﾝｻﾂ>   ▲
 5.ｶﾐｻｲｽﾞ ｾﾝﾀｸ  ▼
```

用紙サイズの選択画面が表示されます。

6 **【▲】【▼】キーを押し「フリー」を表示させ、【実行】キーを押します。**

```
<ｶﾐｻｲｽﾞ ｾﾝﾀｸ>   ▲
 ﾌﾘｰ            ▼
```

用紙サイズの設定画面が表示されます。

7 **【▲】【▼】キーを押し、セットした用紙の横のサイズを設定し、【実行】キーを押します。**

```
<ﾌﾘｰｻｲｽﾞ>    ﾖｺ
✦ 210mm   0296mm
```

【★】キーを押しながら**【▲】**または**【▼】**キーを押すと、10mm単位でサイズを変更することができます。

8 **【▲】【▼】キーを押してセットした用紙の縦のサイズを設定し、【実行】キーを押します。**

```
<ﾌﾘｰｻｲｽﾞ>     ﾀﾃ
  210mm ✦ 0296mm
```

用紙サイズが設定され、**【用紙/テスト】**キーのメニュー画面が表示されます。

9 **【エスケープ】キーを押します。**

```
RPDL          ﾄﾚｲ2
              ﾌﾘｰ
```

通常の画面が表示されます。

10 **プリンタードライバーの［基本］タブでトレイ２にセットした不定形サイズを設定し、給紙トレイを「トレイ２」に設定してから印刷します。**

厚紙、OHPフィルムをセットしたとき

トレイ２には、厚紙、OHPフィルム、はがきなどをセットすることができます。

厚紙、OHPフィルム、はがきなどをセットしたときには、給紙トレイのレバーを「厚紙モード」に切り替えます。

参照

用紙のセット方法は、P.26「用紙サイズを変更するとき」を参照してください。

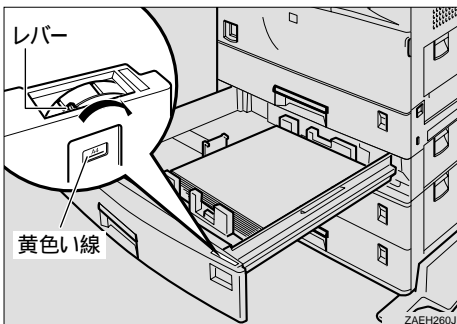
制限

❒ 厚紙モードにセットしているときは、トレイ２では次の機能が使用できません。
- 両面印刷
- ソート、シフトソート、回転ソート
- ステープル
- 試し印刷
- リミットレス給紙

重要

❒ 厚紙モードでWindows 95/98、Windows 2000、Windows NT4.0から印刷するときは、プリンタードライバーの［基本］タブで給紙トレイを「トレイ２」に設定してください。

1 トレイ２の用紙サイズダイヤル上にあるレバーを「厚紙モード」に切り替えます。

給紙トレイ前面にある用紙サイズ表示部で、用紙サイズの下に黄色の線が表示されます。

補足

❒ 厚紙モードでの印刷が終わったら、レバーを左側に戻してください。

2000枚給紙テーブル（オプション）に用紙をセットする

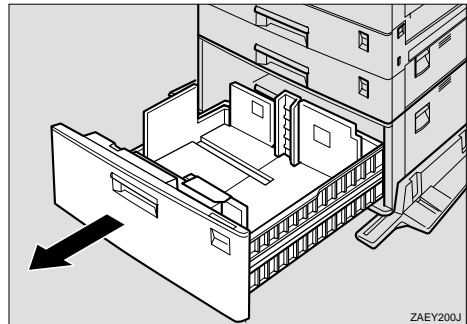
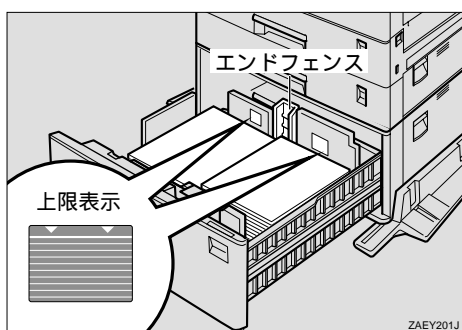
ここでは、2000枚給紙テーブル（オプション）に用紙をセットする方法を説明します。2000枚給紙テーブルには、A4またはLetter(8 1/2×11)の用紙をセットすることができます。工場出荷時、用紙サイズはA4にセットされています。

Letter(8 1/2×11)の用紙をセットするときは、販売担当者にご連絡ください。

用紙を補給するとき

補足

❒ トレイ内の左側には右側と同じサイズと方向の用紙をセットしてください。

1 2000 枚給紙テーブルをいっぱいに引き出します。

2 **用紙を揃えてセットします。**

重要

- ❒ 右の用紙は右側に寄せて、左の用紙は左側に寄せてください。
- ❒ 用紙の量が上限表示を超えないようにしてください。
- ❒ 右側の用紙をセットしたら、エンドフェンスがきちんとかかっていることを確認してください。

補足

- ❒ 複数枚の用紙が重なって送られないように、用紙をパラパラとほぐしてからセットしてください。

3 **給紙トレイを本体の奥に突き当たるまで静かにセットします。**

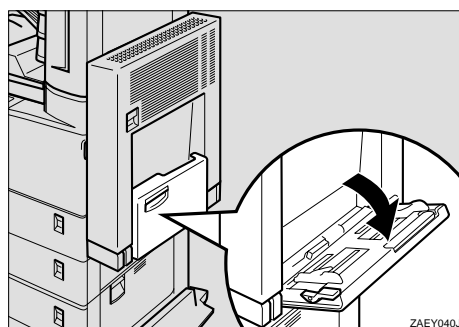
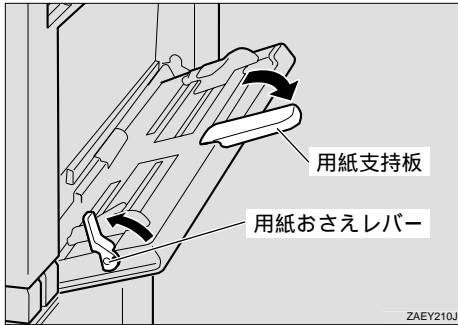
手差しトレイ（オプション）に用紙をセットする

補足

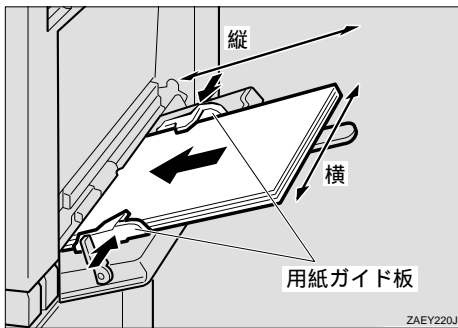
- ❒ 手差しトレイにセットできる用紙サイズは、縦148～1,260mm、横90～297mmです。
- ❒ 不定形サイズの用紙やはがきをセットするときは、必ず操作パネルまたはプリンタードライバーで用紙サイズを設定してください。⇒ P.34「不定形サイズの用紙をセットしたとき」
- ❒ 厚紙、OHPフィルム、はがきなどをセットしたときは、必ず操作パネルまたはプリンタードライバーで「厚紙モード」に設定してください。⇒ P.35「厚紙、OHPフィルムをセットしたとき」
- ❒ 手差しトレイにセットできる枚数は用紙の種類によって異なります。用紙の量が用紙ガイド板にある上限表示(▼▼)を超えないようにしてください。

制限

- ❒ 手差しトレイにセットした用紙を印刷するときは、次の機能が使用できません。
  - 両面印刷
  - ソート、シフトソート、回転ソート
  - ステープル
  - 試し印刷
  - リミットレス給紙

1 **手差しトレイを開きます。**

2 用紙おさえレバーを上げます。

重要

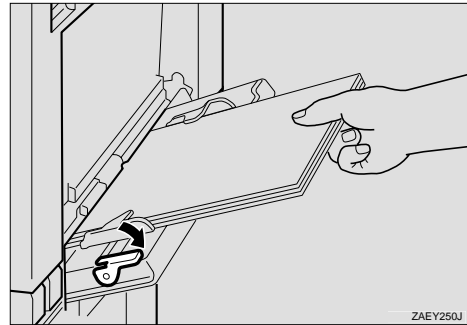
- ❒ 用紙ガイド板が用紙サイズに合っていないと、斜めに印刷されたり、紙づまりの原因になります。
- ❒ A4▯よりも大きなサイズの用紙をセットするときは、用紙支持板を引き出します。

3 用紙の先端が突き当たるまで差し込み、用紙ガイド板を用紙サイズに合わせます。

補足

- ❒ セットする用紙の量は、上限表示（▼▼）を超えないようにセットしてください。用紙を上限表示より上に積み重ねると、斜めに印刷されたり、紙づまりの原因になります。
- ❒ 複数枚の用紙が重なって送られないように、用紙をパラパラとほぐしてからセットしてください。

重要

- ❒ OHP フィルムは当社製品をお使いください。⇒ P.142 「消耗品一覧」
- ❒ OHP フィルムは印刷する面が決まっています。確認してセットしてください。

4 用紙おさえレバーを下げます。

補足

- ❒ A4▯よりも大きなサイズの用紙は、後端を手で支えながらレバーを下げてください。
- ❒ レバーを下げないと用紙がつまることがあります。

5 給紙トレイを手差しトレイに設定し、用紙サイズをセットした用紙のサイズに設定します。

重要

- ❒ 手差しトレイの設定は、操作パネルでの設定よりもプリンタードライバーでの設定が有効になります。

参照

プリンタードライバーでの設定方法は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

不定形サイズの設定方法は、P.34 「不定形サイズの用紙をセットしたとき」を参照してください。

❶ **【用紙/テスト】キーを押します。**

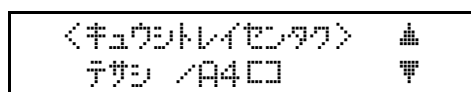
【用紙/テスト】キーのメニュー画面が表示されます。

❷ **【▲】【▼】キーを押して「キュウシトレイセンタク」を表示させ、【実行】キーを押します。**

<ヨウシ/テストインサツ> ▲
3.キュウシトレイセンタク ▼

給紙トレイの選択画面が表示されます。

❸ **【▲】【▼】キーを押して「テサシ」を表示させ、【実行】キーを押します。**

<キュウシトレイセンタク> ▲
テサシ /A4 ▭ ▼

給紙トレイが手差しトレイに設定され、**【用紙/テスト】**キーのメニュー画面に戻ります。

❹ **【▲】【▼】キーを押して「カミサイズ センタク」を表示させ、【実行】キーを押します。**

<ヨウシ/テストインサツ> ▲
5.カミサイズ センタク ▼

用紙サイズの選択画面が表示されます。

補足

❐「＊」がついているのは、現在設定されているサイズです。

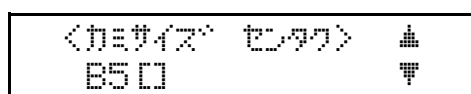
❺ **【▲】【▼】キーを押して、セットした用紙のサイズとセット方向の組み合わせを表示させ、【実行】キーを押します。**

<カミサイズ センタク> ▲
B5 ▭ ▼

用紙サイズが設定され、**【用紙 / テスト】**キーのメニュー画面に戻ります。

❻ **【エスケープ】キーを押します。**

通常の画面が表示されます。

RPDL テサシ
B5 ▭

設定した給紙トレイ、用紙サイズとセット方向が表示されていることを確認してください。

補足

❐ 厚紙、OHP フィルム、はがきなどをセットしたときは、操作パネルで「厚紙モード」に切り替えます。操作方法は、P.35「厚紙、OHP フィルムをセットしたとき」を参照してください。

不定形サイズの用紙をセットしたとき

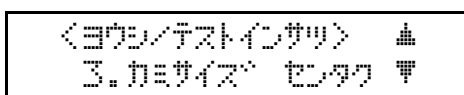
重要

❐ 不定形サイズの設定は、操作パネルでの設定よりもプリンタードライバーでの設定が有効になります。

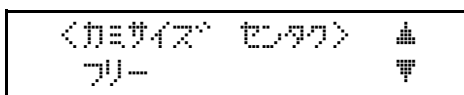
1 **【用紙/テスト】キーを押します。**

【用紙/テスト】キーのメニュー画面が表示されます。

2 **【▼】キーを押して「カミサイズセンタク」を表示させ、【実行】キーを押します。**

<ヨウシ/テストインサツ> ▲
3.カミサイズ センタク ▼

用紙サイズの選択画面が表示されます。

3 **【▲】【▼】キーを押して、「フリー」を表示させ、【実行】キーを押します。**

<カミサイズ センタク> ▲
フリー ▼

用紙の横サイズの入力画面が表示されます。

4 **【▲】【▼】キーで用紙の横サイズを入力し、【実行】キーを押します。**

```
<フリーサイズ゛>    ヨコ
✥ 210mm   0296mm
```

補足

- 【★】キーを押しながら【▲】【▼】キーを押すと、10mm単位で設定できます。

用紙の縦サイズの入力画面が表示されます。

5 **【▲】【▼】キーで用紙の縦サイズを入力し、【実行】キーを押します。**

```
<フリーサイズ゛>    タテ
  210mm ✥ 0296mm
```

6 **【実行】キーを押します。**

用紙サイズが設定され、**【用紙/テスト】**キーのメニュー画面に戻ります。

重要

- セットした用紙サイズと操作パネルで入力したサイズが合っていることを確認してください。サイズが合っていないと、機械内部を汚す原因になります。

7 **【エスケープ】キーを押します。**

通常の画面が表示されます。

```
RPDL           テサシ
               フリー
```

「テサシ」と「フリー」が表示されていることを確認してください。

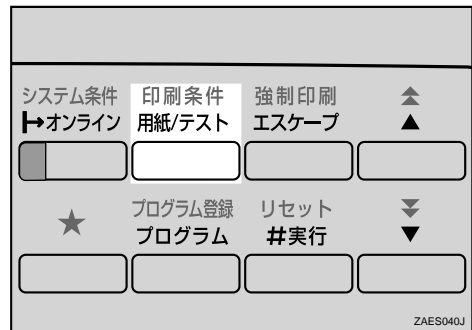
厚紙、OHPフィルムをセットしたとき

重要

- 厚紙モードの設定は、操作パネルでの設定よりもプリンタードライバーでの設定が有効になります。
- 厚紙やOHPフィルムに印刷する場合は、排紙先を本体の排紙トレイに設定してください。

参照

プリンタードライバーでの設定方法は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

1 **【用紙/テスト】キーを押します。**

【用紙/テスト】キーのメニュー画面が表示されます。

2 **【▲】【▼】キーを押して「アツガミモード」を表示させ、【実行】キーを押します。**

```
<ヨウシ/テストインサツ>   ▲
 10.アツガ゛ミモート゛    ▼
```

厚紙モードの設定画面が表示されます。

3 **【▲】【▼】キーを押して「アツガミ」を表示させ、【実行】キーを押します。**

```
<アツガ゛ミモート゛>
 アツガ゛ミ
```

厚紙モードに設定され、**【用紙/テスト】**キーのメニュー画面に戻ります。

4 【エスケープ】キーを押します。

通常の画面が表示されます。

補足

- ❒ 厚紙モードの印刷が終わったら、操作パネルで「アツガミモード」を「ヒョウジュン」に戻してください。

3. プリンターのプロパティの表示と印刷の中止

プリンターのプロパティとは、印刷するときにプリンターの機能に応じたさまざまな印刷条件を設定する、プリンタードライバーの設定画面のことです。

Windows 95/98の場合

プリンタードライバーの設定画面を表示する

Windows 95/98には、プリンタードライバーの設定画面を表示させる方法が２種類あります。

❖ **［プリンタ］ウィンドウから表示させる**

［プリンタ］ウィンドウからプリンターのプロパティを表示させると、［全般］または［情報］、［詳細］、［共有］、［印刷品質］、［基本］、［仕上げ］、［変倍］、［集約］、［合成］、［排紙先］、［その他］タブが表示されます。

［全般］または［情報］、［詳細］、［共有］タブはWindows 95/98が追加するタブで、Windows 95/98の機能に関する設定を行います。

［印刷品質］、［基本］、［仕上げ］、［変倍］、［集約］、［合成］、［排紙先］、［その他］タブはプリンタードライバーの印刷に関する設定を行うタブです。このタブで行った設定が、すべてのアプリケーションで印刷するための設定の初期値になります。

❖ アプリケーションから表示させる

アプリケーションからプリンターのプロパティを表示させると、[印刷品質]、[基本]、[仕上げ]、[変倍]、[集約]、[合成]、[排紙先]、[その他] タブが表示されます。タブの内容は [プリンタ] ウィンドウから表示させたときと同じです。

アプリケーションからプリンターのプロパティを表示させると、[プリンタ] ウィンドウから表示させたプリンターのプロパティで設定した内容が表示されます。これは [プリンタ] ウィンドウから表示させたプリンターのプロパティの設定が、アプリケーションで印刷するための初期値になっているためです。アプリケーションからの印刷時は、ここから必要な設定だけを変更して印刷します。

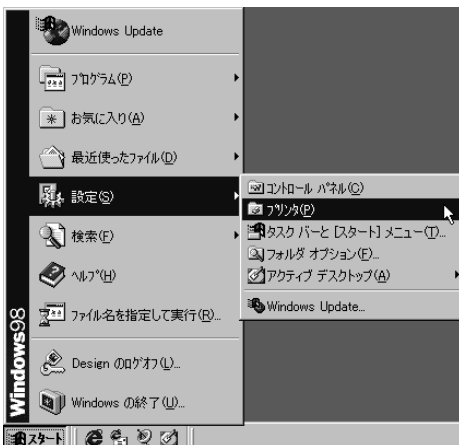
補足

❒ ここでの設定は印刷するアプリケーションでのみ有効な設定です。

❒ アプリケーションによっては印刷の初期値を変更するものもあります。

印刷の初期値を設定する

アプリケーションから印刷するときの初期値を設定するには、プリンターのプロパティを [プリンタ] ウィンドウから表示させて設定します。

1 [スタート] ボタンをクリックし、[設定] をポイントし、[プリンタ] をクリックします。

2 初期値を設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。

プリンターのプロパティが表示されます。

参照

設定のしかたの詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

アプリケーションごとに設定する

印刷を行うアプリケーションだけに有効な設定をするには、プリンターのプロパティをアプリケーションから表示させて設定します。ここではWindows 98に付属の「ワードパッド」を例に説明します。

補足

❒ 実際の表示の手順はアプリケーションによって多少異なります。詳細はアプリケーションの説明書やヘルプを参照してください。

1 **［ファイル］メニューの［印刷］をクリックします。**

［印刷］ダイアログが表示されます。

補足

❒ 印刷部数や印刷範囲など基本的な項目は、プリンターのプロパティを開かなくても、このダイアログで指定できます。

2 **［プロパティ］をクリックします。**

プリンターのプロパティが表示されます。

参照

設定のしかたの詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

印刷を中止する

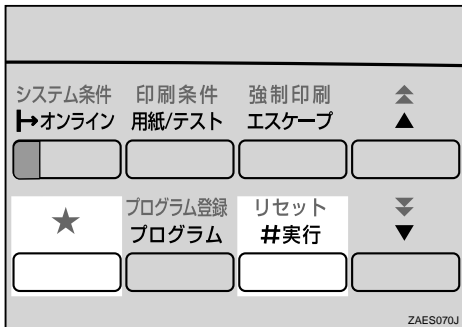
印刷を中止する場合は、本機とパソコンの両方から行います。中止する方法は印刷データの状態によって異なりますので、状況を確認し、以下の手順で操作してください。

1 印刷を中止したいデータが、現在プリンターから印刷されているか確認します。

データが印刷されていなくても、データインランプが点滅・点灯していればプリンターはデータを受信しています。

2 印刷を中止します。

中止したいデータが印刷されているとき

❶ **オンラインランプが点灯していることを確認し、操作パネルの【★】キーを押しながら【リセット】キーを押します。**

操作パネルのディスプレイに「データキャンセルチュウ」と表示され、印刷データがキャンセルされます。

中止したいデータが印刷されていないとき

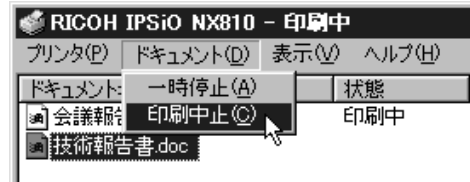
❶ **Windowsのタスクバーのプリンターアイコンをダブルクリックします。**

印刷中のプリンターのウィンドウが開くので、印刷を中止する文書の状態を確認します。

補足

❒ 印刷中のプリンターのウィンドウを開くには、［プリンタ］ウィンドウでプリンターのアイコンをダブルクリックする方法もあります。

❷ **印刷を中止する文書のドキュメント名をクリックして反転表示させます。**

❸ **［ドキュメント］メニューの［印刷中止］をクリックします。**

印刷が中止されます。

補足

❒ ネットワークプリンターとしてご使用の場合、他のユーザーのドキュメントをローカルのパソコンから削除することはできません。

❒ ［プリンタ］メニューの［印刷ドキュメントの削除］をクリックすると、印刷待ち状態のすべてのドキュメントが削除されます。ただし、ネットワークプリンターとしてご使用の場合、他のユーザーのドキュメントをローカルのパソコンから削除することはできません。

❒ 手順❷で選択したドキュメントの印刷が開始している場合は、プリンターのウィンドウからドキュメント名が消えるまで、多少時間がかかります。

Windows 2000の場合

プリンタードライバーの設定画面を表示する

Windows 2000には、プリンタードライバーの設定画面を表示させる方法が３種類あります。

❖ ［プリンタ］ウィンドウから表示させる（プロパティ）

プリンタープロパティを表示するには、［プリンタ］ウィンドウで設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

プリンタープロパティでは以下のタブが表示されます。

［全般］、［共有］、［ポート］、［詳細設定］、［色の管理］、［セキュリティ］タブはWindows 2000が追加するタブで、Windows 2000の機能に関する設定を行います。
［オプション構成］、［プリンターフォント］、［TrueType置換テーブル］、［印刷ログコード］タブはプリンターに関する設定を行うタブです。

制限

- ❒ プリンタープロパティの内容を変更するには「プリンタの管理」のアクセス許可が必要です。内容を変更するときは、AdministratorsまたはPower Usersグループのメンバーとしてログオンしてください。
- ❒ プリンタープロパティの設定をユーザーごとに変えることはできません。プリンタープロパティで行った設定が、このプリンタードライバーを使って印刷するすべてのユーザーの設定になります。
- ❒ アプリケーションによっては、ここで設定した初期値が反映されない場合があります。

❖［プリンタ］ウィンドウから表示させる（印刷設定）

印刷設定を表示するには、［プリンタ］ウィンドウで設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［印刷設定］をクリックします。

3

印刷設定では［印刷品質］、［基本］、［仕上げ］、［変倍］、［集約］、［合成］、［排紙先］、［その他］タブが表示されます。

［印刷品質］、［仕上げ］、［基本］、［変倍］、［集約］、［合成］、［排紙先］、［その他］タブはプリンタードライバーの印刷に関する設定を行うタブです。このタブで行った設定が、すべてのアプリケーションで印刷するための設定の初期値になります。

制限

- ❒ 印刷設定の内容を変更するには「プリンタの管理」のアクセス許可が必要です。内容を変更するときは、AdministratorsまたはPower Usersグループのメンバーとしてログオンしてください。
- ❒ 印刷設定をユーザーごとに変えることはできません。印刷設定で行った設定が、このプリンタードライバーを使って印刷するすべてのユーザーの初期値になります。
- ❒ アプリケーションによっては、ここで設定した初期値が反映されない場合があります。

❖ アプリケーションから表示させる

アプリケーションからプリンターのプロパティを表示させると、[全般]、[印刷品質]、[基本]、[仕上げ]、[変倍]、[集約]、[合成]、[排紙先]、[その他] タブが表示されます。

アプリケーションからプリンターのプロパティを表示させると、印刷設定で設定した内容が表示されます。これは印刷設定が、アプリケーションで印刷するための初期値になっているためです。アプリケーションからの印刷時は、ここから必要な設定だけを変更して印刷します。

補足

- ❒ ここでの設定は印刷するアプリケーションでのみ有効な設定です。
- ❒ アプリケーションによっては印刷の初期値を変更するものもあります。

3

印刷の初期値を設定する（プロパティ）

制限

- ［プリンタ］ウィンドウでプリンタープロパティを変更するには「プリンタの管理」のアクセス許可が必要です。AdministratorsまたはPower Usersグループのメンバーとしてログオンしてください。

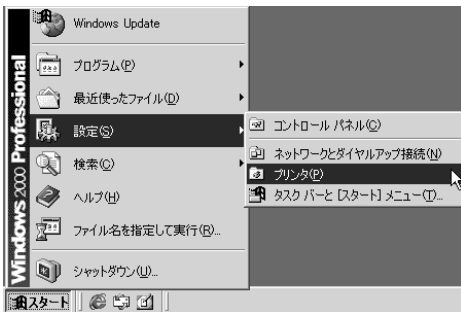
1 **［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。**

2 **初期値を設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。**

プリンターのプロパティが表示されます。

参照

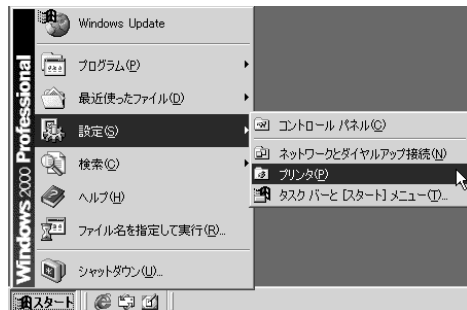
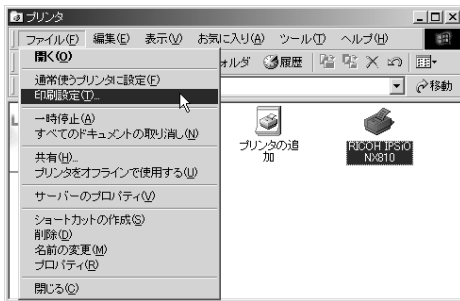
設定のしかたの詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

補足

- ここでの設定が、すべてのアプリケーションでの設定の初期値になります。

印刷の初期値を設定する（印刷設定）

制限

- ［プリンタ］ウィンドウで印刷設定を変更するには「プリンタの管理」のアクセス許可が必要です。AdministratorsまたはPower Usersグループのメンバーとしてログオンしてください。

1 **［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。**

2 **初期値を設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［印刷設定］をクリックします。**

印刷設定が表示されます。

参照

設定のしかたの詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

補足

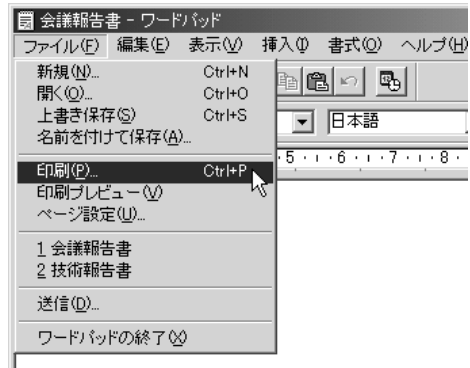
- ❒ ここでの設定がアプリケーションから印刷するときに必要な設定の初期値になります。
- ❒ 印刷設定はプリンタープロパティで［印刷設定］をクリックして表示させることもできます。

アプリケーションごとに設定する

印刷を行うアプリケーションだけに有効な設定をするには、プリンターのプロパティをアプリケーションから表示させて設定します。ここではWindows 2000に付属の「ワードパッド」を例に説明します。

補足

- ❒ 実際の表示の手順はアプリケーションによって多少異なります。詳細はアプリケーションの説明書やヘルプを参照してください。
- ❒ アプリケーションの［印刷］ダイアログから表示したプロパティは、一般ユーザーでも変更することができます。

1 **［ファイル］メニューの［印刷］をクリックします。**

［印刷］ダイアログが表示されます。

2 **ご使用のプリンターのアイコンをクリックして反転表示させます。**

プリンターの印刷設定用のタブが表示されます。

3 **表示されたタブをクリックするとプロパティのシートが表示されます。**

参照

設定のしかたの詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

印刷を中止する

印刷を中止する場合は、本機とパソコン両方から行います。中止する方法は印刷データの状態によって異なりますので、状況を確認し、以下の手順で操作してください。

1 印刷を中止したいデータが、現在プリンターから印刷されているか確認します。

データが印刷されていなくても、データインランプが点滅・点灯していればプリンターはデータを受信しています。

2 印刷を中止します。

中止したいデータが印刷されているとき

❶ プリンターのオンラインランプが点灯している状態で、操作パネルの【★】キーを押しながら【リセット】キーを押します。

操作パネルのディスプレイに「データキャンセルチュウ」と表示され、印刷データがキャンセルされます。

中止したいデータが印刷されていないとき

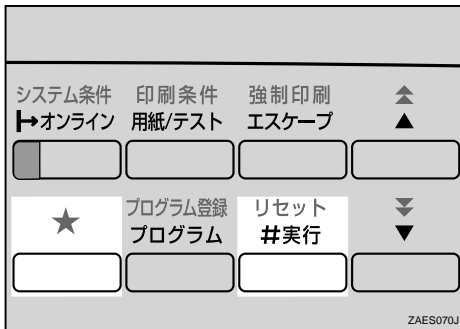
❶ Windowsのタスクバーのプリンターアイコンをダブルクリックします。

印刷中のプリンターのウィンドウが開くので、印刷を中止する文書の状態を確認します。

補足

❒ 印刷中のプリンターのウィンドウを開くには、［プリンタ］ウィンドウでプリンターのアイコンをダブルクリックする方法もあります。

❷ 印刷を中止する文書のドキュメント名をクリックして反転表示させます。

❸ ［ドキュメント］メニューの［キャンセル］をクリックします。

印刷が中止されます。

補足

❒ ［プリンタ］メニューの［すべてのドキュメントの取り消し］をクリックすると、印刷待ち状態のすべてのドキュメントが削除されます。ただし、［すべてのドキュメントの取り消し］を使って印刷を中止するには、「プリンタの管理」のアクセス許可が必要です。

❒ 手順❷で選択したドキュメントの印刷が開始している場合は、プリンターのウィンドウからドキュメント名が消えるまで、多少時間がかかります。

Windows NT4.0の場合

プリンタードライバーの設定画面を表示する

Windows NT4.0には、プリンタードライバーの設定を行う画面が３種類あります。

❖［プリンタ］ウィンドウから表示させる（プロパティ）

プリンタープロパティを表示するには、［プリンタ］ウィンドウで設定するプリンタのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

プリンタープロパティでは以下のタブが表示されます。

［全般］、［ポート］、［スケジュール］、［共有］、［セキュリティ］タブはWindows NTが追加するタブで、Windows NTの機能に関する設定を行います。
［オプション構成］、［プリンターフォント］、［TrueType置換テーブル］、［印刷ログコード］タブはプリンターに関する設定を行うタブです。

制限

- ❒ プリンタープロパティの内容を変更するには「フルコントロール」のアクセス権が必要です。内容を変更するときは、AdministratorsまたはPower Usersグループのメンバーとしてログオンしてください。

❒ プリンタープロパティの設定をユーザーごとに変えることはできません。プリンタープロパティで行った設定が、このプリンタードライバーを使って印刷するすべてのユーザーの設定になります。

❒ アプリケーションによっては、ここで設定した初期値が反映されない場合があります。

❖［プリンタ］ウィンドウから表示させる（ドキュメントの既定値）

ドキュメントの既定値を表示するには、［プリンタ］ウィンドウで設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［ドキュメントの既定値］をクリックします。

ドキュメントの既定値では［印刷品質］、［基本］、［仕上げ］、［変倍］、［集約］、［合成］、［排紙先］、［その他］タブが表示されます。

［印刷品質］、［基本］、［仕上げ］、［変倍］、［集約］、［合成］、［排紙先］、［その他］タブはプリンタードライバーの印刷に関する設定を行うタブです。このタブで行った設定が、すべてのアプリケーションで印刷するための設定の初期値になります。

制限

❒ ドキュメントの既定値の内容を変更するには「フルコントロール」のアクセス権が必要です。内容を変更するときは、AdministratorsまたはPower Usersグループのメンバーとしてログオンしてください。

❒ ドキュメントの既定値の設定をユーザーごとに変えることはできません。ドキュメントの既定値で行った設定が、このプリンタードライバーを使って印刷するすべてのユーザーの初期値になります。

❒ アプリケーションによっては、ここで設定した初期値が反映されない場合があります。

❖ アプリケーションごとに印刷の設定をする

アプリケーションからプリンターのプロパティを表示させると、[印刷品質]、[基本]、[仕上げ]、[変倍]、[集約]、[合成]、[排紙先]、[その他] タブが表示されます。タブの内容は [プリンタ] ウィンドウから表示させたドキュメントの既定値と同じです。

アプリケーションからプリンターのプロパティを表示させると、ドキュメントの既定値で設定した内容が表示されます。これはドキュメントの既定値の設定が、アプリケーションで印刷するための初期値になっているためです。アプリケーションからの印刷時は、ここから必要な設定だけを変更して印刷します。

補足

- ❒ ここでの設定は印刷するアプリケーションでのみ有効な設定です。
- ❒ アプリケーションによっては印刷の初期値を変更するものもあります。

3

印刷の初期値を設定する（プロパティ）

アプリケーションから印刷するときの初期値は、［プリンタ］ウィンドウから表示させる「プリンタープロパティ」と「ドキュメントの既定値」で設定します。

制限

❒ ［プリンタ］ウィンドウでプリンタープロパティを変更するには「フルコントロール」のアクセス権が必要です。AdministratorsまたはPower Usersグループのメンバーとしてログオンしてください。

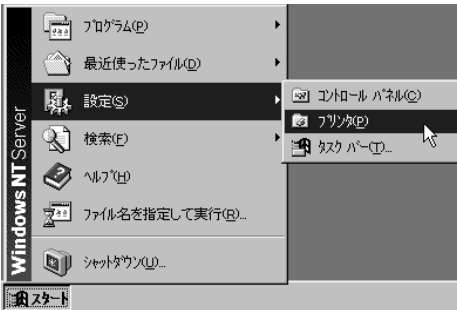
1 **［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。**

2 **初期値を設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。**

プリンターのプロパティが表示されます。

参照

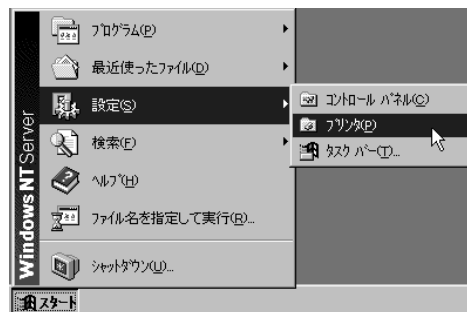
設定のしかたの詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

補足

❒ ここでの設定が、すべてのアプリケーションでの設定の初期値になります。

印刷の初期値を設定する（ドキュメントの既定値）

制限

❒ ［プリンタ］ウィンドウでドキュメントの既定値を変更するには「フルコントロール」のアクセス権が必要です。AdministratorsまたはPower Usersグループのメンバーとしてログオンしてください。

1 **［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。**

2 **初期値を設定するプリンタのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［ドキュメントの既定値］をクリックします。**

ドキュメントの既定値が表示されます。

参照

設定のしかたの詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

補足

❒ ここでの設定がアプリケーションから印刷するときに必要な設定の初期値になります。

アプリケーションごとに設定する

印刷を行うアプリケーションだけに有効な設定をするには、プリンターのプロパティをアプリケーションから表示させて設定します。ここではWindows NTに付属の「ワードパッド」を例に説明します。

補足

❒ 実際の表示の手順はアプリケーションによって多少異なります。詳細はアプリケーションの説明書やヘルプを参照してください。

❒ アプリケーションの［印刷］ダイアログから表示したプロパティは、一般ユーザーでも変更することができます。

1 **［ファイル］メニューの［印刷］をクリックします。**

［印刷］ダイアログが表示されます。

補足

❒ 印刷部数や印刷範囲など基本的な項目は、プリンターのプロパティを開かなくても、このダイアログで指定できます。

2 **［プロパティ］をクリックします。**

プリンターのプロパティが表示されます。

参照

設定のしかたの詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

印刷を中止する

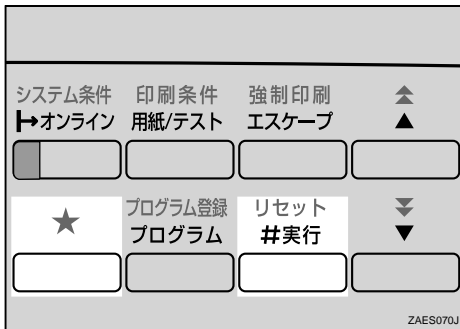
印刷を中止する場合は、本機とパソコン両方から行います。中止する方法は印刷データの状態によって異なりますので、状況を確認し、以下の手順で操作してください。

1 印刷を中止したいデータが、現在プリンターから印刷されているか確認します。

データが印刷されていなくても、データインランプが点滅・点灯していればプリンターはデータを受信しています。

2 印刷を中止します。

中止したいデータが印刷されているとき

❶ プリンターのオンラインランプが点灯している状態で、操作パネルの【★】キーを押しながら【リセット】キーを押します。

操作パネルのディスプレイに「データキャンセルチュウ」と表示され、印刷が中止されます。

中止したいデータが印刷されていないとき

❶ Windowsのタスクバーのプリンターアイコンをダブルクリックします。

印刷中のプリンターのウィンドウが開くので、印刷を中止する文書の状態を確認します。

補足

- ❒ 印刷中のプリンターのウィンドウを開くには、［プリンタ］ウィンドウでプリンターのアイコンをダブルクリックする方法もあります。

❷ 印刷を中止する文書のドキュメント名をクリックして反転表示させます。

❸ ［ドキュメント］メニューの［キャンセル］をクリックします。

印刷が中止されます。

補足

- ❒ ［プリンタ］メニューの［印刷ドキュメントの削除］をクリックすると、印刷待ち状態のすべてのドキュメントが削除されます。ただし、［印刷ドキュメントの削除］を使って印刷を中止するには、「フルコントロール」のアクセス権が必要です。
- ❒ 手順❷で選択したドキュメントの印刷が開始している場合は、プリンターのウィンドウからドキュメント名が消えるまで、多少時間がかかります。

Windows NT3.51 の場合

プリンタードライバーの設定画面を表示する

Windows NT3.51では、プリンタードライバーの設定を行う方法として、プリントマネージャから設定画面を表示させて行う方法と、アプリケーションから表示させて行う方法があります。

❖ プリントマネージャから表示させる

プリントマネージャから表示させる画面には、［プリンタ情報］、［プリンタ設定］、［プリンタ詳細］、［標準設定］、［印刷設定］ダイアログがあります。
このうち、［プリンタ情報］、［プリンタ設定］、［プリンタ詳細］ダイアログでは、プリンターの初期設定を行います。［標準設定］、［印刷設定］ダイアログでは、アプリケーションで印刷するための初期値を設定します。

制限

❒ プリントマネージャから表示させた画面の内容を変更するには「フルコントロール」のアクセス権が必要です。内容を変更するときは、AdministratorsまたはPower Usersグループのメンバーとしてログオンしてください。

❖ アプリケーションから表示させる

アプリケーションから表示させるプリンターの設定画面は、プリントマネージャから表示させる［標準設定］ダイアログと［印刷設定］ダイアログです。この画面を表示させると、プリントマネージャで設定した内容と同じ内容で表示されます。これはプリントマネージャの設定が、アプリケーションで印刷するための初期値になっているためです。アプリケーションからの印刷時は、ここから必要な設定だけを変更して印刷します。

補足

❒ ここでの設定は印刷するアプリケーションでのみ有効な設定です。

❒ アプリケーションによっては印刷の初期値を変更するものもあります。

3

印刷の初期値を設定する

アプリケーションから印刷するときの初期値は、プリントマネージャから表示させる画面で設定します。

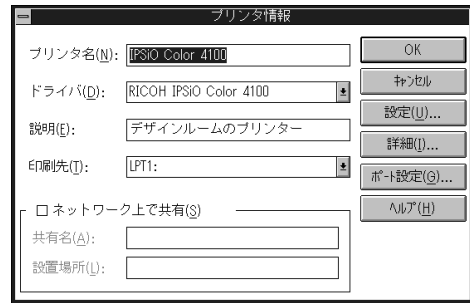
制限

- ❒ プリントマネージャから表示させた画面の内容を変更するには「フルコントロール」のアクセス権が必要です。内容を変更するときは、AdministratorsまたはPower Usersグループのメンバーとしてログオンしてください。

3

1 ［メイン］グループの［プリントマネージャ］をダブルクリックします。

2 初期値を設定するプリンターのアイコンまたはウィンドウをクリックして反転表示させ、［プリンタ］メニューの［プリンタ情報］をクリックします。

［プリンタ情報］ダイアログが表示されます。

補足

- ❒ ［設定］をクリックすると［プリンタ設定］ダイアログが表示されます。
- ❒ ［詳細］をクリックすると［プリンタ詳細］ダイアログが表示されます。そこで［標準設定］をクリックすると［標準設定］ダイアログが表示されます。
- ❒ ［標準設定］ダイアログで［高度な設定］をクリックすると、［印刷設定］ダイアログが表示されます。

参照

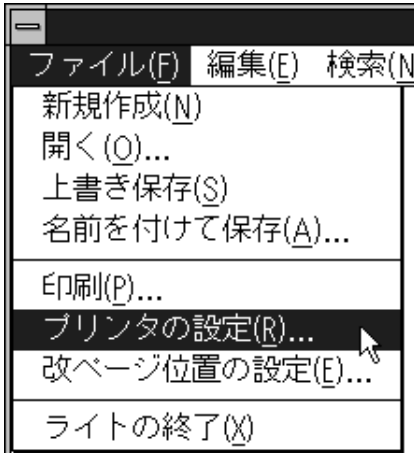
設定のしかたの詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

アプリケーションごとに設定する

印刷を行うアプリケーションだけに有効な設定をするには、プリンターの設定画面をアプリケーションから表示させて設定します。ここではWindows NTに付属の「ライト」を例に説明します。

補足

- ❒ 実際の表示の手順はアプリケーションによって多少異なります。詳細はアプリケーションの説明書やヘルプを参照してください。

1 ［ファイル］メニューの［プリンタの設定］をクリックします。

［プリンタの設定］ダイアログが表示されます。

補足

- ❒ 印刷するプリンターが通常使うプリンタとして設定されていないときは、［プリンタ名］ボックスのドロップダウンメニューから選択します。

2 ［プロパティ］をクリックします。

［標準設定］ダイアログが表示されます。

補足

- ❒ ［高度な設定］をクリックすると、［印刷設定］ダイアログが表示されます。
- ❒ ［ファイル］メニューの［印刷］をクリックし、［印刷］ダイアログで［プリンタの設定］をクリックする方法もあります。

参照

設定のしかたの詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

印刷を中止する

印刷を中止する場合は、本機とパソコンの両方から行います。

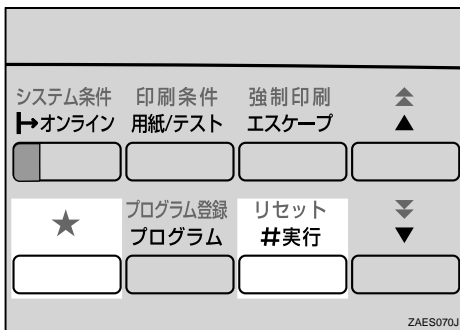
中止する方法は印刷データの状態によって異なりますので、状況を確認し、以下の手順で操作してください。

1 印刷を中止したいデータが、現在プリンターから印刷されているか確認します。

データが印刷されていなくても、データインランプが点滅・点灯していればプリンターはデータを受信しています。

2 印刷を中止します。

中止したいデータが印刷されているとき

❶ **プリンターのオンラインランプが点灯している状態で、操作パネルの【★】キーを押しながら【リセット】キーを押します。**

操作パネルのディスプレイに「データキャンセルチュウ」と表示され、印刷データがキャンセルされます。

中止したいデータが印刷されていないとき

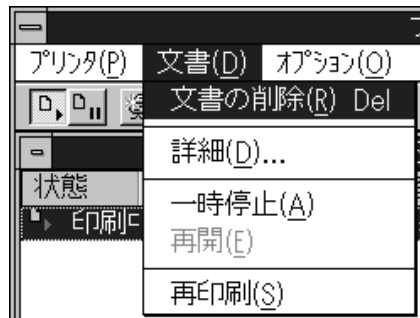
❶ **［メイン］グループの［プリントマネージャ］アイコンをダブルクリックします。**

プリントマネージャが開きます。

❷ **印刷先のプリンターのアイコンをダブルクリックします。**

印刷中と印刷待ち文書の一覧が表示されます。

❸ **印刷を中止する文書をクリックして反転表示させます。**

❹ **［文書］メニューの［文書の削除］をクリックします。**

印刷が中止されます。

補足

- ［プリンタ］メニューの［全文書の削除］をクリックすると、印刷待ち状態のすべての文書が削除されます。［全文書の削除］を使って印刷を中止するには、「フルコントロール」のアクセス権が必要です。
- 手順❸で選択した文書の印刷が開始している場合は、プリントマネージャのウィンドウから文書名が消えるまで多少時間がかかります。

試し印刷

試し印刷する

本機では、複数部数を印刷するときに、1部だけ試しに印刷することができます。これを「試し印刷」といいます。

試し印刷の手順は以下のとおりです。

① プリンタードライバーのプロパティの［基本］タブで、試し印刷の設定をします。

- ［印刷方法］ボックスのドロップダウンメニューから「試し印刷」を選択します。
- ［ユーザー ID］ボックスにユーザー IDを半角英数字８文字以内で入力します。

② 印刷部数を指定します。

③ パソコンから印刷の指示を出します。

④ 印刷の結果を確認し、操作パネルから２部目以降を印刷するか削除するか指示をします。

- ２部目以降を印刷する場合⇒ P.58
- 文書を削除する場合⇒ P.59

参照

プリンタードライバーの詳しい設定方法は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

制限

❒ 試し印刷するには、あらかじめ拡張HDD（オプション）が取り付けられている必要があります。

❒ １部目の印刷中に印刷を中止した場合は、文書は拡張HDDに蓄積されません。

❒ 以下の場合、試し印刷を指定した文書のデータは拡張HDDから削除されます。

- ２部目以降の印刷が終了した場合
- 蓄積文書のリストから消去した場合
- ２部目以降の印刷中にジョブリセットして印刷を中止した場合
- 電源を切った場合
- システムをリセットした場合

❒ 次の文書は拡張 HDD に蓄積されず、２部目以降を印刷できません。印刷できなかった文書は、エラー履歴で確認できます。⇒ P.60「エラー履歴を確認する」

- 拡張 HDD に蓄積されている試し印刷のデータが機密印刷のデータと合わせて30個蓄積されているときに送信された31個目の文書
- 送信した文書が、拡張HDDに蓄積されている試し印刷と機密印刷データの総ページ数と合わせて2,000ページを超える場合
- １部のページ数が 1,500 ページを超える場合
- 拡張HDDがいっぱいになった場合

補足

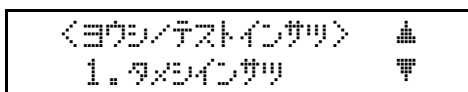
❒ プリンタードライバーで指定した印刷部数が１部の場合でも、印刷データは拡張HDDに蓄積されます。

２部目以降を印刷する

1 **【用紙/テスト】キーを押します。**

【用紙/テスト】キーのメニュー画面が表示されます。

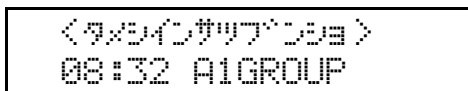
2 **「タメシインサツ」が表示されていることを確認し、【実行】キーを押します。**

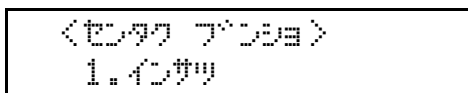
<ヨウシ/テストインサツ> ▲
1.タメシインサツ ▼

蓄積されている文書の印刷指示を出した時間とユーザーIDが表示されます。

補足

- ❒ 試し印刷の文書が蓄積されていない場合は、「ブンショガアリマセン」というメッセージが表示されます。

3 **【▲】【▼】キーを押して印刷する文書を選択し、【実行】キーを押します。**

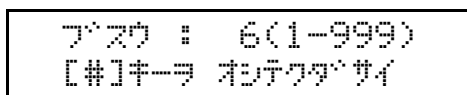
<タメシインサツブンショ>
08:32 A1GROUP

4 **「1.インサツ」が表示されていることを確認し、【実行】キーを押します。**

<センタク ブンショ>
1.インサツ

残りの印刷部数が表示されます。

補足

- ❒ 文書印刷をキャンセルする場合は、**【エスケープ】**キーを押します。

5 **【実行】キーを押します。印刷部数を変更する場合は【▲】【▼】キーを押して設定してから、【実行】キーを押します。**

ブスウ : 6(1-999)
[#]キーデ オシテクダサイ

残り部数が印刷され、文書は消去されます。

補足

- ❒ 印刷部数は、1〜999の範囲で指定できます。
- ❒ 蓄積文書のデータサイズが大きいときは、「ジュンビチュウ」と表示され、しばらくしてから印刷されます。
- ❒ 給紙トレイの用紙サイズと紙種が１部目印刷時と変えられている場合、「セッテイガヘンコウサレタタメインサツデキマセン」というメッセージが表示されます。**【エスケープ】**キーを押して「ブンショインサツ」を終了し、１部目と同じ用紙サイズ、紙種の設定に戻してください。

4

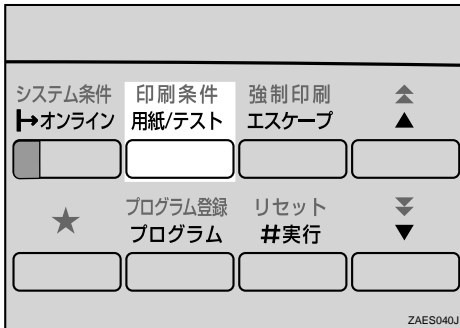
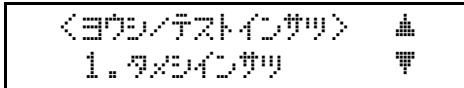
文書を削除する

試し印刷の内容を確認し、2部目以降を印刷しない場合は、拡張HDDに蓄積した文書を削除します。

1 **【用紙/テスト】キーを押します。**

【用紙/テスト】キーのメニュー画面が表示されます。

2 **「タメシインサツ」が表示されていることを確認し、【実行】キーを押します。**

<ﾖｳｼ/ﾃｽﾄｲﾝｻﾂ> ▲
1.ﾀﾒｼｲﾝｻﾂ ▼

蓄積されている文書のリスト印刷指示を出した時間とユーザー IDが表示されます。

補足

❒ 試し印刷の文書が蓄積されていない場合は、「ブンショガアリマセン」というメッセージが表示されます。

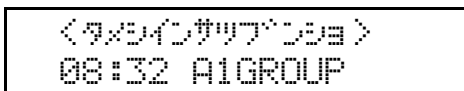
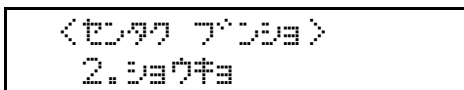
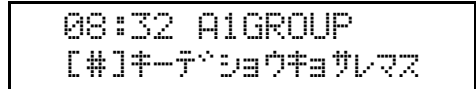
3 **【▲】【▼】キーを押して削除する文書を選択し、【実行】キーを押します。**

<ﾀﾒｼｲﾝｻﾂﾌﾞﾝｼｮ>
08:32 A1GROUP

4 **【▲】【▼】キーを押して「2.ショウキョ」を表示させ、【実行】キーを押します。**

<ｾﾝﾀｸ ﾌﾞﾝｼｮ>
2.ｼｮｳｷｮ

5 **【実行】キーを押します。**

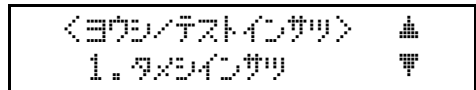
08:32 A1GROUP
[#]ｷｰﾃﾞｼｮｳｷｮｻﾚﾏｽ

文書が削除されます。

「ショウキョ シマシタ」というメッセージが表示されたあと、蓄積文書のリスト画面に戻ります。

補足

❒ 削除を中止する場合は、**【エスケープ】**キーを押します。

6 **【エスケープ】キーを押します。**

【用紙/テスト】キーのメニュー画面に戻ります。

7 **【エスケープ】キーを押します。**

<ﾖｳｼ/ﾃｽﾄｲﾝｻﾂ> ▲
1.ﾀﾒｼｲﾝｻﾂ ▼

通常の画面に戻ります。

4

エラー履歴を確認する

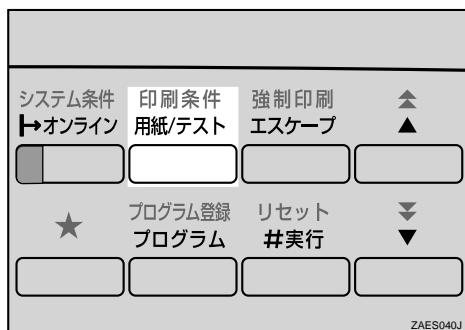
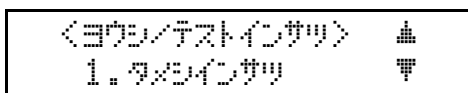
文書が拡張HDDに蓄積されなかった場合は、エラー履歴で確認することができます。エラー履歴は最新の20件が表示されます。ただし、以下の場合はそれまでの履歴は消去されます。

- プリンターの電源を切った場合
- システムをリセットした場合

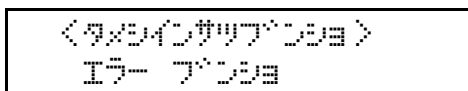
1 **【用紙/テスト】キーを押します。**

【用紙/テスト】キーのメニュー画面が表示されます。

2 **「タメシインサツ」が表示されていることを確認し、【実行】キーを押します。**

<ﾖｳｼ/ﾃｽﾄｲﾝｻﾂ>
1.ﾀﾒｼｲﾝｻﾂ

試し印刷の選択画面が表示されます。

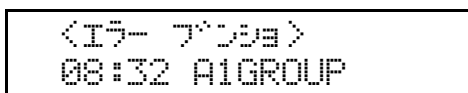
3 **【▲】【▼】キーを押して「エラー ブンショ」を表示させ、【実行】キーを押します。**

<ﾀﾒｼｲﾝｻﾂﾌﾞﾝｼｮ>
ｴﾗｰ ﾌﾞﾝｼｮ

エラー履歴が表示されます。

補足

❒ エラー履歴がない場合は、「ブンショガアリマセン」というメッセージが表示され、手順**3**の画面に戻ります。

4 **【▲】【▼】キーを押して履歴を確認します。**

<ｴﾗｰ ﾌﾞﾝｼｮ>
08:32 A1GROUP

5 **確認が終わったら、【エスケープ】キーを押します。**

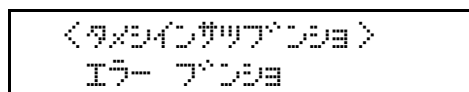
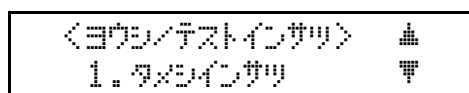
試し印刷のメニュー画面に戻ります。

6 **【エスケープ】キーを押します。**

<ﾀﾒｼｲﾝｻﾂﾌﾞﾝｼｮ>
ｴﾗｰ ﾌﾞﾝｼｮ

【用紙/テスト】キーのメニュー画面に戻ります。

7 **【エスケープ】キーを押します。**

<ﾖｳｼ/ﾃｽﾄｲﾝｻﾂ>
1.ﾀﾒｼｲﾝｻﾂ

通常の画面に戻ります。

補足

❒ エラー印刷になった文書を印刷するには、拡張 HDD に蓄積されている文書を印刷する（⇒P.58「２部目以降を印刷する」）か削除（⇒P.59「文書を削除する」）してから、パソコンから印刷し直してください。

機密印刷

文書にパスワードをつけて印刷する

本機では、文書を印刷するときにあらかじめパスワードをつけておいて、プリンター側でパスワードを入力しないと印刷できないようにすることができます。これを「機密印刷」といいます。人事情報など、同じ社内の人にも見せたくない文書をネットワークプリンターで印刷するときなどに安心して印刷することができます。

参照

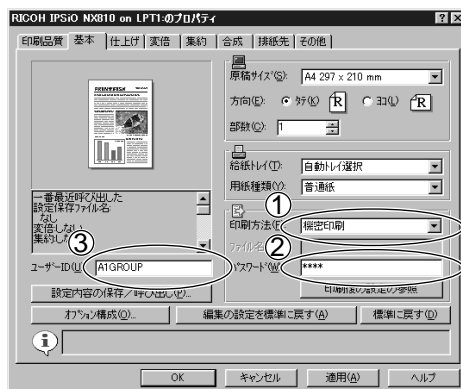
プリンタードライバーの詳しい設定方法は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

制限

- ❒ 機密印刷するには、あらかじめ拡張HDD（オプション）が取り付けられている必要があります。
- ❒ 以下の場合、機密印刷を指定した文書のデータは拡張HDDから削除されます。
  - 印刷が終了した場合
  - リストから消去した場合
  - 印刷中にジョブリセットして印刷を中止した場合
  - 電源を切った場合
  - システムをリセットした場合
- ❒ 次の文書は拡張 HDD に蓄積されません。蓄積されなかった文書は、エラー履歴で確認することができます。
  ⇒ P.64 「エラー履歴を確認する」
  - 拡張HDDに蓄積されている機密印刷のデータが試し印刷と合わせて30個のときに送信された31個目の文書
  - 送信した文書が、拡張HDDに蓄積されている試し印刷と機密印刷のデータの総ページ数と合わせて2,000ページを超える場合
  - １部のページ数が 1,500 ページを超える場合
  - 拡張HDDがいっぱいになった場合

文書を印刷する

1 **印刷する文書を表示します。**

2 **プリンタードライバーのプロパティの［基本］タブで、機密印刷の設定をします。**

❶ **［印刷方法］ボックスのドロップダウンメニューから「機密印刷」を選択します（①）。**

❷ **［パスワード］ボックスに半角数字４桁のパスワードを入力します（②）。**

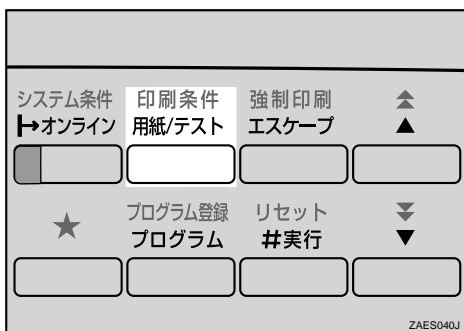
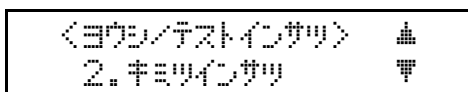
重要

- ❒ パスワードはプリンターでの印刷指示時に入力しますので忘れないようにしてください。

❸ **［ユーザーID］ボックスにユーザーIDを半角英数字８文字以内で入力します（③）。**

❹ **［適用］ボタンをクリックし、表示される確認画面で、手順❷で入力したパスワードを再度入力して［OK］ボタンをクリックします。**

3 **パソコンから印刷の指示を出します。**

4 **【用紙/テスト】キーを押します。**

【用紙/テスト】キーのメニュー画面が表示されます。

4

5 **【▲】【▼】キーを押して「2. キミツインサツ」を表示させ、【実行】キーを押します。**

<ヨウシ/テストインサツ>
2.キミツインサツ

蓄積されている文書のリストが印刷指示を出した時間とユーザーIDで表示されます。

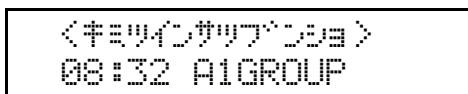
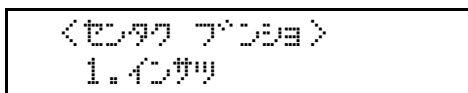
補足

- ❒ 機密印刷の文書が蓄積されていない場合は、「ブンショガアリマセン」というメッセージが表示されます。

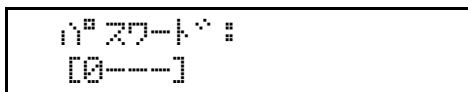
6 **【▲】【▼】キーを押して印刷する文書を選択し、【実行】キーを押します。**

<キミツインサツブンショ>
08:32 A1GROUP

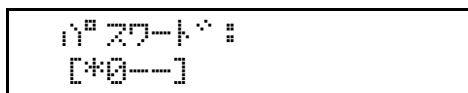
7 **「1. インサツ」が表示されていることを確認し、【実行】キーを押します。**

<センタク ブンショ>
1.インサツ

パスワードの入力画面が表示されます。

8 **手順❷で設定した4桁のパスワードを入力します。**

❶ **【▲】【▼】キーを押して1桁目の数字を入力します。**

パスワード:
[0---]

❷ **【実行】キーを押します。**

1桁目が確定して「＊」と表示され、2桁目の設定画面が表示されます。

パスワード:
[*0--]

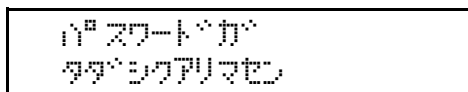
補足

- ❒ 印刷する文書を変更する場合は**【エスケープ】**キーを押します。

❸ **手順❶、❷と同様に2桁目から4桁目までを入力します。**

補足

- ❒ パスワードを入力し直す場合は**【エスケープ】**キーを押すと1桁目の入力画面に戻ります。
- ❒ 4桁目の入力後に**【実行】**キーを押すと、入力したパスワードが正しい場合は文書の印刷がはじまります。間違っている場合は、次の画面が表示された後、パスワードの入力画面に戻りますので、入力し直します。

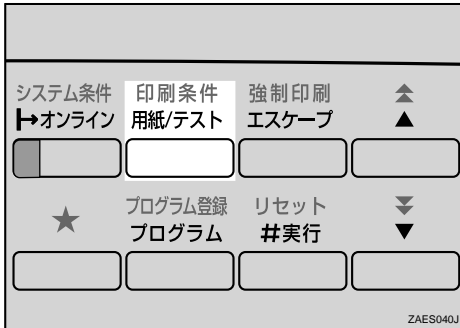
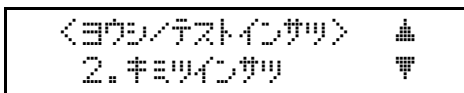
パスワードガ
タダシクアリマセン

文書が印刷され、通常の画面に戻ります。

補足

- ❒ 印刷が終了した文書のデータは消去され、リストから削除されます。
- ❒ 印刷中に印刷を中止した文書のデータは消去されます。
- ❒ 印刷開始後、交互に切り替わるエラーメッセージが表示された場合は、**【エスケープ】**キーを押して印刷を一時停止させ、エラーメッセージの内容にしたがって操作パネルで設定を変更してから印刷を再開してください。設定を変更しないで印刷を続けると、最後まで印刷することができません。エラーメッセージの内容については、P.65「パネルに表示されるメッセージ」を参照してください。

文書を削除する

本機にすでに蓄積されている機密印刷のデータを印刷せずに削除します。

1 **【用紙/テスト】キーを押します。**

【用紙/テスト】キーのメニュー画面が表示されます。

2 **【▲】【▼】キーを押して「2．キミツインサツ」を表示させ、【実行】キーを押します。**

```
<ヨウシ/テストインサツ>
 2.キミツインサツ
```

蓄積されている文書のリストが印刷指示を出した時間とユーザーIDで表示されます。

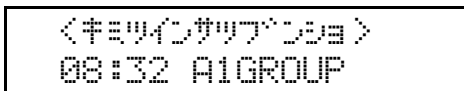
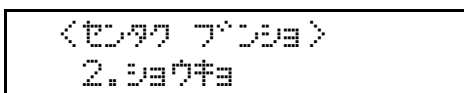
補足

❒ 機密印刷の文書が蓄積されていない場合は、「ブンショガアリマセン」というメッセージが表示されます。

3 **【▲】【▼】キーを押して削除する文書を選択し、【実行】キーを押します。**

```
<キミツインサツブンショ>
08:32 A1GROUP
```

4 **【▲】【▼】キーを押して「2．ショウキョ」を表示させ、【実行】キーを押します。**

```
<センタク ブンショ>
 2.ショウキョ
```

パスワードの入力画面が表示されます。

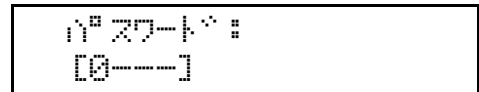
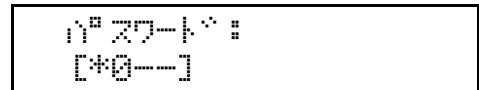
5 **プリンタードライバーで設定した４桁のパスワードを入力します。**

❶ **【▲】【▼】キーを押して１桁目の数字を入力します。**

```
パスワード:
[0---]
```

❷ **【実行】キーを押します。**

１桁目が確定して「＊」と表示され、２桁目の設定画面が表示されます。

```
パスワード:
[*0--]
```

補足

❒ 削除する文書を変更する場合は**【エスケープ】**キーを押します。

❸ **手順❶、❷と同様に２桁目から４桁目までを入力します。**

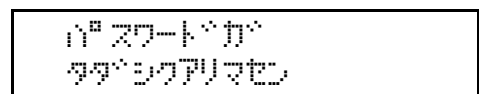
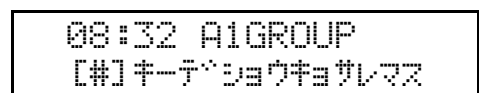
補足

❒ パスワードを入力し直す場合は**【エスケープ】**キーを押すと１桁目の入力画面に戻ります。

❒ ４桁目の入力後に**【実行】**キーを押すと、入力したパスワードが正しい場合は文書削除の確認画面が表示されます。パスワードが間違っている場合は、次の画面が表示された後、パスワードの入力画面に戻りますので、入力し直します。

```
パスワードガ
タダシクアリマセン
```

6 **【実行】キーを押します。**

```
08:32 A1GROUP
[#]キーデショウキョサレマス
```

文書が削除され、「ショウキョサレマシタ」というメッセージが表示された後、文書のリスト画面に戻ります。

補足

❒ 削除を中止する場合は、**【エスケープ】**キーを押します。

7 **【エスケープ】キーを押します。**

通常の画面に戻ります。

エラー履歴を確認する

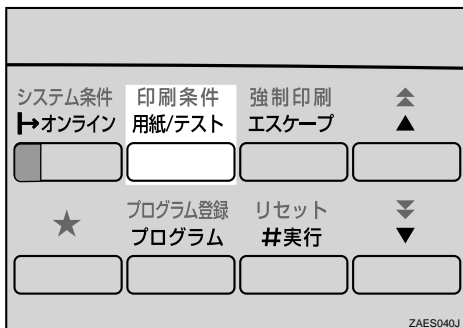
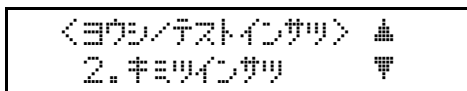
文書が拡張HDDに蓄積されなかった場合は、エラー履歴で確認することができます。エラー履歴は最新の20件が表示されます。ただし、以下の場合はそれまでの履歴は消去されます。

- プリンターの電源を切った場合
- システムをリセットした場合

1 【用紙/テスト】キーを押します。

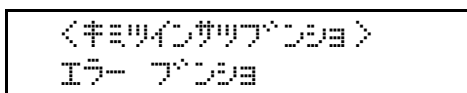
【用紙/テスト】キーのメニュー画面が表示されます。

2 【▲】【▼】キーを押して「2．キミツインサツ」を表示させ、【実行】キーを押します。

<ヨウシ/テストインサツ> ▲
2.キミツインサツ ▼

蓄積されている文書のリストが印刷指示を出した時間とユーザーIDで表示されます。

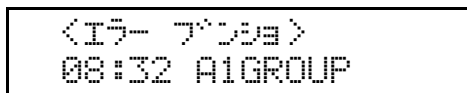
3 【▲】【▼】キーを押して「エラーブンショ」を表示させ、【実行】キーを押します。

<キミツインサツブンショ>
エラー ブンショ

補足

- ❒ エラー履歴がない場合は、「ブンショガアリマセン」というメッセージが表示され、手順**3**の画面に戻ります。

エラー履歴のリストが表示されます。

4 【▲】【▼】キーを押して履歴を確認します。

<エラー ブンショ>
08:32 A1GROUP

5 確認が終わったら、【エスケープ】キーを押します。

機密印刷の画面に戻ります。

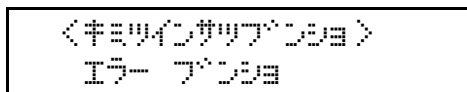
6 【エスケープ】キーを押します。

<キミツインサツブンショ>
エラー ブンショ

【用紙/テスト】キーのメニュー画面に戻ります。

7 【エスケープ】キーを押します。

通常の画面に戻ります。

4

5. こんなときには

メッセージが表示されたとき

パネルに表示されるメッセージ

ディスプレイにエラーメッセージが表示されたときは、以下の表を参考にして対処してください。

❖ エラーコードが表示されないメッセージ

<table>
<tr><th>メッセージ</th><th>原因</th><th>対処方法</th></tr>
<tr><td>Pポストカバー</td><td>４ビンプリントポストのカバーが開いています。</td><td>４ビンプリントポストのカバーを閉めてください。</td></tr>
<tr><td>YYYY XXXXヲセットシテクダサイ
↑↓（交互表示）
ジッコウキーデ トレイ#カラ インサツサレマス</td><td>指定した用紙サイズ(XXXX)および紙種(YYYY)がセットされたトレイがありません。</td><td>トレイ(#)に指定したサイズ(XXXX)および紙種(YYYY)の用紙をセットし、操作パネルで【実行】キーを押して印刷を実行してください。
印刷を中止する場合は、操作パネルの【★】+【リセット】キーを押してください。</td></tr>
<tr><td>インサツスルブンショニアッタヨウシヲセットシテクダサイ
↑↓（交互表示）
トレイ#ノカミサイズヲヘンコウXXXX</td><td>（機密印刷時）
指定したトレイ(#)の用紙サイズ(XXXX)が印刷を実行する前に操作パネルで変更されています。</td><td rowspan="3">印刷を中止し、トレイ(#)に用紙をセットし直し、設定を変更してください。
① 【エスケープ】キーを押して印刷を中止します。
② トレイ(#)に用紙をセットし直します。
③ 操作パネルでトレイ(#)の用紙サイズ、用紙の種類を設定し直します。
④ 操作パネルから印刷を実行します。
なお、上記の処理をせずに印刷を実行した場合、対象となるページでエラーメッセージが表示され、印刷が停止します。このため印刷は中止され、機密印刷文書は拡張HDDから削除されます。</td></tr>
<tr><td>インサツスルブンショニアッタヨウシヲセットシテクダサイ
↑↓（交互表示）
トレイニセットシテクダイXXXX</td><td>（機密印刷時）
印刷を実行する前に操作パネルで設定が変更されたため、用紙サイズ(XXXX)のセットされているトレイが見つかりません。</td></tr>
<tr><td>インサツスルブンショニアッタヨウシヲセットシテクダサイ
↑↓（交互表示）
トレイ#ニセットシテクダイYYYY</td><td>（機密印刷時）
指定したトレイ(#)の紙種(YYYY)が印刷を実行する前に操作パネルで変更されています。</td></tr>
<tr><td>カミヅマリ：A</td><td rowspan="2">給紙部で紙づまりや用紙の不送りが発生しました。</td><td rowspan="2">つまった用紙を取り除いてください。
⇒ P.82 「つまった用紙を取り除く」</td></tr>
<tr><td>カミヅマリ：Y</td></tr>
</table>

メッセージ	原因	対処方法
カミヅマリ：B	プリンター内部で紙づまりが発生しました。	つまった用紙を取り除いてください。 ⇒ P.82 「つまった用紙を取り除く」
カミヅマリ：C		
カミヅマリ：Z		
カミヅマリ：D	排紙部で紙づまりが発生しました。	つまった用紙を取り除いてください。 ⇒ P.82 「つまった用紙を取り除く」
カミヅマリ：E		
カミヅマリ：R		
カンコウタイコウカン	感光体ユニットの交換時期になりました。	感光体ユニットを交換してください。
カンコウタイユニットナシ	感光体ユニットが正しくセットされていません。	感光体ユニットを正しくセットしてください。また、本機専用の感光体ユニットをご使用ください。⇒ P.142 「消耗品一覧」
シフトトレイエラー	フィニッシャーのフィニッシャートレイが故障しています。	サービス実施店に連絡してください。
ジュンビチュウ	ウォームアップ中です。	そのまましばらくお待ちください。
ショウエネモード	省エネモードになっています。	そのままご使用になれます。
ステープルエラー	フィニッシャーに用紙が残っているか、ステープラーが故障しています。	用紙を取り除いてください。それでもエラーメッセージが表示されるときは、サービス実施店に連絡してください。
ステープルツイカ	フィニッシャーのステープルの針が残り少なくなりました。	ステープルの針を交換してください。 ⇒ P.90 「ステープラーの針がなくなったとき」
セッテイガヘンコウサレタタメインサツガデキマセン	（試し印刷時） 用紙サイズまたは紙種が、１部目印刷時と違います。	１部目と同じサイズおよび紙種の用紙をセットし直してから２部目以降を印刷してください。
チュウケイカバーオープン	排紙中継ユニットのカバーが開いています。	排紙中継ユニットのカバーを閉めてください。
テイチャクユニットナシ	定着ユニットがセットされていない、または正しくセットされていません。	定着ユニットを奥に突き当たるまで押し込み、正しくセットしてください。また、本機専用の定着ユニットをご使用ください。 ⇒ P.142 「消耗品一覧」
データキャンセルチュウ	データキャンセル要求に従ってデータの削除中です。	そのまましばらくお待ちください。
トナーノコリワズカ	トナーの残りが少なくなりました。	新しいトナーを用意してください。

メッセージ	原因	対処方法
トナーボトルコウカン	トナーがなくなりました。	トナーボトルを交換してください。 ⇒ P.88 「トナーボトルを交換する」
	トナーの供給が間に合わなくなりました。	電源を入れたまま、前カバーを10秒以上開けてから閉めてください。
トレイ#ニセットシテクダサイXXXX	（機密印刷時） 指定したトレイ(#)に用紙がない、または用紙サイズ(XXXX)が変更されています。	指定したトレイ(#)にセットされている用紙が印刷時の用紙サイズ(XXXX)と異なる場合は、印刷時の用紙サイズ(XXXX)をセットし、給紙トレイの用紙サイズダイヤルを合わせてください。 それでもメッセージが表示される場合は、操作パネルで**【★】**+**【リセット】**キーを押して印刷を中止してください。ただし、印刷を中止した場合、機密印刷文書は拡張HDDから削除されます。
トレイガ アリマセン	選択している給紙トレイがない、または正しくセットされていません。	給紙トレイを正しくセットしてく ださい。
トレイセットフリョウ	給紙トレイが正しくセットされていません。	給紙トレイを正しくセットし直してください。
ハイシトレイエラー	オプションの排紙トレイが故障し ています。	サービス実施店に連絡してください。
ハイシトレイフル	排紙トレイが満杯になりました。	排紙トレイの用紙を取り除いてく ださい。
	自動排紙切り替えを指定している場合、排紙先のトレイに用紙が残っています。	すべての排紙トレイの用紙を取り除いてください。
フィニッシャーエラー	フィニッシャーが故障しています。	サービス実施店に連絡してください。
フィニッシャーカバー	フィニッシャーのカバーが開いています。	フィニッシャーのカバーを閉めてください。
マエカバーオープン	前カバーが開いています。	前カバーを閉めてください。
ミギウエカバーオープン	右上カバーが開いています。	右上カバーを閉めてください。
ミギカバーオープン	右カバーが開いています。	右カバーを閉めてください。
ミギシタカバーオープン	右下カバーが開いています。	右下カバーを閉めてください。
メンテキット コウカン	メンテナンスキットの交換時期に なりました。	メンテナンスキット（転写ユニット、定着ユニット、給紙コロ、フリクションパッド）を交換してください。

メッセージ	原因	対処方法
ヨウシガ アリマセン	用紙がありません。	用紙を補給してください。 ⇒ P.26 「用紙をセットする」
	（試し印刷時） １部目印刷時の給紙トレイの用紙サイズが変更されています。	給紙トレイの用紙サイズを元に戻してください。
ヨネツモード	予熱モードになっています。	そのままご使用になれます。
リョウメンカバー	両面ユニットが開いています。	両面ユニットを閉めてください。
リョウメンカミアリ	両面ユニットに用紙が残っています。	用紙を取り除いてください。それでもエラーメッセージが表示されるときはサービス実施店に連絡してください。
リョウメンユニットエラー	両面ユニットが故障しています。	サービス実施店に連絡してください。

❖ エラーコードが表示されるメッセージ

エラーメッセージ	原因	対処方法
XXX-X：コショウデス サービスニレンラクシテクダサイ	故障しています。	プリンターの電源を切ってから、もう一度電源を入れてください。それでも同じメッセージが表示されるときはサービス実施店に連絡してください。エラーコード（左記の「XXX-X」部）も連絡してください。
EC：コショウデス サービスマンニレンラクシテクダサイ	故障しています。	プリンターの電源を切ってから、もう一度電源スイッチを入れてください。それでもメッセージが消えてくれないときは、サービス実施店に連絡してください。
84：ワークエラー	イメージ／フォームのワークまたはスタック領域がオーバーフローしました。	SDRAMモジュールを増設するか、送信データを減らしてくださ い。
85：グラフィック	印刷条件の「グラフィックス」が「RPGL」になっているが、RP-GL/2を含むマルチエミュレーションモジュールがセットされていません。	グラフィックスをRP-GLのオプショングラフィックスで印刷したいときは、RP-GL/2を含むマルチエミュレーションモジュールを正しくセットしてください。マルチエミュレーションモジュールがない場合は、印刷条件の「グラフィックス」を「簡易グラフィックス」に設定してくだ さい。
86：パラメーター	制御コードのパラメーターが不適当です。	正しいパラメーターを設定してください。
87：メモリーオーバー	印刷する用紙サイズのためのメモリー領域が足りません。	SDRAMモジュールを増設してください。
89：メモリースイッチ	印刷条件のパラメーターの設定が不適当です。	正しいパラメーターを設定してください。

エラーメッセージ	原因	対処方法
90：メディアフル	ハードディスクの空きがなくなりました。	ハードディスクに登録されている不要なフォントを削除してください。
91：メモリーオーバー	フォントを回転するためのメモリー領域が足りません。	SDRAMモジュールを増設するか、フォントアサインで回転指定をしないでください。またメモリーが壊れている可能性があります。サービス実施店に連絡してください。
92：メモリーオーバー	イメージ／フォームオーバーレイのためのメモリー領域がありませ ん。	SDRAMモジュールを増設するか、送信データを減らしてください。
93：メモリーオーバー	外字またはフォントなどを登録するメモリー領域が足りません。	SDRAMモジュールを増設するか、送信データを減らしてください。
94：ダウンロード	フォントのダウンロードデータに誤りがありました。	フォントセットダウンロードのパラメーターを修正してください。
95：フォントエラー	存在しない文字の印字要求がありました。	文字コードを正しくセットしてください。
96：セレクトエラー	存在しない文字の印字要求がありました。	文字コードを正しくセットしてください。
96：モジセットエラー	存在しない文字の印字要求がありました。*1	文字コードを正しくセットしてください。
97：アロケーション	フォントを登録する領域がありません。	SDRAMモジュールを増設してください。
98：アクセスエラー	不正なメディアにアクセスしました。	プログラム中のパラメーターを設定し直してください。
A3：オーバーフロー	受信バッファがオーバーフローしました。	プリンターの受信バッファを多く設定してください。
A7：ドローエラー	イメージ描画中にワークエリアがオーバーフローしたため描画することができません。	文字の大きさの指定をしてください。
A8：ライブラリー	ライブラリー描画中にエラーが発生しました。	プログラム中のパラメーターを設定し直してください。
B0：オプションRAM	SDRAMモジュールにエラーが発生しました。	SDRAMモジュールをセットし直してください。それでも同じメッセージが表示されるときは、サービス実施店に連絡してください。
B1：パラレル	パラレルインターフェースで異状が発生しました。	適切なインターフェースケーブルを使用してください。それでも同じメッセージが表示されるときは、サービス実施店に連絡してください。
B3：メモリースイッチ	システム条件の内容が不適切です。	システム条件を正しく設定してください。 ⇒ P.105 「システム条件を設定する」

エラーメッセージ	原因	対処方法
B5：DIMMエラー	マルチエミュレーションモジュールにエラーが発生しました。	マルチエミュレーションモジュールをセットし直してください。それでも同じメッセージが表示されるときは、サービス実施店に連絡してください。
B7：イーサーネット	イーサネットボードにエラーが発生しました。	イーサネットボードをセットし直してください。それでも同じメッセージが表示されるときは、サービス実施店に連絡してください。
B8：HDDエラー	ハードディスクエラーが発生しました。	拡張HDDをセットし直してください。それでも同じメッセージが表示されるときは、サービス実施店に連絡してください。
B9：SSCGエラー	故障しています。	プリンターの電源を切ってから、もう一度電源スイッチを入れてください。それでも同じメッセージが表示されるときは、サービス実施店に連絡してください。
BA：フォントROMエラー	故障しています。	プリンターの電源を切ってから、もう一度電源スイッチを入れてください。それでも同じメッセージが表示されるときは、サービス実施店に連絡してください。
BB：ASICエラー	故障しています。	プリンターの電源を切ってから、もう一度電源スイッチを入れてください。それでも同じメッセージが表示されるときは、サービス実施店に連絡してください。
BC：ソートエラー	ソートができない条件での印刷要求がありました。	設定内容を確認し、指定し直してください。
BD：ステープルエラー	ステープルができない条件での印刷要求がありました。	メモリー容量によっては、ソート印刷／ステープル印刷できるページ数に制限があります。詳しくはP.129「ソート印刷・ステープル印刷について」を参照してください。
BF：キミツエラー	機密印刷するために必要な拡張HDDが取り付けられていません。	オプションの拡張HDDをセットしてください。
C1：コマンドエラー	無効なコマンドが受信されました。*1	OE、INコマンドの実行、印刷条件一覧の印刷、またはリセットにより解除します。*2
C2：パラメータスウエラー	パラメータの数が不適当です。*1	OE、INコマンドの実行、印刷条件一覧の印刷、またはリセットにより解除します。*2
C3：パラメータハンイエラー	パラメータの有効範囲を超えています。*1	OE、INコマンドの実行、印刷条件一覧の印刷、またはリセットにより解除します。*2
C6：ポジションエラー	印刷位置が不適当です。*1	OE、INコマンドの実行、印刷条件一覧の印刷、またはリセットにより解除します。*2
C7：ポリゴンサイズエラー	ポリゴンバッファサイズが足りません。*1	OE、INコマンドの実行、印刷条件一覧の印刷、またはリセットにより解除します。*2
D0：オウトウエラー	応答コマンド実行中に次のコマンドの実行要求がありました。*1	ESC.Eコマンドの実行、印刷条件一覧の印刷、またはリセットにより解除します。*2

エラーメッセージ	原因	対処方法
D1：コマンドエラー	無効なデバイスコントロールコマンドが受信されました。[*1]	ESC.Eコマンドの実行、印刷条件一覧の印刷、またはリセットにより解除します。[*2]
D3：パラメータハンイエラー	デバイスコントロールコマンドのパラメータの有効範囲を超えています。[*1]	ESC.Eコマンドの実行、印刷条件一覧の印刷、またはリセットにより解除します。[*2]
D4：パラメータスウエラー	デバイスコントロールコマンドのパラメータの数が不適当です。[*1]	ESC.Eコマンドの実行、印刷条件一覧の印刷、またはリセットにより解除します。[*2]
DF：ワークメモリーエラー	シェーディング実行のための領域が不足しています。[*1]	メモリーを増設しても、このメッセージが消えない場合は、データの量を減らしてください。
E5：リョウメンエラー	両面印刷するためのメモリー領域が足りません。	SDRAMモジュールを増設してください。
	両面印刷できない条件での印刷要求がありました。	給紙トレイ、用紙サイズなどの設定を確認し、指定し直してください。

[*1] RP-GL/2**使用時のみ表示**

[*2] **表中で「*」マークが付いている対処方法は、一時的にエラーを解除するためのものです。エラーの原因は送信されたデータ側にあるので、データそのものを見直してください。**

補足

- ❒ エラーの内容は、ステータスシートや印刷条件一覧に印刷される場合があります。あわせてご確認ください。⇒ P.113 「ステータスシートを印刷する」

ネットワーク経由で確認できる情報

プリンターの状態や情報を表示したときの各項目の詳細です。

プリンターの状態

プリンターのステータスです。

次の方法で確認できます。詳しくはイーサネットボードの使用説明書を参照してください。

- UNIX：lpqコマンド、rsh、rcp、ftpのstatパラメータを使います。
- mshell：statusコマンドを使います。

エラーメッセージ	原因	対処方法
Black Toner is Empty	トナーがなくなりました。	トナーボトルを交換してください。⇒ P.88 「トナーボトルを交換する」
Bridge Unit Cover Open	排紙中継ユニットのカバーが開いています。	排紙中継ユニットのカバーを閉めてください。
Call Service	電源を切ってから、もう一度電源を入れてください。それでも同じメッセージが表示されるときはサービス実施店に連絡してください。	
Cover Right of Tray is Open	右下カバーが開いています。	右下カバーを閉めてください。
Duplex Unit : Not Set Correctly	両面ユニットが正しくセットされていません。	両面ユニットを正しくセットしてください。
Energy Save Mode	省エネモードになっています。	そのままご使用になれます。
Finisher Cover Open	フィニッシャーのカバーが開いています。	フィニッシャーのカバーを閉めてください。
Front Cover Open	前カバーが開いています。	前カバーを閉めてください。
Fusing Unit : Not Set Correctly	定着ユニットがセットされていない、または正しくセットされていません。	定着ユニットを置くに突き当たるまで押し込み、正しくセットしてください。
Low on Staples	フィニッシャーのステープルの針が残り少なくなりました。	ステープルの針を交換してください。⇒ P.90 「ステープラーの針がなくなったとき」
Low on Toner	トナーの残りが少なくなりました。	新しいトナーを用意してください。
No Paper	用紙がありません。	用紙を補給してください。 ⇒ P.26 「用紙をセットする」
Output Tray Full	排紙トレイが満杯になりました。	排紙トレイの用紙を取り除いてください。
	自動排紙切り替え指定時、排紙先のトレイに用紙が残っています。	すべての排紙トレイの用紙を取り除いてください。
Panel Off Mode	予熱モードになっています。	そのままご使用になれます。

エラーメッセージ	原因	対処方法
Paper in Duplex Unit	両面ユニットに用紙が残っています。	用紙を取り除いてください。それでもエラーメッセージが表示されるときは、サービス実施店に連絡してください。
Paper Misfeed at A	給紙部で紙づまりや用紙の不送りが発生しました。	つまった用紙を取り除いてください。⇒ P.82 「つまった用紙を取り除く」
Paper Misfeed at B	プリンターの内部で紙づまりが発生しました。	つまった用紙を取り除いてください。⇒ P.82 「つまった用紙を取り除く」
Paper Misfeed at C	プリンターの内部で紙づまりが発生しました。	つまった用紙を取り除いてください。⇒ P.82 「つまった用紙を取り除く」
Paper Misfeed at D	排紙部で紙づまりが発生しました。	つまった用紙を取り除いてください。⇒ P.82 「つまった用紙を取り除く」
Paper Misfeed at E	排紙部で紙づまりが発生しました。	つまった用紙を取り除いてください。⇒ P.82 「つまった用紙を取り除く」
Paper Misfeed at R	排紙部で紙づまりが発生しました。	つまった用紙を取り除いてください。⇒ P.82 「つまった用紙を取り除く」
Paper Misfeed at Y	給紙部で紙づまりや用紙の不送りが発生しました。	つまった用紙を取り除いてください。⇒ P.82 「つまった用紙を取り除く」
Paper Misfeed at Z	プリンターの内部で紙づまりが発生しました。	つまった用紙を取り除いてください。⇒ P.82 「つまった用紙を取り除く」
Paper Tray : Not Set Correctly	給紙トレイが正しくセットされていません。	給紙トレイを正しくセットしてください。
PCU : Not Set Correctly	感光体ユニットが正しくセットされていません。	感光体ユニットを正しくセットしてください。
Print Post Cover Open	４ビンプリントポストのカバーが開いています。	４ビンプリントポストのカバーを閉めてください。
Problem in Finisher	フィニッシャーが故障しています。	サービス実施店に連絡してください。
Problem in Finisher Tray	フィニッシャーのフィニッシャートレイが故障しています。	サービス実施店に連絡してください。
Problem in Duplex Unit	両面ユニットが故障しています。	サービス実施店に連絡してください。
Problem in Output Tray	オプションの排紙トレイが故障しています。	サービス実施店に連絡してください。

エラーメッセージ	原因	対処方法
Problem in Staple Unit	フィニッシャーに用紙が残っているか、ステープラーが故障しています。	用紙を取り除いてください。それでもエラーメッセージが表示されるときは、サービス実施店に連絡してください。
Ready	正常な状態です。	そのままご使用になれます。
Right Cover Open	右カバーが開いています。	右カバーを閉めてください。
Time to Change Maintenance Kit	メンテナンスキットの交換時期になりました。	メンテナンスキット（転写ユニット、定着ユニット、給紙コロ、フリクションパッド）を交換してください。
Time to Change PCU	感光体ユニットの交換時期になりました。	感光体ユニットを交換してください。
Upper Right Cover Open	右上カバーが開いています。	右上カバーを閉めてください。
Warming Up	ウォームアップ中です。	そのまましばらくお待ちください。

プリンター情報

プリンターの給紙トレイ、排紙トレイ、搭載しているエミュレーション、および登録しているプログラムの情報です。

以下の方法で確認できます。詳しくはイーサネットボードの使用説明書を参照してください。

- UNIX：rsh、rcp、ftpのinfoパラメータを使います。
- mshell：infoコマンドを使用します。

補足

- ❒ 現在選択されている項目には「*」が付いて表示されます。
- ❒ *1～*5の項目の詳しい内容については別表を参照してください。

項目名	意味
プリンタシステム	プリンターのバージョン
ネットワークボード	ネットワークボードのバージョン
Input Tray No. Name PageSize Status	 給紙トレイ番号 給紙トレイ名*1 用紙サイズ（給紙トレイの用紙サイズダイヤルで設定したサイズが表示されます）*2 給紙トレイの状態*3
Output Tray No. Name Status	 排紙トレイ番号 排紙トレイ名（Standardに固定）*4 排紙トレイの状態（Normalに固定）*5

項目名	意味
Emulation No. Name Version	 エミュレーション番号 エミュレーション名 エミュレーションのバージョン
Program No. Name	 プログラム番号 プログラム名

❖ 別表

給紙トレイ名*1	意味（Name）
Tray1	標準の給紙トレイ（上段）
Tray2	標準の給紙トレイ（下段）
Tray3	1000枚給紙テーブル（上段）、500枚増設トレイ、2000枚給紙テーブル
Tray4	1000枚給紙テーブル（下段）
Bypass Tray	手差しトレイ

用紙サイズ*2	意味（Page Size）
A3R	A3▭
A4	A4▯
A4R	A4▭
A5	A5▯
A5R	A5▭
B4R	B4▭
B5	B5▯
B5R	B5▭
B6R	B6▭
A6R	A6▭
PCR	ハガキ
DLR	11×17▭
HLR	5 1/2×8 1/2▭
LGR	Legal(8 1/2×14)▭
LT	Letter(8 1/2×11)▯
LTR	Letter(8 1/2×11)▭
- - -	トレイ未セット
FRE	フリー

給紙トレイの状態*3	意味（Status）
Normal	通常状態
PaperEnd	用紙なし
NoInputTray	トレイなし
Error	その他のエラー

排紙トレイ名*4	意味（Name）
Standard Tray	本体排紙トレイ
PrintPostTray1～4	プリントポスト1ビン～4ビン
Finisher Tray	フィニッシャートレイ

排紙トレイの状態*5	意味（Name）
Normal	正常・オンライン
Paperexist	用紙あり
OverFlow	用紙が満杯

UNIXからの印刷時に指定できるコマンドオプション

イーサネットボードを使ってUNIXから印刷するとき、本機では以下のコマンドオプションを指定できます。

- エミュレーションとプログラム
- 漢字フィルター
- 給紙トレイ
  給紙トレイ番号以外にアルファベットでも指定できます。
  T：手差しトレイ
- 排紙トレイ
  排紙トレイ番号以外に２文字のアルファベットでも指定できます。
  ST：本体排紙トレイ
  P1～P4：プリントポスト１ビン～４ビン
  FN：フィニッシャートレイ
- 印刷部数
- 両面
- ソート

参照

各コマンドオプションについての詳しい説明はイーサネットボードの使用説明書を参照してください。

印刷がはじまらないとき

パソコンから印刷を実行しても印刷がはじまらないときは、以下のことを確認してください。

確認すること	原因・対処方法・参照先
電源が入っていますか？	電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていることを確認した後、電源スイッチを「｜ On」側にしてください。
オンラインランプが点灯していますか？	**【オンライン】**キーを押して、オンラインランプを点灯させてください。
アラームランプが点灯していませんか？	点灯しているときは、ディスプレイのメッセージを確認して、エラーの対処をしてください。 ⇒ P.65 「メッセージが表示されたとき」
用紙はセットされていますか？	給紙トレイに用紙をセットしてください。 ⇒ P.26 「用紙をセットする」
テスト印刷できますか？	テスト印刷ができない場合は、本機が故障している可能性があります。サービス実施店に相談してください。 ⇒ P.113 「ステータスシートを印刷する」
インターフェースケーブルがきちんと接続されていますか？	インターフェースケーブルがパソコン、プリンターにしっかりと接続されていることを確認します。コネクターに金具が付いているときは、金具を使用して固定します。
インターフェースケーブルは適切なものを使用していますか？	使用するインターフェースケーブルは使用するパソコンの機種によって異なります。適切なインターフェースケーブルを使用してください。断線が考えられるときは、ほかのケーブルを接続して確認してください。 ⇒ P.144 「関連商品一覧」
印刷実行後、データインランプが点灯・点滅しますか？	印刷を実行してもデータインランプが点灯・点滅しないときは、プリンターにデータが届いていません。 • パソコンとケーブルで接続しているとき 印刷ポートの設定が適切かどうかを確認してください。印刷ポートの確認方法は次項の補足を参照してください。 • パソコンとネットワークで接続しているとき ネットワークの管理者に相談してください。

それでも印刷がはじまらないときは、サービス実施店に連絡してください。サービス実施店の所在についてはプリンターをご購入の販売店に確認してください。

補足

❒ データインランプが点灯・点滅しないときの、印刷ポートの確認方法は以下のとおりです。

❖ パソコンとケーブルで直接接続しているとき

印刷ポートの設定が適切かどうか確認してください。パラレルインターフェースで接続しているときは、LPT1またはLPT2に接続します。

- Windows 95/98の場合
  ① ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。
  ② 本機のアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。
  ③ ［詳細］タブをクリックします。
  ④ ［印刷先のポート］ボックスで正しいポートを選択します。
- Windows 2000、Windows NT4.0の場合
  ① ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。
  ② 本機のアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。
  ③ ［ポート］タブをクリックします。
  ④ ［印刷するポート］ボックスで正しいポートを選択します。
- Windows NT3.51の場合
  ① ［コントロールパネル］の［プリンタ］アイコンをダブルクリックします。
  ② 本機のアイコンをクリックして反転表示させ、［プリンタ］メニューの［プリンタ情報］をクリックします。
  ③ ［印刷先］ボックスで正しいポートを選択します。

思いどおりに印刷できないとき

パソコンから印刷を実行しても思いどおりに印刷できないときは、以下のことを確認してください。

状態	原因・対処方法・参照先
用紙の印刷面に汚れが出る	印刷濃度を薄くして印刷してみてください。印刷濃度を調整するには、操作パネルの**【用紙/テスト】**キーを押し、「ノウドチョウセイ」を選択します。 ⇒ P.98 「印刷濃度を調整する」
	用紙が反ったり、曲がったりしていませんか？ 用紙が反っている時は反りを直してから印刷してください。またきちんと用紙がセットされているか確認してください。
	給紙方向に対して幅の狭い用紙に大量の印刷をした後に幅の広い用紙に印刷すると、両端部に汚れが出ることがあります。 このようなときは、２、３枚印刷して汚れがなくなったことを確認してから印刷してください。
用紙の裏面が汚れる	セットした用紙と用紙サイズダイヤルが合っていない可能性があります。セットした用紙サイズと方向の組み合わせに用紙サイズダイヤルを合わせてください。 ⇒ P.26 「給紙トレイに用紙をセットする」
	A3のデータをA4に印刷した場合など、印刷した用紙サイズよりも大きいサイズのデータを印刷すると、次に印刷した用紙の裏面が汚れることがあります。
全体がかすれる	印刷濃度を濃くして印刷してみてください。印刷濃度を調整するには、操作パネルの**【用紙/テスト】**キーを押し、「ノウドチョウセイ」を選択します。 ⇒ P.98 「印刷濃度を調整する」
	プリンタードライバーの「トナーセーブ」を選択していると、全体的に薄く印刷されます。 ⇒プリンタードライバーのヘルプ
画像がぼやける	結露が発生すると画像がぼやける原因になります。寒い部屋から暖かい部屋に急に移動した場合など、結露が発生したときは、プリンター本体を室温に十分なじませてから印刷してください。
何度も用紙がつまる	セットした用紙と用紙サイズダイヤルが合っていない可能性があります。セットした用紙サイズと方向の組み合わせに用紙サイズダイヤルを合わせてください。 ⇒ P.26 「給紙トレイに用紙をセットする」
	給紙トレイの用紙ガイドの位置がずれていないか確認してください。
給紙トレイにつまった用紙を取り除いたが、ディスプレイのエラーメッセージが消えない	紙づまりのメッセージが表示されたときは、カバーの開け閉めを行わないとエラーメッセージが消えません。つまった用紙を取り除いたあとは、カバーの開け閉めを行ってください。 ⇒ P.82 「つまった用紙を取り除く」

5

状態	原因・対処方法・参照先
トレイの用紙が給紙されない 「カミヅマリ：Y」が頻繁に表示される	給紙トレイ内のエンドフェンスの位置が、セットした用紙サイズと合っていません。エンドフェンスは、セットした用紙の後端に軽く接するように合わせてください。 ⇒ P.26「給紙トレイに用紙をセットする」
思ったトレイとは違うトレイから給紙される	給紙トレイにセットした用紙と、給紙トレイの用紙サイズダイヤルが合っていません。セットした用紙サイズと方向の組み合わせに用紙サイズダイヤルを合わせてください。 ⇒ P.26「給紙トレイに用紙をセットする」
	Windowsから印刷するときは操作パネルで給紙トレイを選択しても、プリンタードライバーの設定が優先します。プリンタードライバーで給紙するトレイを選択してください。 ⇒プリンタードライバーのヘルプ
画面どおりに印刷されない	変倍や集約を行うと、行の最後の文字が次の行に送られるなど、画面上とレイアウトが異なることがあります。
	TrueTypeフォントをプリンターフォントに置き換える設定で印刷していませんか？ 画面と同じ文字で印刷するには、以下の設定をしてください。 • Windows 95/98、Windows 2000、Windows NT4.0の場合 ［印刷品質］タブの［設定／変更］ダイアログで［TrueTypeフォントをイメージで印刷］を選択します。 ⇒プリンタードライバーのヘルプ • Windows NT3.51の場合 ［印刷設定］ダイアログで［TrueTypeフォントをイメージで印刷する］を選択します。 ⇒プリンタードライバーのヘルプ
	Windows 95/98、Windows 2000、Windows NT4.0では、グラフィックスコマンドを使用する設定で印刷すると、表やグラフのレイアウトが変わることがあります。 ⇒プリンタードライバーのヘルプ
	色付き文字をグレーで印刷するには、［設定／変更］ダイアログの［文字を黒で印刷］のチェックを外してください。この機能はWindows 95/98、Windows 2000およびWindows NT4.0で使用できます。 ⇒プリンタードライバーのヘルプ
Windows NT3.51で縦書き設定時に、一部の記号（「’」,「”」,「＜」,「＞」,「；」,「：」）が画面表示と異なって印刷される Windows NT3.51で図形やグラフなどの下に書かれた数式、数値や文字が透けて印刷される	プリンタードライバーで「TrueTypeフォントをイメージで印刷する」に設定してください。設定方法は以下のとおりです。 ① ［標準設定］ダイアログの［高度な設定］をクリックします。 ② ［印刷設定］ダイアログの［TrueTypeフォントの代替］グループの［TrueTypeフォントをイメージで印刷する］をクリックします。 ⇒プリンタードライバーのヘルプ
意味不明の文字が印刷される	エミュレーションが正しく選択されていない可能性があります。操作パネルの**【プログラム】**キーで正しいエミュレーションを選択してください。 ⇒ P.116「DOSで印刷する」

状態	原因・対処方法・参照先
縦と横が逆に印刷される	印刷条件の［印刷方向］の設定が合っていない可能性があります。正しく設定してください。 ⇒DOSのヘルプ
R98モードで印刷したとき、正しい位置に印刷されない	印刷条件の［印刷位置］の設定が、ソフトウェアの設定と合っていない可能性があります。正しく設定してください。 ⇒DOSのヘルプ
排紙された用紙が反ったり、紙づまりが発生する	用紙の「反り」が原因で、何度もつまることがあります。このときは用紙の表と裏を反対にセットしてください。
思いどおりの位置にステープルができない	用紙サイズ・方向が設定されていないと正しくステープルができません。［オプション構成］ダイアログでプリンターにセットされている用紙サイズ・方向を正しくセットしてください。 ⇒プリンタードライバーのヘルプ
ステープルの指示をして印刷してるのにステープルされない	ステープルの針がつまっている可能性があります。針がつまっているときは取り除いてください。⇒ P.92 「ステープラーの針がつまったとき」
印刷の指示をしてから１枚目の印刷が始まるまで時間がかかる	データの量が多いため、処理に時間がかかっている場合があります。データインランプが点滅していれば、プリンターにデータは届いています。そのまましばらくお待ちください。
	試し印刷または機密印刷の場合、データの容量が多いと拡張HDDへの蓄積処理に時間がかかります。蓄積処理中にソート印刷、ステープル印刷、試し印刷または機密印刷を指示すると、印刷開始まで時間がかかります。そのまましばらくお待ちください。
	予熱モードや省エネモードになっていると、ウォームアップをするため、印刷を開始するまで時間がかかります。 ⇒ P.105 「システム条件を設定する」
画像が途中で切れたり、余分なページが印刷される	アプリケーションで設定した用紙サイズより小さい用紙に印刷していませんか？ アプリケーションで設定したサイズと同じサイズの用紙をセットしてください。同じサイズの用紙をセットできないときは、変倍の機能を使って縮小して印刷することができます。 ⇒プリンタードライバーのヘルプ
ページレイアウトがずれる	プリンターによって印刷領域が異なることがあるため、他のプリンターで印刷すると１ ページに入っていた文書が本機で印刷すると１ページに入らないなど、ページレイアウトがずれることがあります。プリンタードライバーの［その他］タブで［印刷領域を拡張する］をチェックしてください。 ⇒プリンタードライバーのヘルプ

それでも思いどおりに印刷できないときは、サービス実施店に連絡してください。サービス実施店の所在についてはプリンターをご購入の販売店に確認してください。

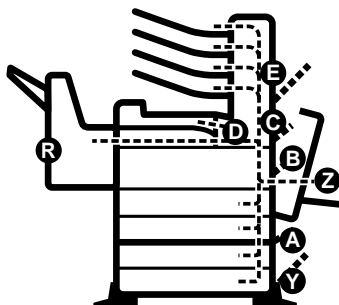
つまった用紙を取り除く

プリンターに用紙がつまったときは、ディスプレイにエラーメッセージとつまっている場所が表示されます。紙づまりの位置を確認し、用紙を取り除いてください。

⚠注意

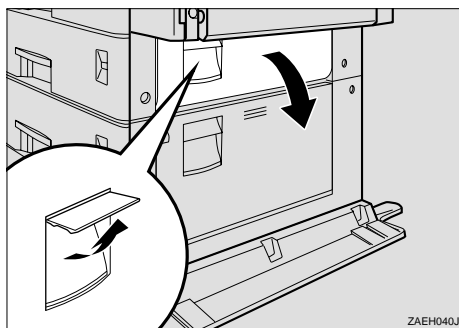
- 機械内部には高温の部分があります。紙づまりの処置の際は、本書で指定している場所以外には触れないでください。やけどの原因になります。

重要

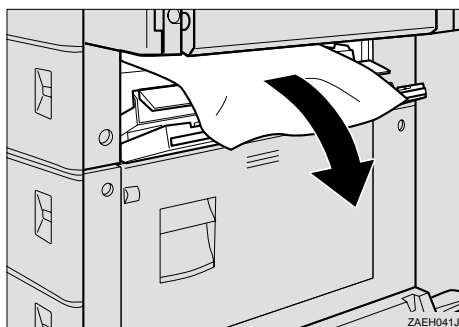
❒ ディスプレイに複数の場所が表示されているときは、表示されているすべての場所を順番に確認して用紙を取り除いてください。

❒ 何度も用紙がつまるときは、以下の原因が考えられます。

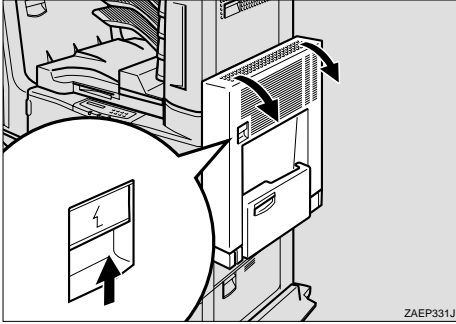
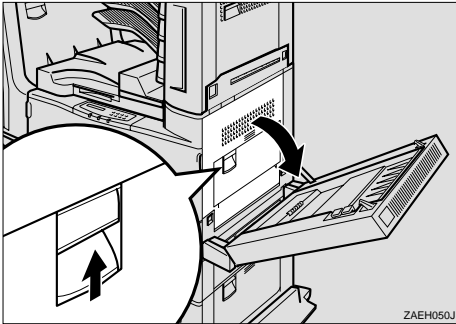
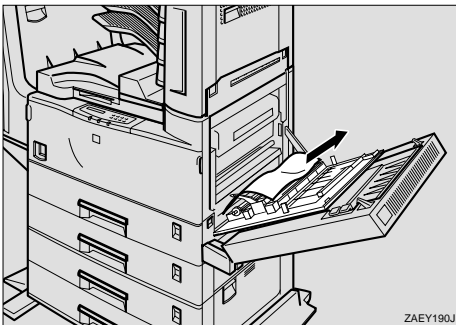
- 用紙サイズダイヤルの設定と、セットした用紙のサイズ、方向が合っていない。
- 給紙トレイの用紙ガイドの位置がずれている。
  ⇒ P.26 「給紙トレイに用紙をセットする」
  上記の内容を確認した上でも用紙がつまるときはサービス実施店に相談してください。

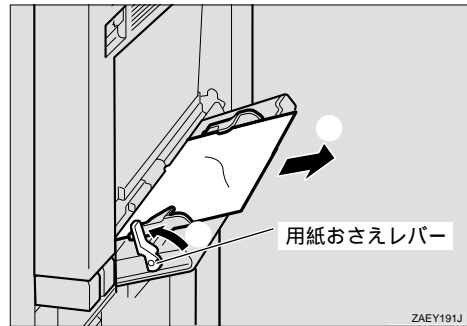
カミヅマリ：Aの場合

1 取っ手を持って、右下カバー１を開けます。

2 右下カバー１の内部につまっている用紙を取り除きます。

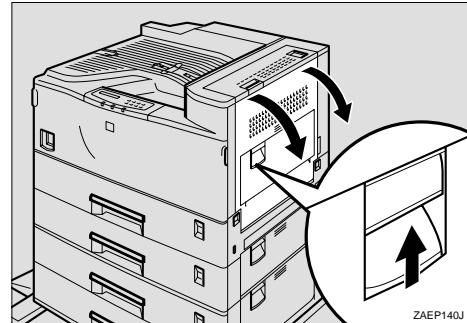
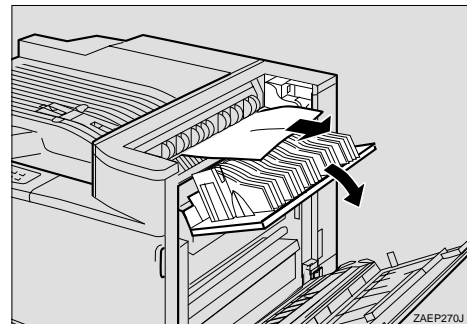
3 右下カバー１を閉めます。

5

カミヅマリ：Bの場合

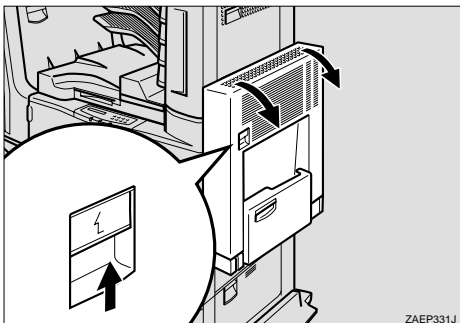
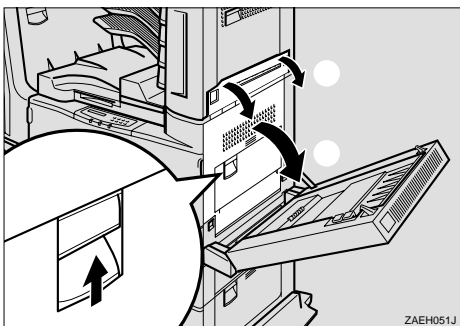
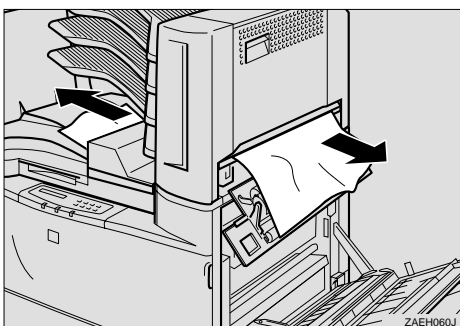
1 レバーを上げ、両面ユニットを開けます。

2 レバーを上げ、右カバーを開けます。

3 右カバーの内部につまっている用紙を取り除きます。

4 右カバー、両面ユニットの順に閉めます。

5 手差しトレイに用紙がつまっている場合は、用紙おさえレバーを上げ、つまっている用紙を取り除きます。

カミヅマリ：Cの場合

分岐ユニットを取り付けていないとき

1 レバーを上げ、右カバーを開けます。

2 取っ手を持って上カバーを開け、つまっている用紙を取り除きます。

3 上カバー、右カバーの順に閉めます。

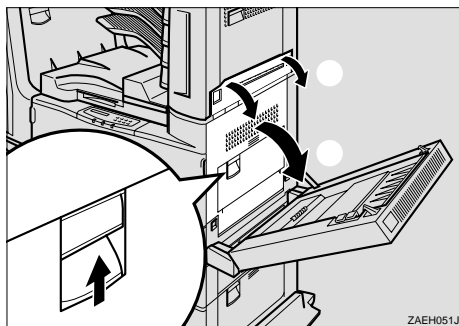
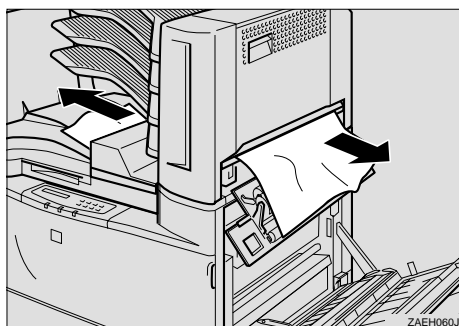
分岐ユニットを取り付けているとき

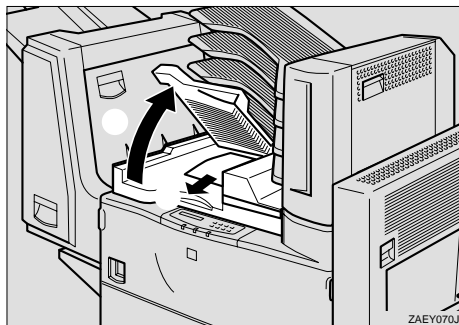
1 レバーを上げ、両面ユニットを開けます。

2 レバーを上げて右カバーを開けてから（①）、右上カバーを開けます（②）。

3 つまっている用紙を取り除きます。

4 右上カバー、右カバー、両面ユニットの順に閉めます。

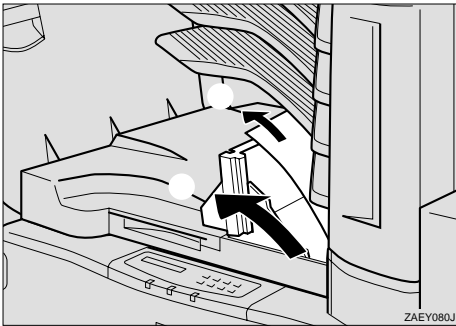
カミヅマリ：Dの場合

1 レバーを上げ、両面ユニットを開けます。

2 レバーを上げて右カバーを開けてから（①）、右上カバーを開けます（②）。

3 つまっている用紙を取り除きます。

4 手順**3**で用紙を取り除けないときは、中継ユニット上カバーを開け（①）、用紙を取り除きます（②）。

5 中継ユニット上カバーを閉めます。

6 手順**4**で用紙を取り除けないときは、中継ユニット右カバーを開け（①）、用紙を取り除きます（②）。

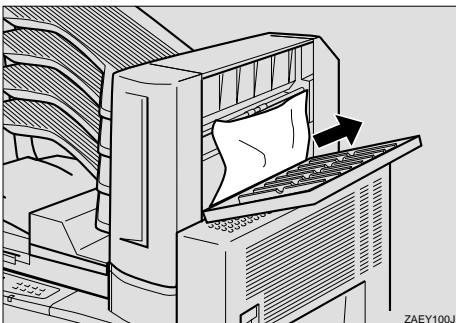
ZAEY080J

7 中継ユニット右カバー、右上カバー、右カバー、両面ユニットの順に閉めます。

カミヅマリ：Eの場合

1 取っ手を持って、プリントポストカバーを開けます。

ZAEH090J

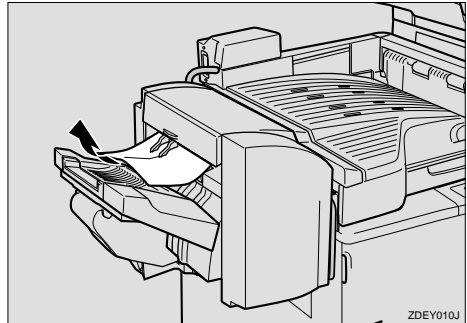
2 カバー内部につまっている用紙を取り除きます。

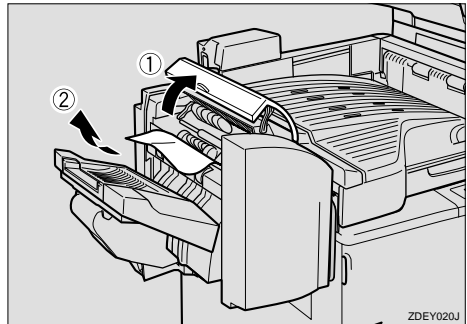
ZAEY100J

3 プリントポスト右カバーを閉めます。

カミヅマリ：Rの場合

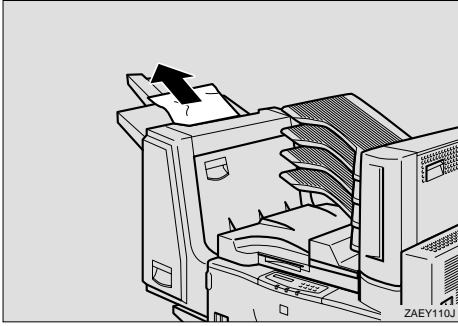
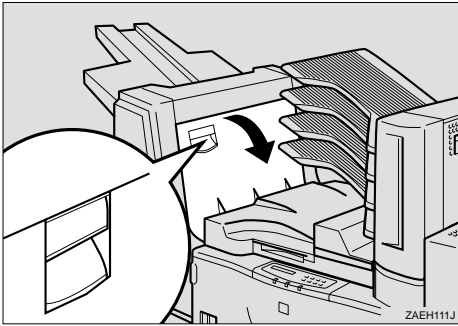
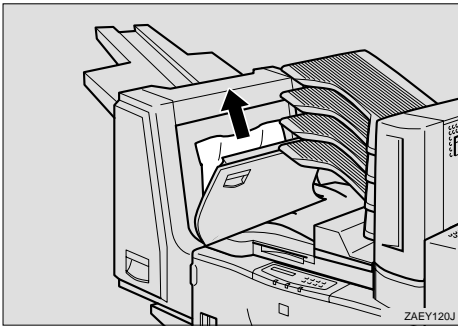
500枚フィニッシャーの場合

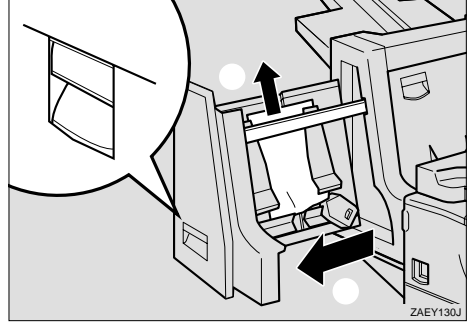
1 フィニッシャートレイの排紙口につまっている用紙を取り除きます。

ZDEY010J

2 手順**1**で用紙が取り除けないときは、フィニッシャーの上カバーを開け、つまった用紙を取り除きます。

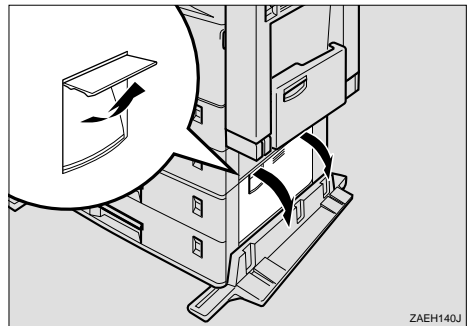
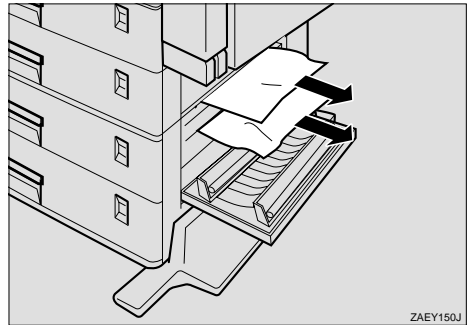
ZDEY020J

3 フィニッシャーの上カバーを閉めます。

1000枚フィニッシャーの場合

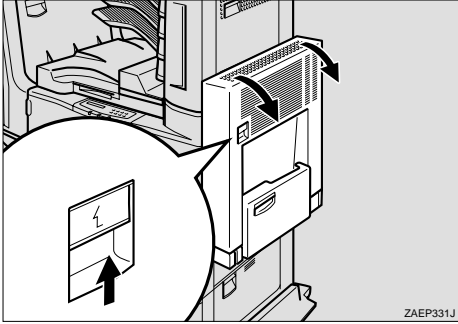
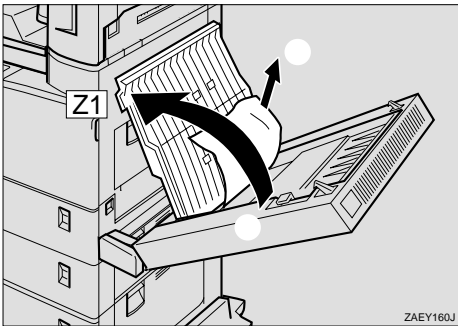
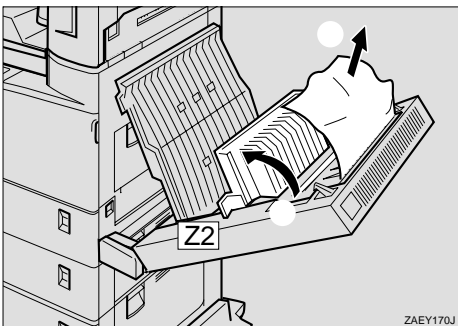
1 フィニッシャートレイの排紙口につまっている用紙を取り除きます。

2 手順1で用紙を取り除けないときは、フィニッシャー右の取っ手を持って、フィニッシャー右カバーを開けます。

3 つまった用紙を取り除きます。

4 フィニッシャーの右カバーを閉めます。

5 手順3で用紙を取り除けないときは、フィニッシャー前面の取っ手を持ってフィニッシャー前カバーを開け（①）、用紙を取り除きます（②）。

6 フィニッシャーの前カバーを閉めます。

カミヅマリ：Yの場合

1 取っ手を持って、右下カバー２を開けます。

2 カバー内部につまっている用紙を取り除きます。

3 右下カバー２を閉めます。

カミヅマリ：Zの場合

1 レバーを上げ、両面ユニットを開けます。

2 レバーを持って「Z1」カバーを上げ（①）、用紙を取り除きます（②）。

3 手順 **2** で用紙を取り除けないときは、レバーを持って「Z2」カバーを上げ（①）、用紙を取り除きます（②）。

4 「Z2」カバー、「Z1」カバーの順に閉めます。

5 両面ユニットを閉めます。

トナーボトルを交換する

⚠警告

- トナー（使用済みトナーを含む）、トナーの入った容器を火中に投入しないでください。トナー粉がはねて、やけどの原因になります。使用済みのトナーは、トナー粉が飛び散らないように袋に入れて保管してください。保管したトナーは、販売店またはサービス実施店にお渡しいただき、当社の回収・リサイクル活動にご協力ください。なお、お客様で処理される場合は、一般のプラスチック廃棄物と同様に処理してください。

⚠注意

- 機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周囲には触れないでください。やけどの原因になります。

⚠注意

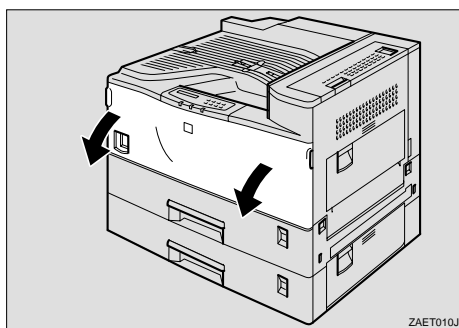
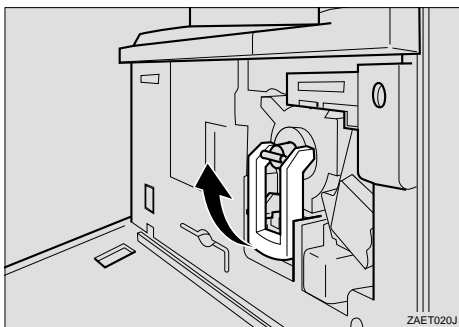
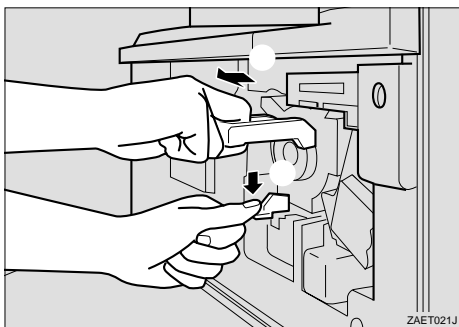
- トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器は、子供の手に触れないようにしてください。

⚠注意

- トナー等の消耗品や部品は、リコー指定の製品により安全性を評価しています。安全にご使用いただくため、リコー指定のトナー、消耗品または交換部品をご使用ください。部品の交換はサービス実施店に相談してください。

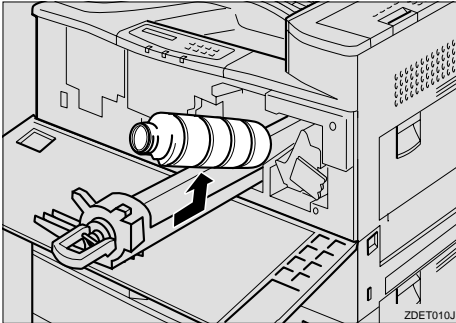
補足

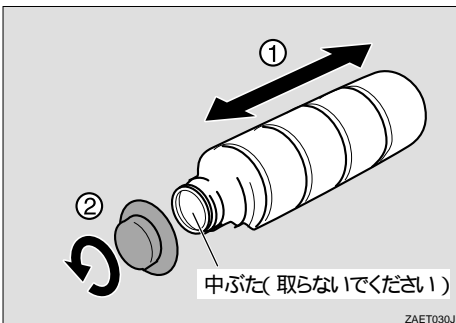
❒ トナーの印刷可能ページ数は、目安として約10,000ページです。この印刷可能ページ数はA4▯5%チャートを印刷した場合の目安で、実際の印刷可能ページ数は、印刷する用紙の種類・サイズ、印刷内容、環境条件によって異なります。トナーは使用期間によっても劣化するため、上記ページ数より早く交換が必要になる場合があります。

1 前カバーを開けます。

2 緑色のレバーを上げます。

3 緑色のストッパーを下げながら、緑色のレバーを持ってトナーホルダーを少し引き出します。

4 **ストッパーから手をはなして、トナーホルダーをゆっくりといっぱいに引き出します。**

重要

❒ トナーホルダーを引き出すときにストッパーを押し続けていると、ホルダーが落下する恐れがあります。

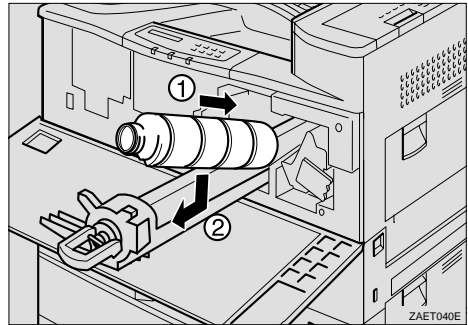
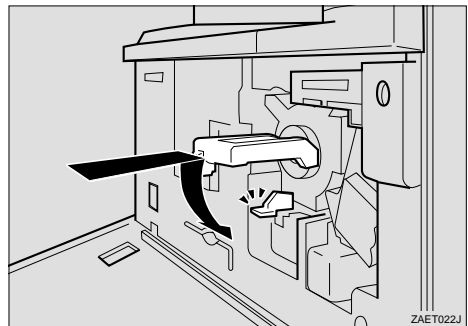
5 **トナーボトルを奥側に押してから持ち上げるように取り出します。**

6 **新しいトナーボトルを梱包箱から取り出します。**

7 **トナーボトルを前後に５～６回振ってから（①）、黒いキャップを取り外します（②）。**

重要

❒ トナーボトルの中ぶたは取り外さないでください。

補足

❒ キャップを取り外したあとは、トナーがこぼれやすくなっています。トナーを振ったり衝撃を与えないようにしてください。

8 **トナーボトルを奥側からトナーホルダーに載せ（①）、手前に倒します（②）。**

9 **カチッと音がするまで押しこみ、緑色のレバーを下ろします。**

10 **前カバーを閉めます。**

ご使用後のトナーは、販売店またはサービス実施店にお渡しいただき、当社の回収・リサイクル活動にご協力ください。なお、お客様で処理される場合は、一般のプラスチック廃棄物と同様に処理してください。

5

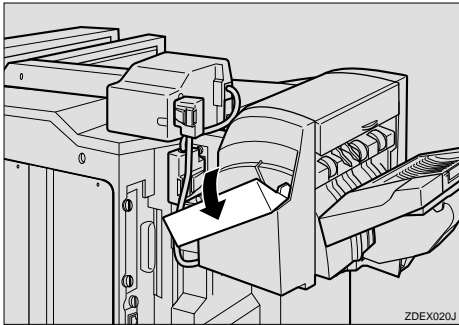
ステープラーの針がなくなったとき

補足

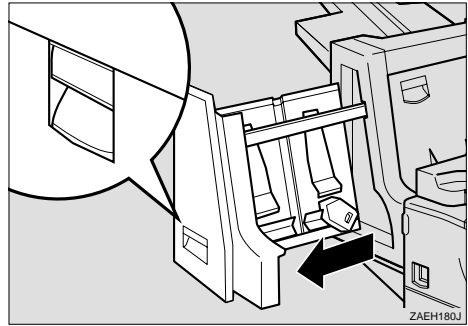
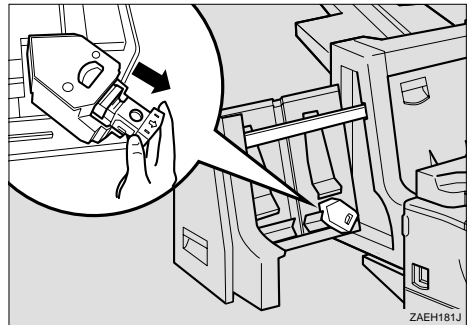
- ❒ 針を補給した後、ステープラーが針シートの位置合わせをする間はステープルされず、５〜７回ほど空打ちされます。

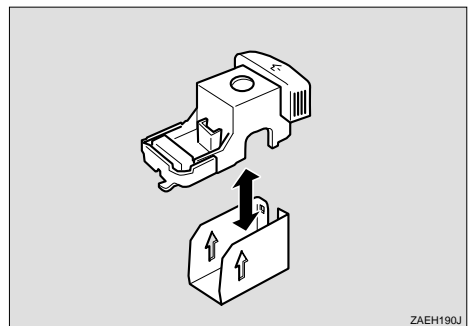
1 **空になったステープラーのカートリッジを取り外します。**

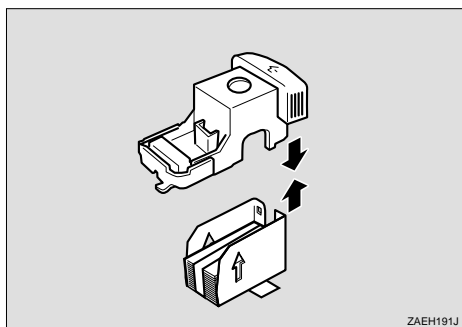
500枚フィニッシャーの場合

❶ **フィニッシャーの後カバーを開けます。**

❷ **空のカートリッジを取り外します。**

1000枚フィニッシャーの場合

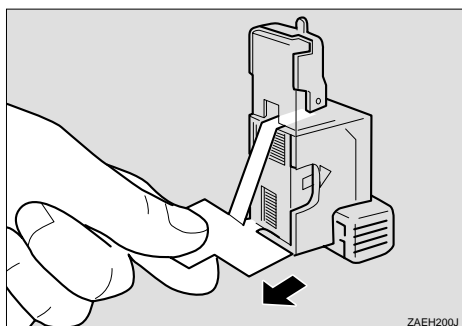
❶ **取っ手を持って、フィニッシャー前カバーを開けます。**

❷ **空のカートリッジを取り外します。**

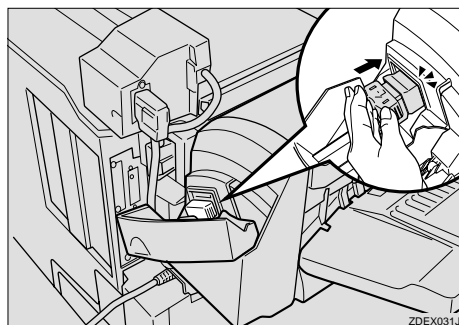
2 **空になったリフィールを矢印の方向に取り外します。**

3 カートリッジに新しいリフィールを「カチッ」と音がするまで押し込みます。

ZAEH191J

補足

❒ 針を束ねているリボンは、カートリッジにセットする前には外さないでください。

4 針を束ねているリボンを引き抜きます。

ZAEH200J

5 新しいカートリッジを取り付けます。

500枚フィニッシャーの場合

❶ カートリッジを「カチッ」と音がするまで差し込みます。

ZDEX031J

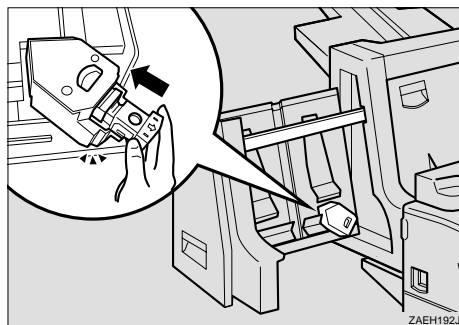
❷ フィニッシャーの後カバーを閉めます。

1000枚フィニッシャーの場合

❶ カートリッジを「カチッ」と音がするまで差し込みます。

ZAEH192J

❷ フィニッシャーの前カバーを閉めます。

5

ステープラーの針がつまったとき

ステープルの指示をしたのにステープルされない場合、針がつまっている可能性があります。

補足

- ❒ 用紙の「反り」が原因で、何度もつまることがあります。このときは用紙の表と裏を反対にセットしてください。
- ❒ 針づまりの処理後、ステープラーが針シートの位置合わせをする間はステープルされず、５〜７回ほど空打ちされます。

1 ステープラーのカートリッジを取り外します。

500枚フィニッシャーの場合

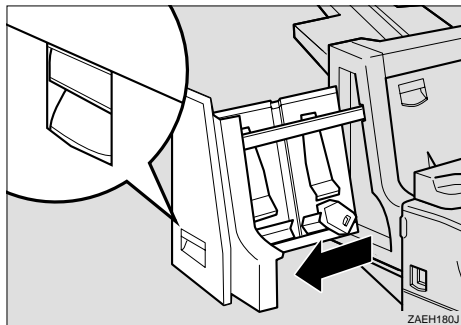
❶ フィニッシャーの後カバーを開けます。

ZDEX020J

❷ カートリッジを取り外します。

ZDEX030J

1000枚フィニッシャーの場合

❶ 取っ手を持って、フィニッシャーの前カバーを開けます。

ZAEH180J

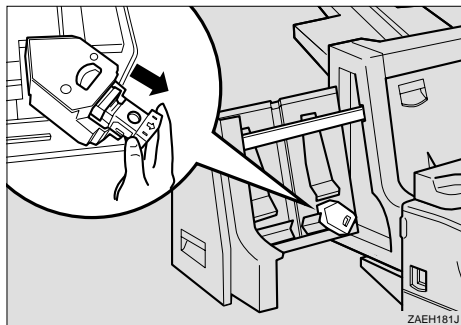
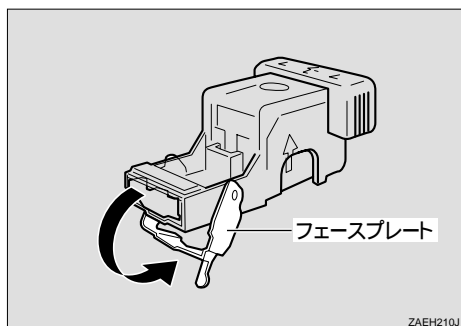
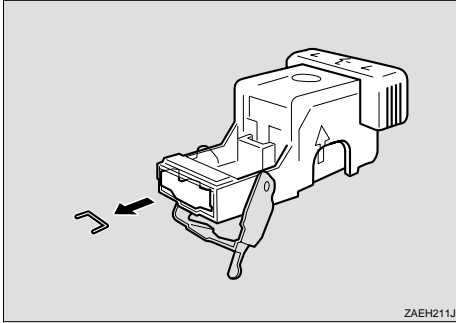
❷ カートリッジを取り外します。

ZAEH181J

2 カートリッジのフェースプレートを開きます。

ZAEH210J

3 **つまっている針を取り除きます。**

ZAEH211J

4 **カートリッジのフェースプレートを閉じます。**

5 **カートリッジを元に戻します。**

500**枚フィニッシャーの場合**

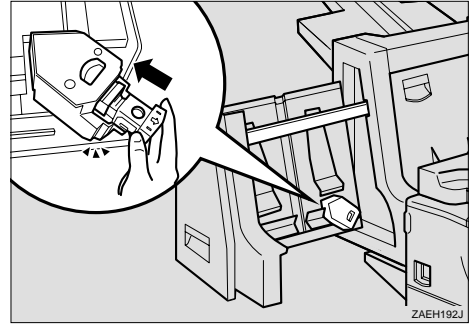
❶ **カートリッジを「カチッ」と音がするまで差し込みます。**

ZDEX031J

❷ **フィニッシャーの後カバーを閉めます。**

1000**枚フィニッシャーの場合**

❶ **カートリッジを「カチッ」と音がするまで差し込みます。**

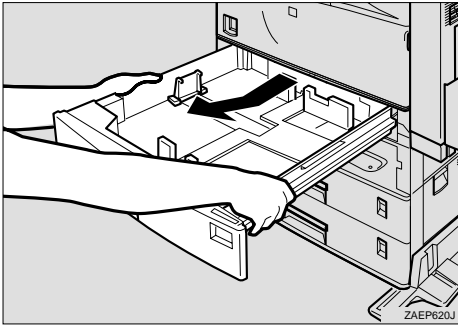
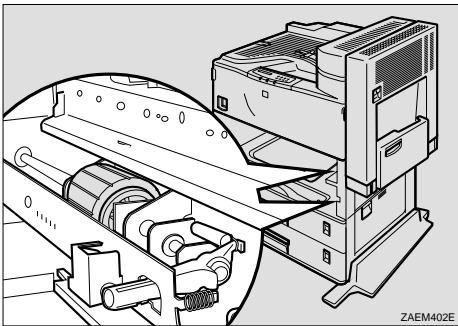
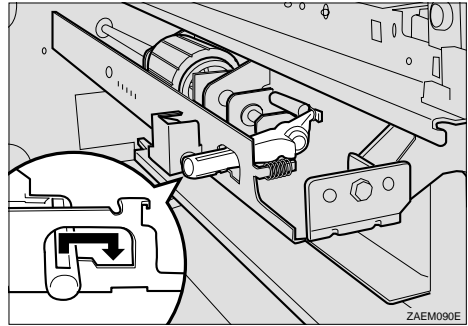
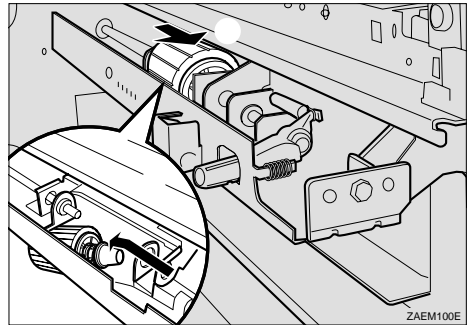
ZAEH192J

❷ **フィニッシャーの前カバーを閉めます。**

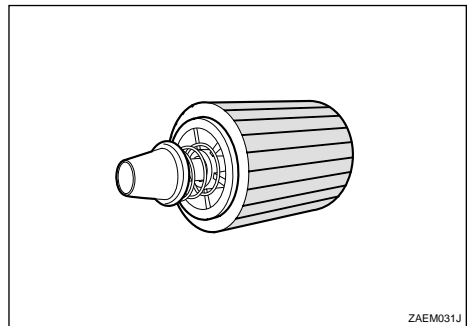
清掃・調整する

給紙コロを清掃する

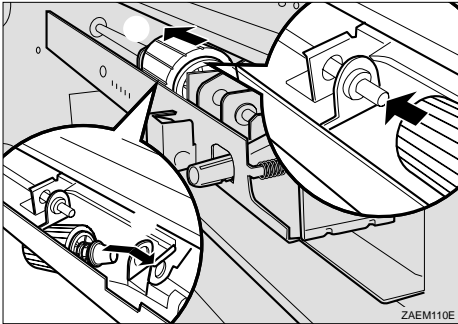
給紙コロが紙粉などで汚れていると、用紙が正しく送られなくなったり、紙づまりなどの原因になります。その場合は給紙コロを清掃します。

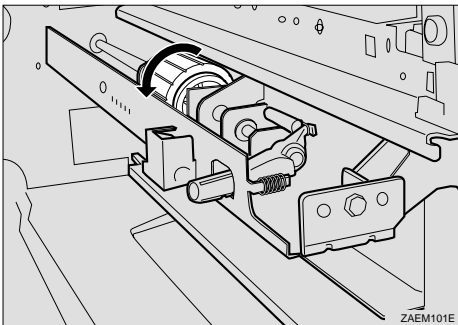
ここでは標準装備のトレイ１、トレイ２の給紙コロを清掃する例で説明します。

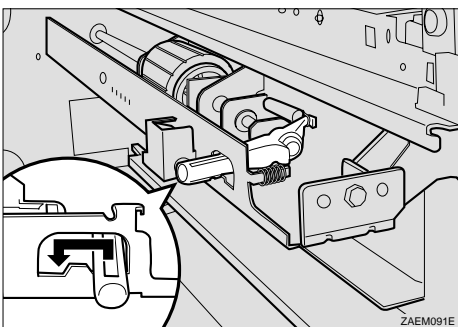
1 トレイ１、トレイ２を止まる位置まで引き出し、手前側を持ち上げてから引き抜きます。

給紙コロは図の位置に取り付けられています。

2 本体内部の右側、トレイ１の給紙コロを固定している緑色のレバーを、少し持ち上げてから手前に引きます。

3 給紙コロをいったん手前に引いてから（①）、奥側、斜め下に向け取り外します（②）。

4 給紙コロのゴムの部分を乾いた布で拭きます。

重要

- ❒ 濡れた布、アルコールや洗浄剤などは使わないでください。

5 **給紙コロのとがっている部分を穴に差し込み（①）、手前側に引きながら軸に合わせて給紙コロを差し込み、セットします（②）。**

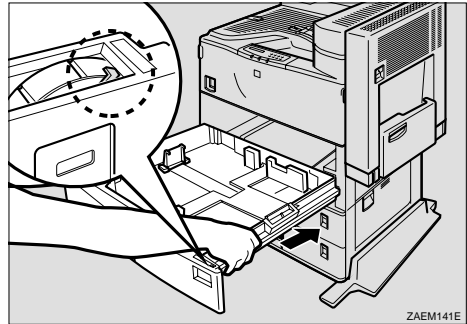
ZAEM110E

6 **取り付けた給紙コロを１回以上回し、きちんとセットされていることを確認します。**

ZAEM101E

7 **緑色のレバーを奥側の位置に戻します。**

ZAEM091E

8 **手順2～7を繰り返し、トレイ２の給紙コロも清掃します。**

9 **用紙サイズダイヤルにレバーが付いているトレイ２を両手で持ち、上から２段目の位置に差し込み、突き当たるまでゆっくりとセットします。**

トレイ２の用紙サイズダイヤルには、厚紙やOHP フィルムをセットしたときに切り替える厚紙切り替えレバーが取り付けられています。

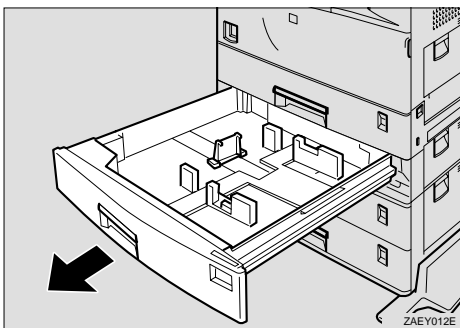
ZAEM141E

10 **トレイ１を両手で持ち、本体の奥に突き当たるまでゆっくりとセットします。**

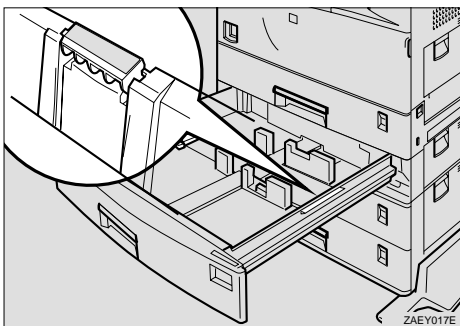
500枚増設トレイユニット／1000枚給紙テーブルを取り付けているときのトレイ３、トレイ４の給紙コロも、トレイ１、トレイ２と同じ方法で清掃します。

フリクションパッドを清掃する

フリクションパッドが汚れると、用紙が多重送りされたり、紙づまりなどの原因になります。その場合は各給紙トレイのフリクションパッドを清掃します。

ここでは標準装備のトレイ２のフリクションパッドを清掃する例で説明します。

1 トレイ２を止まる位置まで引き出します。

2 フリクションパッドの上面を乾いた布で拭きます。

重要

- ❒ 濡れた布、アルコールや洗浄剤などは使わないでください。

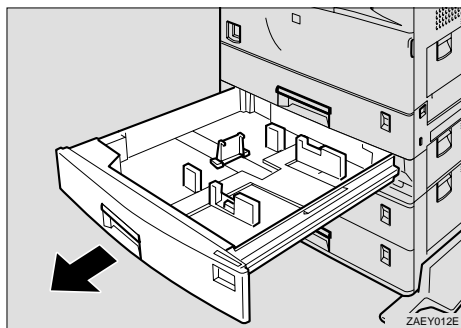
3 トレイ2を本体の奥に突き当たるまでゆっくりとセットします。

4 トレイ１、500枚増設トレイユニット／1000枚給紙テーブルを取り付けているときのトレイ３、トレイ４のフリクションパッドも、トレイ２と同じ方法で清掃します。

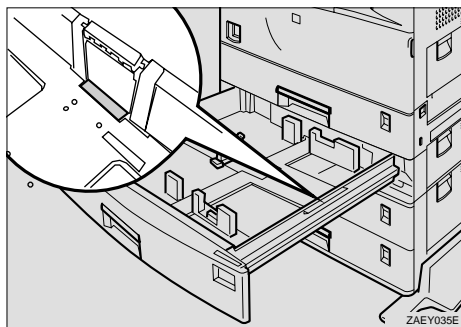
給紙トレイの底板パッドを清掃する

給紙トレイの底板パッドが汚れていると、セットされている用紙の量が少なくなったときなどに用紙の多重送りの原因になります。その場合は各給紙トレイの底板パッドを清掃します。

ここではトレイ２の底板パッドを清掃する例で説明します。

1 トレイ２を止まる位置まで引き出します。

2 用紙が入っているときは取り出します。

3 底板パッドを乾いた布で拭きます。

重要

- ❒ 濡れた布、アルコールや洗浄剤などは使わないでください。

4 用紙をセットしてから、トレイ２を本体の奥に突き当たるまでゆっくりとセットします。

5 トレイ１、500枚増設トレイユニット／1000枚給紙テーブルを取り付けているときのトレイ３、トレイ４の底板パッドも、トレイ２と同じ方法で清掃します。

5

レジストローラーを清掃する

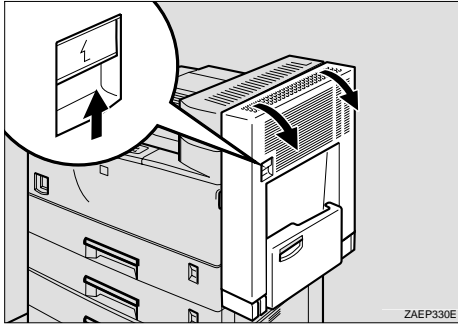
メンテナンスキットを交換したときは、同時にプリンター本体内部のレジストローラーを清掃します。

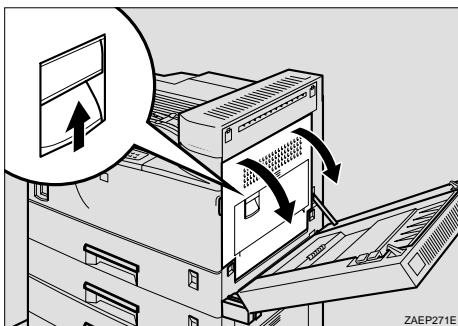
⚠注意

- 機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

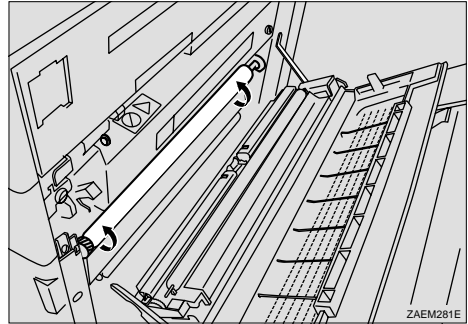
1 プリンター本体の電源を切ってから１時間以上経過していることを確認します。

2 両面ユニットを取り付けているときは、右側面のレバーを上げ、両面ユニットを開けます。

ZAEP330E

3 レバーを上げ、右カバーを開けます。

ZAEP271E

4 レジストローラーを回しながら、乾いた布で拭きます。

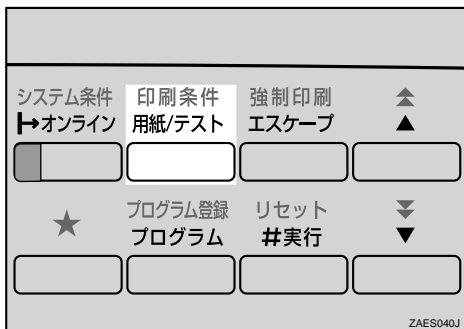
ZAEM281E

重要

- ❒ 濡れた布、アルコールや洗浄剤などは使わないでください。

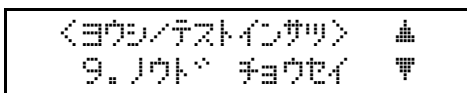
5 右カバー、両面ユニットの順に閉めます。

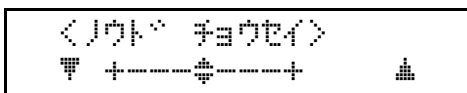
印刷濃度を調整する

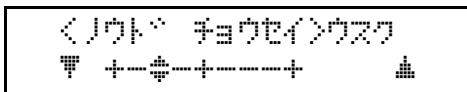
印刷面に汚れが出たときなどに印刷濃度を調整します。

1 【用紙/テスト】キーを押します。

【用紙/テスト】キーのメニュー画面が表示されます。

2 【▲】【▼】キーを押して「ノウド チョウセイ」を表示させ、【実行】キーを押します。

<ヨウシ/テストインサツ> ▲
9.ノウド チョウセイ ▼

印刷濃度の設定画面が表示されます。

<ノウド チョウセイ>
▼ +----◆----+ ▲

3 【▲】【▼】キーを押して印刷濃度を調整します。

<ノウド チョウセイ>ウスク
▼ +-◆-+----+ ▲

【▲】【▼】キーを押すと、◆の位置が移動します。中央の+印より左側に設定すると薄くなり、右側に設定すると濃くなります。

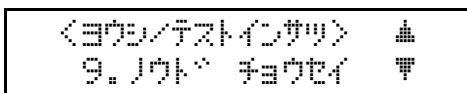
4 【実行】キーを押します。

<ヨウシ/テストインサツ> ▲
9.ノウド チョウセイ ▼

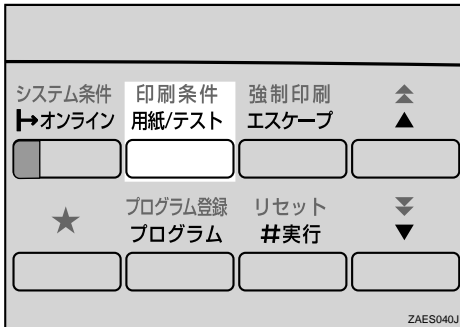
印刷濃度が設定され、**【用紙/テスト】**キーのメニュー画面が表示されます。

5 【エスケープ】キーを押します。

通常の画面が表示されます。

RPDL トレイ1
A4[ ]

レジスト調整する

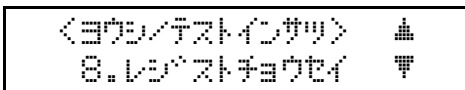
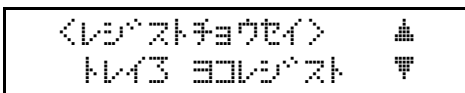
トレイごとの印刷位置を合わせることをレジスト調整といいます。トレイ１～トレイ４の縦方向は各トレイ共通で、設定できません。横方向はトレイ３、４のみ設定できます。手差しトレイと両面印刷時の印刷位置は、縦方向／横方向を個別に設定します。ここではトレイ４の横レジストを調整する例で説明します。

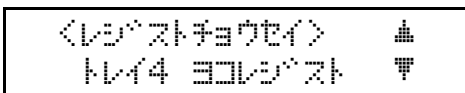
1 **【用紙/テスト】キーを押します。**

【用紙/テスト】キーのメニュー画面が表示されます。

2 **【▲】【▼】キーを押して、「レジストチョウセイ」を表示させ、【実行】キーを押します。**

```
<ﾖｳｼ/ﾃｽﾄｲﾝｻﾂ>
 8.ﾚｼﾞｽﾄﾁｮｳｾｲ
```

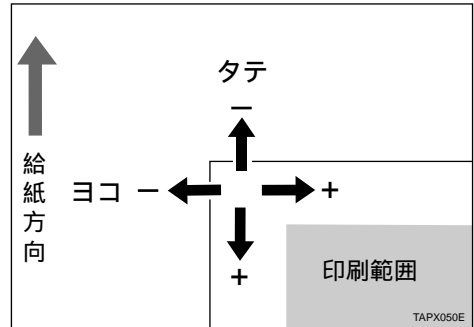
レジスト調整の設定画面が表示されます。

```
<ﾚｼﾞｽﾄﾁｮｳｾｲ>
 ﾄﾚｲ3 ﾖｺﾚｼﾞｽﾄ
```

3 **【▲】【▼】キーを押して、調整したいトレイと方向の組み合わせを表示させ、【実行】キーを押します。**

```
<ﾚｼﾞｽﾄﾁｮｳｾｲ>
 ﾄﾚｲ4 ﾖｺﾚｼﾞｽﾄ
```

4 **【▲】【▼】キーを押して、数値（単位mm）を現在の設定から変更して、【実行】キーを押します。**

```
<ﾄﾚｲ4 ﾖｺﾚｼﾞｽﾄ>
         -0.3
```

補足

- ❒ 9.0mm～-9.0mmの範囲で指定できます。
- ❒ 数値を大きくすると、印刷範囲を＋方向にずらして印刷します。
- ❒ 数値を小さくすると、印刷範囲を－方向にずらして印刷します。

- ❒ **【★】**キーを押しながら**【▲】【▼】**キーを押すと、1.0mm単位で設定できます。

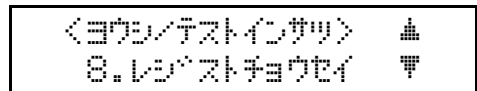
5 **【エスケープ】キーを押します。**

【用紙/テスト】キーのメニュー画面が表示されます。

```
<ﾖｳｼ/ﾃｽﾄｲﾝｻﾂ>
 8.ﾚｼﾞｽﾄﾁｮｳｾｲ
```

6 **【エスケープ】キーを押します。**

通常の画面が表示されます。

```
RPDL         ﾄﾚｲ1
             A4[]
```

Q＆A

プリンタードライバーについて

❖ CD-ROMドライブがないのでドライバーをインストールできないのですが？

FD版のプリンタードライバーをファクスで注文することができます。

リコー情報BOXから「申し込み用紙」と「プリンタードライバー一覧表」を入手します。

① ファクスの受話器を取り、リコー FAX情報BOX（03-5411-3711）へダイヤルします。
引き続きガイダンスに従って、以下の操作を行います。

② 注文取り出しBOX番号「350000」と **【#】** を押します。

③ **【#】** を押します。

④ 発信音がしたら、**【スタート】** キーまたは **【受信】** キーを押して受話器を置きます。
しばらくすると、「申し込み用紙」と「プリンタードライバー一覧表」が出力されます。

⑤ 必要事項を記入して、申し込み用紙の宛先（045-865-2508）にファクスします。
「申し込み用紙」はフロッピーディスクがお手元に届くまで大切に保管してください。

5

❖ 最新のプリンタードライバーが欲しいのですが？

最新のプリンタードライバーはインターネットのリコーホームページ、パソコン通信@niftyのリコーファンフォーラムからダウンロードすることができます。

- インターネット/リコーホームページ
  http://www.ricoh.co.jp/
- @nifty/リコーファンフォーラム
  ＞GO FRICOH↵

❖ インストールしたプリンタードライバーを削除したいのですが？

プリンタードライバーのヘルプを参照してください

オプションについて

❖ オプションを取り付けたので、正しく取り付けられているか確認したいのですが？

オプションが正しく取り付けられたかどうかは、ステータスシート印刷して確認します。詳細は＜セットアップガイド＞「2.オプションを取り付ける」の各オプションの取り付け手順を参照してください。

⇒＜セットアップガイド＞

❖ Windows 95/98、Windows 2000、Windows NT4.0で、接続したオプション装置がプリンタードライバーで指定できないのですが？

プリンターとパソコンが双方向通信していない場合、接続したオプション装置を自動的に認識できません。

- Windows 95/98の場合
  プリンターのプロパティ画面の［基本］タブで［オプション構成］ボタンをクリックしたときに、［オプション構成］ダイアログが表示されるときは、双方向通信が働いていません。プリンタードライバーのヘルプを参照してオプションを正しく設定してください。
  また、双方向通信が働いていても、オプション装置の構成を変更した場合は、プリンターのプロパティ画面の［基本］タブの［オプション構成］ボタンをクリックして、接続されているオプションをプリンタードライバーに認識させる必要があります。

- Windows 2000の場合
  プリンターのプロパティ画面に［オプション構成］タブが表示されているときは、双方向通信が働いていません。プリンタードライバーのヘルプを参照してオプションを正しく設定してください。
  また、双方向通信が働いていても、オプション装置の構成を変更した場合は、プリンターの［印刷設定］画面の［基本］タブの［オプション構成］ボタンをクリックして、接続されているオプションをプリンタードライバーに認識させる必要があります。
- Windows NT4.0の場合
  プリンターのプロパティ画面に［オプション構成］タブが表示されているときは、双方向通信が働いていません。プリンタードライバーのヘルプを参照してオプションを正しく設定してください。
  また、双方向通信が働いていても、オプション装置の構成を変更した場合は、ドキュメントの既定値画面の［基本］タブの［オプション構成］ボタンをクリックして、接続されているオプションをプリンタードライバーに認識させる必要があります。

参照

双方向通信の詳細については、＜セットアップガイド＞「双方向通信が働く条件」を参照してください。

❖ 増設可能なメモリー容量を教えてください。

メモリーは標準で16Mバイト装備されています。128MバイトのSDRAMモジュールを増設すると最大144Mバイトまで拡張できます。オプションのSDRAMモジュールには、32、64、128Mバイトの３種類があります。

⇒ P.144 「関連商品一覧」

❖ ネットワークプリンターとして使用するときに、Windows 95/98から印刷したいのですが？

サーバーがある場合は、サーバーを経由して印刷できます。ない場合はPortNaviまたはMulti Direct Printを使用すれば印刷できます。

❖ CADソフトのデータを印刷したいのですが？

CADソフトのデータを印刷する場合、通常はマルチエミュレーションモジュール（オプション）に含まれるRP-GL/2が必要です。ただし、ご使用のCADソフトによっては、標準状態でご使用になれる場合があります。ご使用のCADソフトおよびプリンタードライバーをご確認ください。

⇒ P.144 「関連商品一覧」

❖ Macintoshと接続したいのですが？

Macintoshから印刷する場合、マルチエミュレーションモジュール（オプション）が必要です。この場合、マルチエミュレーションモジュールに同梱されているR-PS2用のPPDファイルを使用してポストスクリプト出力してください。

⇒ P.144 「関連商品一覧」

接続について

❖ **インターフェースケーブルは何を使えばいいでしょうか？**
ご使用のパソコンや目的に合わせて、適合するインターフェースケーブルを使用してください。
⇒ P.144 「関連商品一覧」

❖ **ネットワークプリンターとして使った場合、WindowsとMacintoshの両方から印刷できますか？**
できます。オプションのマルチエミュレーションモジュールでのご使用をお勧めします。この場合、Macintoshからの印刷は、EtherTalk環境からのポストスクリプト出力が可能になります。
⇒ P.144 「関連商品一覧」

用紙・トレイについて

❖ **給紙トレイには同時に何枚まで用紙をセットできますか？**
普通紙の場合、標準の給紙トレイに1,000枚（500枚×2段）セットできます、オプションの給紙トレイには次の３種類があり、どれか１つを取り付けることができます。

- 500枚増設トレイ：500枚
- 1000枚給紙テーブル：1,000枚
- 2000枚給紙テーブル：2,000枚

さらにオプションの手差しトレイ（100枚）を取り付けると、最大3,100枚までセットできます。

❖ **２種類以上の違うサイズの用紙を同時にセットしておきたいのですが？**
各段の給紙トレイに違うサイズの用紙をセットしておくことができます。また1000枚給紙テーブルと手差しトレイ（オプション）を取り付けることによって、同時に５種類の用紙をセットしておくこともできます。

❖ **印刷保証範囲を教えてください。**
印刷保証範囲は用紙の各端より5mm内側の範囲です。

エミュレーションについて

❖ **プリンターが起動したときに、常に同じエミュレーションで立ち上がるように設定したいのですが？**
システム条件の「起動プログラム」を設定することによって可能です。
⇒ P.105 「システム条件を設定する」

❖ **WindowsとDOSの両方の環境から印刷できますか？**
できます。WindowsとDOSの両方の環境から印刷する場合、プリンタードライバーの［印刷後のエミュレーション設定］をDOSのエミュレーションにしておくことをお勧めします。

❖ **PC-PR201H系プリンターとして使いたいのですが？**
エミュレーションを「R98」に切り替えます。
⇒ P.116 「DOSで印刷する」

❖ **ESC/Pモードで印刷したいのですが？**
エミュレーションを「R16」に切り替えます。
⇒ P.116 「DOSで印刷する」

印刷の取り消し・中止について

❖ 印刷が始まった文書を取り消したいのですが？

【★】キーを押しながら**【リセット】**キーを押すことで、印刷中の文書でも中止することができます。ただし、印刷がはじまっていない場合でもすべての印刷データがプリンターに送信済みのときは、中止できないことがあります。

⇒ P.19 「キーのはたらき」

❖ Windowsで、同じ文書を間違って何度も印刷指示してしまいました。取り消すことはできますか？

Windowsから印刷中止の指示をします。

⇒＜セットアップガイド＞「プリンタープロパティの表示と印刷の中止」

その他

❖ １部ずつページ順にそろえて印刷したいのですが？

本機では、１部ずつページ順にそろえる「ソート」が利用できます。さらにフィニッシャーを取り付けることによって、ずらしながらそろえる「シフトソート」や１部ずつ用紙の向きを交互にそろえる「回転ソート」を利用することができます。

⇒プリンタードライバーのヘルプ、P.130 「ソート印刷」

❖ ステープルを使用して印刷したいのですが？

本機にオプションのフィニッシャーを取り付けることによって、印刷された用紙をステープラーでとじることができます。

⇒プリンタードライバーのヘルプ、P.133 「ステープル印刷」

❖ １枚の用紙に複数のページをまとめて印刷したいのですが？

２ページや４ページの原稿を１枚の用紙にまとめて印刷できます。

⇒プリンタードライバーのヘルプ

❖ 拡大や縮小して印刷したいのですが？

用紙に合わせて拡大・縮小することができます。Windows 95/98、Windows 2000およびWindows NT4.0では1%きざみに変倍率を設定することができます。

⇒プリンタードライバーのヘルプ

❖ 操作パネルのキーを続けて押すと、ディスプレイの表示が変わらないのですが？

キーを押してからディスプレイの表示が変わるまで若干の時間がかかります。ディスプレイのメッセージが変わるのを確認してから次のキーを押してください。

❖ 今までに何枚印刷したか知りたいのですが？

「ステータスシート」を印刷して「トータルカウンター」の欄を確認してください。「ステータスシート」の印刷方法はP.113 「ステータスシートを印刷する」を参照してください。

❖ DOSで使用時、フォントを変えて印刷したいのですが？

印刷条件の「ANKフォント」「漢字フォント」の設定を変更します。印刷条件の設定方法はP.116 「DOSで印刷する」を参照してください。

システム条件を設定する

システム条件は、プリンターを使用する上での基本的な動作にかかわる設定です。通常は工場出荷時の設定のままでご使用いただけます。変更したシステム条件の設定は、プリンターの電源を切っても保存されます。

❖ **システム条件の設定方法**
システム条件を設定する手順を説明します。システム条件で設定できる項目と設定値については、システム条件一覧表を参照してください。

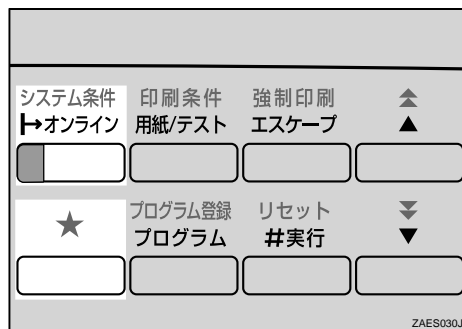
❖ **システム条件一覧表**
設定できるシステム条件を一覧表で示します。

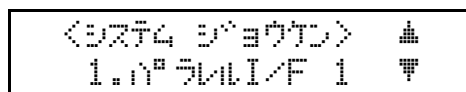
❖ **システム条件の設定項目**
システム条件のそれぞれの項目について説明します。一覧表の設定項目で内容がわからなかったときに参照してください。

システム条件と印刷条件の関係

Windows で印刷する場合、印刷条件はプリンタードライバーで設定するため、プリンター側で設定する必要がありません。DOSで印刷する場合、エミュレーションごとにプリンター側で印刷条件を設定する必要があります。システム条件と印刷条件に同じ項目がある場合、印刷条件が優先されます。ただし、印刷条件で「システムデフォルト」に設定されている設定項目は、システム条件の設定値となります。印刷条件の設定方法は、P.116「DOSで印刷する」を参照してください。

システム条件の設定方法

1 **【★】キーを押しながら【システム条件】キーを押します。**

システム条件のメニュー画面が表示されます。

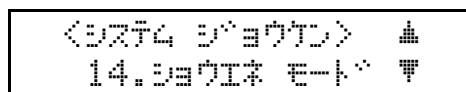
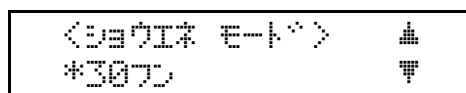
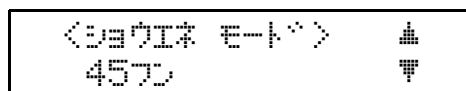
```
<ｼｽﾃﾑ ｼﾞｮｳｹﾝ>   ▲
 1.ﾊﾟﾗﾚﾙI/F 1   ▼
```

2 **【▲】【▼】キーを押して、設定する項目を表示させ、【実行】キーを押します。**

```
<ｼｽﾃﾑ ｼﾞｮｳｹﾝ>   ▲
 14.ｼｮｳｴﾈ ﾓｰﾄﾞ  ▼
```

設定した項目の設定値が表示されます。「＊」は現在の設定値を示します。

```
<ｼｮｳｴﾈ ﾓｰﾄﾞ>    ▲
*30ﾌﾝ           ▼
```

3 **【▲】【▼】キーを押して、選択したい設定値を表示させ、【実行】キーを押します。**

```
<ｼｮｳｴﾈ ﾓｰﾄﾞ>    ▲
 45ﾌﾝ           ▼
```

補足

❒ 設定を中止するときは、**【エスケープ】**キーを押します。1つ前の画面に戻ります。

4 手順2から3を繰り返して、必要な項目を設定します。

5 【エスケープ】キーを押します。

次の画面が一瞬表示されたあと、通常の画面が表示されます。

```
リセットゴ
セッテイガ ハンエイサレマス
```

```
RPDL          トレイ1
              A4[ ]
```

6 【オンライン】キーを押します。

オンラインランプが消えて、プリンターがオフライン状態になります。

7 【★】キーを押しながら【リセット】キーを押します。

電源を入れ直した状態になり、設定した項目が有効になります。

重要

- プリンターをリセットすると、拡張HDDに蓄積されている試し印刷および機密印刷の文書は消去されます。

補足

- 設定したシステム条件の内容を確認したいときは、「ステータスシート」を印刷してください。⇒ P.113「ステータスシートを印刷する」

システム条件一覧表

（網掛け）は初期値です。

項目	設定値			
パラレルI/F 1	ACK inside	ACK outside	STB down	
I/F切り替え時間	1秒	5秒	15秒	30秒
	1分	2分	5分	
給紙トレイ	トレイ1（標準）	トレイ2（標準）	トレイ3（オプション）	トレイ4（オプション）
	手差しトレイ（オプション）			
排紙トレイ	メイントレイ（標準）	ビン1〜4（オプション）	フィニッシャー（オプション）	自動切替排紙（オプション）
白紙排紙モード	しない	スペース	する	
自動排紙時間	なし	10秒	15秒	20秒
	25秒	60秒		
セレクト状態	HIGH	LOW		
受信バッファ	16Kバイト	32Kバイト	64Kバイト	128Kバイト
	256Kバイト	512Kバイト		
インプットプライム	有効	無効		
省エネモード	15分	30分	45分	60分
	5分	なし		
予熱モード	1分	3分	5分	10分
	なし			
優先メモリー	ページメモリー	ユーザーメモリー		
紙なしエラー	印刷時	常時		
フレームモード	リアルマクロなし	リアルマクロ 2.1MB	リアルマクロ 4.2MB	リアルマクロ 8.6MB
	ソートマクロなし *1	ソートマクロ 2.1MB *1	ソートマクロ 4.2MB *1	リアルマクロ 8.6MB *1
エミュレーション検知	しない	する		
パラレル通信	高速	標準		
双方向通信	リコーモード	一般モード		
ジョブ仕分け	しない	する		
起動プログラム	RPDL	R98	R16	オプション＃1
	オプション＃2	オプション＃3	オプション＃4	プログラム1〜16

6

項目	設定値			
IPアドレス	数値を入力する			
サブネットマスク	数値を入力する			
デフォルトゲートウェイアドレス	数値を入力する			
アクセスコントロールアドレス	数値を入力する			
アクセスコントロールマスク	数値を入力する			
ネットワークブート	ARP	ARP、RARP	BOOTP、ARP	ARP、RARP、BOOTP
	NONE	RARP	BOOTP	RARP、BOOTP
	DHCP			
フレームタイプ（NetWare）	ETHERNET802.3	ETHERNET802.2	ETHERNET II	ETHERNETSNAP
	自動選択			
有効プロトコル	NO ACTIVE	TCP	NW	TCP、NW
	ATK	TCP、ATK	NW、ATK	TCP、NW、ATK
	NB	TCP、NB	NW、NB	TCP、NW、NB
	ATK、NB	TCP、ATK、NB	NW、ATK、NB	ALL ACTIVE
イーサネット速度	自動設定	100Mbps固定	10Mbps固定	

*1 **オプションの拡張HDDを取り付けたときは表示されません。**

補足

- ❒ 「ネットワークブート」、「有効プロトコル」の各項目は、省略した形で記載してあります。それぞれ以下のように対応します。
  - ARP⇒ARP+PING、RARP⇒RARP+TFTP
    TCP⇒TCP/IP、NW⇒NetWare、NB⇒NetBEUI、ATK⇒AppleTalk
- ❒ オプションのマルチエミュレーションモジュールをセットすると、上記以外にも設定項目が追加されます。内容についてはマルチエミュレーションモジュールの使用説明書内の＜RP-GL/2編＞を参照してください。

システム条件の設定項目

ここではシステム条件の設定項目について説明します。　　　　は初期値です。

❖ パラレルI/F 1

パラレルインターフェースのタイミングを設定します。
DOSで印刷する場合にエミュレーションごとに設定する印刷条件にも同じ項目があり、印刷条件の設定が優先されます。
ここでの設定は、印刷条件の設定で「パラレルI/F 1」が「システムデフォルト」に設定されている場合のみ有効です。通常は変更する必要はありません。

ACK inside	ACK outside	STB down

❖ I/F切り替え時間

現在のインターフェースからデータが送信されてこなくなってから、そのインターフェースを有効にしておく時間を設定します。ここで設定した時間を超えるとほかのインターフェースからのデータの受信が可能になります。
設定時間が短すぎると１つのデータを受信中にタイムアウトになってしまうことがあります。その結果、ほかのインターフェースからのデータが割り込んで印刷されたり、データの途中からエミュレーション検知が働いて、違うエミュレーションに切り替わったり、印刷を中止したデータが途中から印刷されたりします。

1秒	5秒	15秒	30秒	1分	2分	5分

6

❖ 給紙トレイ

電源を入れたときに選択される給紙トレイを設定します。

トレイ1（標準）	トレイ2（標準）	トレイ3 （オプション）	トレイ4 （オプション）	手差しトレイ （オプション）

❖ 排紙トレイ

電源を入れたときに選択される排紙トレイを設定します。

メイントレイ（標準）	ビン1〜4 （オプション）	フィニッシャー （オプション）	自動切替排紙 （オプション）

「自動切替排紙」は、オプションの４ビンプリントポスト装着時に表示されます。「自動切替排紙」を選択し、プリンタードライバーで排紙先を「システムデフォルト」に設定すると、排紙トレイが満杯になった場合、自動的に排紙先を次の排紙トレイに切り替えて印刷を続けることができます。
排紙先の切り替え順は以下のとおりです。

- フィニッシャー未装着時：
  本体排紙トレイ→プリントポスト１ビン→プリントポスト２ビン→プリントポスト３ビン→プリントポスト４ビン
- フィニッシャー装着時：
  フィニッシャートレイ→プリントポスト１ビン→プリントポスト２ビン→プリントポスト３ビン→プリントポスト４ビン

補足

❒ 排紙先が切り替えられたとき、新しい排紙先に用紙がある場合は印刷が停止します。新しい排紙トレイから用紙を取り除くと、印刷が再開します。

❖ 白紙排紙モード

排紙コマンドを受信したときに印刷するデータがなく白紙の状態である場合に、排紙するかしないかを設定します。排紙コマンドを受信したときの動作と設定値との関係は、以下のとおりです。

しない	排紙しません。
スペース	排紙コマンドの前にスペースコード（20H、A0H、8140H）があるときは排紙します。
する	排紙します。

❖ 自動排紙時間

一定時間パソコンからデータが送信されない場合にプリンター内にあるデータを強制的に印刷するかどうかを設定します。たとえば、改ページコードがなくて**【強制印刷】**キーを押さないと印刷できないようなデータでも自動的に印刷させることができます。
「なし」に設定するとデータは自動的には印刷されません。自動的に印刷させる場合は、データが送信されなくなってから強制的に印刷するまでの時間を設定します。
設定された時間が経過すると送信されてきたデータが１ページの途中まででであっても強制的に印刷されますので、適切な時間を設定することが重要です。

なし	10秒	15秒	20秒	25秒	60秒

❖ セレクト状態

パラレルインターフェースのセレクト信号のレベルを設定します。

HIGH	LOW

❖ 受信バッファ

受信バッファのメモリーサイズを設定します。通常は変更する必要はありません。

16Kバイト	32Kバイト	64Kバイト	128Kバイト	256Kバイト	512Kバイト

❖ インプットプライム

インプットプライム信号が送られてきたとき、プライム信号を有効にするかどうかを設定します。通常は変更する必要はありません。

有効	無効

❖ 省エネモード

省エネモードとは、プリンターの消費電力を節約する機能です。プリンターを一定時間使用しないと、まず予熱モードに切り替わり、その後、省エネモードに切り替わります。省エネモード中はプリンターの起動が遅くなり、印刷が始まるまで多少時間がかかります。予熱モードが「なし」に設定されているときは、予熱モードにならずに省エネモードへ切り替わります。

15分	30分	45分	60分	5分	なし

❖ 予熱モード

予熱モードとは、プリンターの消費電力を節約する機能です。プリンターを一定時間使用しないと自動的に予熱モードに切り替わります。予熱モード中はプリンターの起動が遅くなり、印刷が始まるまで多少時間がかかります。省エネモードが設定されているときは、一定時間を経過すると省エネモードに切り替わります。

1分	3分	5分	10分	なし

❖ 優先メモリー

SDRAMモジュールを増設した場合に、優先的に使用するメモリー内容を設定します。印刷する用紙のサイズ、解像度、エミュレーションなどによって選択してください。

重要

- ❒ プリンターの搭載メモリーが標準（16Mバイト）の場合、「ページメモリー」に設定するとオプションのマルチエミュレーションモジュールに含まれるR-PS2は動作しません。R-PS2を使用する場合、SDRAMモジュールを増設するか、「ユーザーメモリー」に設定してください。

ユーザーメモリー	外字やフォントなどのデータを登録するためにメモリーが優先的に使用されます。
ページメモリー	印刷の高速化のためにフレームメモリーとして使用されます。

❖ 紙なしエラー

現在選択されているトレイに用紙がセットされていないときのデータ受信を停止するタイミングを設定します。「印刷時」に設定すると、用紙がセットされていなくてもデータ受信は可能です。「常時」に設定すると、用紙がセットされていないときはデータ受信できません。

印刷時（工場出荷時）	常時

❖ フレームメモリー

メモリー内に確保するフレームメモリーの領域、マクロキャッシュの領域、ソート印刷用の領域の組み合わせを選択します。

リアルマクロ2.1MB	メモリー領域に2.1Mバイトのマクロキャッシュ領域を確保します。
リアルマクロ4.2MB	メモリー領域に4.2Mバイトのマクロキャッシュ領域を確保します。
リアルマクロ8.6MB	メモリー領域に8.6Mバイトのマクロキャッシュ領域を確保します。
リアルマクロなし	メモリー領域にマクロキャッシュ領域を設定しません。
ソートマクロ2.1MB	メモリー領域に2.1Mバイトのマクロキャッシュ領域を確保し、さらに、ソート印刷用の領域をメモリー容量に応じて自動的に確保します。
ソートマクロ4.2MB	メモリー領域に4.2Mバイトのマクロキャッシュ領域を確保し、さらに、ソート印刷用の領域をメモリー容量に応じて自動的に確保します。
ソートマクロ8.6MB	メモリー領域に8.6Mバイトのマクロキャッシュ領域を確保し、さらに、ソート印刷用の領域をメモリー容量に応じて自動的に確保します。
ソートマクロなし	メモリー領域にマクロキャッシュ領域を設定せず、ソート印刷用の領域をメモリー容量に応じて自動的に確保します。

補足

- ❒ 「ソートマクロ2.1MB」〜「ソートマクロなし」は、拡張HDDが装着されているときは表示されません。
- ❒ メモリー容量と用紙サイズについては、P.134 「メモリー容量と用紙サイズ」を参照してください。

❖ エミュレーション検知

プリンターに送られたデータを自動的に判断して、エミュレーションを決定することができます。対象となるのはRP-GL/2（オプション）、R-PS2（オプション）、RTIFF（オプション）、R16、R55（オプション）です。それ以外のエミュレーションは、起動プログラムで設定されているエミュレーションになります。

しない	する

補足

- ❒「エミュレーション検知」を「する」に設定しても、エミュレーション切り替えコマンドを受信した場合は、エミュレーション切り替えコマンドが優先されます。
- ❒ 転送されたデータの種類によっては、正しいエミュレーションに切り替わらない場合があります。
- ❒「エミュレーション検知」を「する」に設定した場合は市販のアプリケーションでご利用ください。市販のアプリケーションを使わずにテキストデータをプリンターに送るとGL/GL2と検知される場合があります。
- ❒ 連続してデータを送信する場合、「エミュレーション検知」が機能しないことがあります。その場合はデータを送信する間隔をあけてください。
- ❒ NIBステータスリストまたはNIBシステムログを印刷する場合は、「エミュレーション検知」を「しない」に設定してください。

❖ パラレル通信

パラレルインターフェースの通信速度を設定します。データの通信速度が速すぎると、うまく通信できないことがあります。そのときは「標準」に設定してください。

高速	標準

❖ 双方向通信

標準装備のパラレルインターフェースで使用しているとき、状態取得要求に対するプリンターの返答モードを設定します。市販のプリントボックスなどに接続して問題が発生したときは、「一般モード」に設定します。ただし「一般モード」に設定したときは、プリンタードライバーの「プリンターの状態表示」は使用できません。

リコーモード	一般モード

❖ ジョブ仕分け

ジョブ単位ごとに排紙位置を振り分けて交互に排紙するか選択します。複数のジョブを大量印刷したときに、自動的に仕分けることができます。

しない	する

❖ 起動プログラム

電源を入れたときに自動的に呼び出されるエミュレーションまたは登録されているプログラムを設定します。

RPDL	R98	R16	オプション＃1
オプション＃2	オプション＃3	オプション＃4	プログラム1〜16

補足

- ❒「オプション#1」〜「オプション#4」は、オプションのマルチエミュレーションモジュールをセットしたとき有効です。
- ❒「プログラム1」〜「プログラム 16」に設定すると、その数字と同じ登録番号のプログラムが呼び出されてプリンターが起動します。プログラムはDOSで印刷するとき使用するものです。

6

❖ **イーサネット速度**

イーサネットボードを使ってネットワーク通信するときの通信速度を選択することができます。

自動設定	100Mbps固定	10Mbps固定

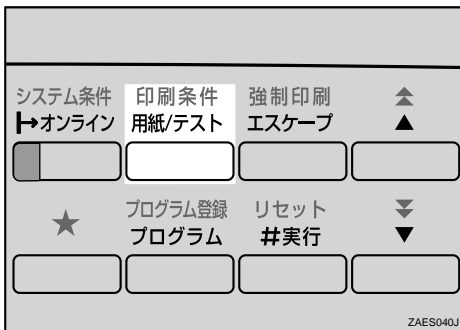
重要

❒ 以下の機能はネットワークプリンターとして使用するときに設定する必要がある項目です。これらの機能については＜セットアップガイド＞を参照してください。

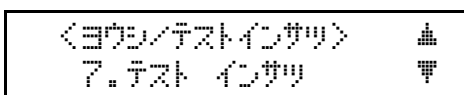
- IPアドレス
- サブネットマスク
- デフォルトゲートウェイアドレス
- アクセスコントロールアドレス
- アクセスコントロールマスク
- ネットワークブート
- フレームタイプ（NetWare）
- 有効プロトコル

ステータスシートを印刷する

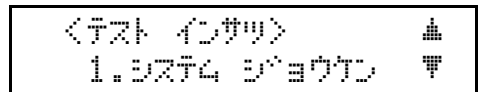
ステータスシートを印刷して設定したシステム条件の内容を確認します。

1 **【用紙/テスト】キーを押します。**

【用紙/テスト】キーのメニュー画面が表示されます。

2 **【▲】【▼】キーを押し、「テスト インサツ」を表示させ、【実行】キーを押します。**

<ヨウシ/テストインサツ>
7.テスト インサツ

テスト印刷の選択画面が表示されます。

3 **【実行】キーを押します。**

<テスト インサツ>
1.システム ジョウケン

ステータスシートが印刷されます。

ステータスシートのみかた

IPSiO NX810

RICOH

Network eXpress

Status Sheet

■システム構成
バージョン 00.14
プリンターＩＤ 00000000
トータルカウンター 00000035

■システムメモリスイッチ
１． パラレル１制御 ACK outside of BUSY
６． Ｉ／Ｆ切り替え時間 １５秒
７． 給紙トレイ トレイ１
８． 排紙トレイ メイントレイ
９． 白紙排紙モード 白紙排紙しない
１０． 自動排紙時間 なし
１１． セレクト状態 ＨＩＧＨ
１２． 受信バッファ ３２ キロバイト
１３． インプットプライム 無効
１４． 省エネ モード ３０分
１５． 予熱モード １分
１６． 優先メモリー ページ メモリー
１７． 紙なしエラー 印刷時
１８． フレームモード リアル マクロキャッシュなし
１９． エミュレーション検知 しない
２０． パラレル通信 高速
２１． 双方向通信 リコーモード
２２． ジョブ仕分け しない
２３． 起動プログラム ＲＰＤＬ
２４． オートクリア しない
★マークは設定値が初期値と異なる項目です。

■紙サイズ
トレイ１/普通紙 Ａ４ トレイ２/普通紙 Ａ４Ｒ
トレイ３/普通紙 Ａ３Ｒ トレイ４/普通紙 Ａ３Ｒ
手差し Ｂ５

■メモリ
トータル 147456KB
フリー 11604KB

■システムプログラム

プログラムナンバー	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
エミュレーション	ﾅｼ	ﾅｼ	ﾅｼ	ﾅｼ	ﾅｼ	ﾅｼ	ﾅｼ	ﾅｼ	ﾅｼ	ﾅｼ	ﾅｼ	ﾅｼ	ﾅｼ	ﾅｼ	ﾅｼ	ﾅｼ

■エンジンオプション
両面ユニット ４ビンプリントポスト 1000枚フィニッシャー
手差しトレイ 1000枚給紙テーブル

■電子ソートオプション
ＨＤＤ

■ＲＰ－ＧＬメモリスイッチ
■ＲＰ－ＧＬバージョン 0.0.3c
１． 原点位置 左下
２． ペン１ 線幅指定 0.4mm
３． ペン２ 線幅指定 0.2mm
４． ペン３ 線幅指定 0.1mm
５． ペン４ 線幅指定 0.2mm
６． ペン５ 線幅指定 0.2mm
７． ペン６ 線幅指定 0.2mm
８． ペン７ 線幅指定 0.2mm
９． ペン８ 線幅指定 0.2mm
１０． ＳＰ コマンド 排紙する
１１． 給紙 モード 標準

■ネットワーク
ネットワークバージョン FERRET00 0.1.6(0007)-0.1.1H
１． ＩＰアドレス 011.022.033.044
２． サブネットマスク 000.000.000.000
３． デフォルトゲートウェイアドレス 000.000.000.000
４． アクセスコントロールアドレス 000.000.000.000
５． アクセスコントロールマスク 000.000.000.000
６． ネットワークブート NONE
７． フレームタイプ（ＮｅｔＷａｒｅ） AUTO
８． 有効プロトコル All protocol active
９． イーサネット速度 自動設定
１０． 物理アドレス 00-00-74-65-1c-3d
１１． プリンタ名 RNP651C3D
１２． 動作モード （ＮｅｔＷａｒｅ） ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ
１３． プリントサーバ名 （ＮｅｔＷａｒｅ） RNP651C3D
１４． ファイルサーバ名 （ＮｅｔＷａｒｅ）
１５． ＮＤＳコンテキスト名（ＮｅｔＷａｒｅ）
１６． ワークグループ名 （ＮｅｔＢＥＵＩ） WORKGROUP
１７． ネットワークパス名 （ＮｅｔＢＥＵＩ） ¥¥RNP651C3D¥IPSiO_NX810

■エラー履歴
なし

***1.* バージョン**

プリンターのバージョンです。

***2.* プリンター ID**

R-PS2（オプション）でフォントをダウンロードするときに使用します。

***3.* システムメモリスイッチ**

システム条件の設定項目と設定値です。

★印がついている項目は工場出荷時の設定から変更されています。

***4.* 紙サイズ**

給紙トレイ、増設した給紙トレイの用紙サイズと紙種が表示されます。用紙サイズは用紙サイズダイヤルまたは操作パネル、紙種は操作パネルで設定した値です。

補足

❒ 用紙サイズでRと記載されている場合は用紙方向が▭に設定されています。

5. **システムプログラム**

登録されているプログラムのエミュレーションが表示されます。

6. **エンジンオプション**

オプションの給紙テーブル、両面ユニット、手差しトレイ、4ビンプリントポスト、500枚フィニッシャー、1000枚フィニッシャーを取り付けたとき、オプションの名称が表示されます。オプションを取り付けた後、このステータスシートを印刷して正しく取り付けられたか確認します。

7. **電子ソートオプション**

ソート印刷ができるときに表示されます。ソート領域を拡張HDDに確保するときは「HDD」、メモリー領域に確保するときは「メモリ」と表示されます。

8. **RP-GLメモリスイッチ**

マルチエミュレーションモジュール（オプション）がセットされているときに記載されます。

補足

- ❒ 設定方法、項目の内容については、マルチエミュレーションモジュールの使用説明書内の＜RP-GL/2編＞を参照してください。

9. **ネットワーク**

イーサネットボードの設定項目と設定値です。

補足

- ❒ 設定方法、項目の内容については＜セットアップガイド＞、使用説明書＜イーサネットボード＞を参照してください。

10. **エラー履歴**

本機で発生したエラーの履歴が記載されます。

11. **トータルカウンター**

プリンターの総印刷枚数です。

12. **メモリ**

プリンターに搭載されているメモリー容量が記載されます。

DOSで印刷する

DOSで印刷をする場合、パソコンごとに接続できるプリンターが限定されています。そのため、プリンター側で専用のプリンターとして使えるように、印刷モードが切り替えられるようになっています。この印刷モードを「エミュレーションモード」といいます。エミュレーションとは本来まねをするという意味ですが、プリンターでは専用のプリンターのように動作させることができるという意味で使っています。

リコー独自のページ記述言語であるRPDLに対応しているアプリケーションでは、エミュレーションモードをRPDLにします。RPDLモードでは、プリンターの性能が十分に引き出され、速く美しく印刷できます。アプリケーションによっては、印刷時にエミュレーションモードをRPDLモードに自動的に切り替えるものもあります。

RPDLに対応していないアプリケーションで印刷するには、プリンターのエミュレーションモードを以下のように設定します。

エミュレーションモード	エミュレーションするプリンター
R98	日本電気PC-PR201H
R16	EPSON VP1600 (ESC/P)

印刷してみましょう

DOSのアプリケーションから印刷するには、プリンターのエミュレーションや印刷条件などの設定が必要です。ここでは印刷する操作の流れを説明します。

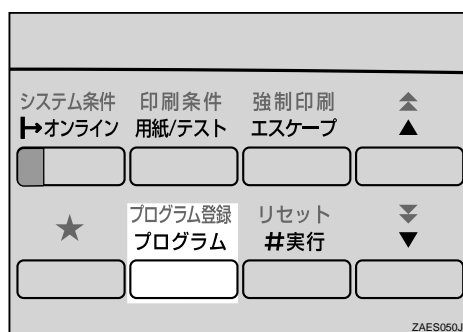
1 アプリケーションで文書を作成します。

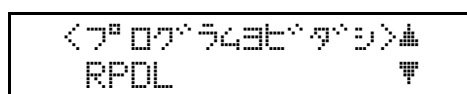
2 お使いになっているパソコンに対応しているプリンターを、アプリケーション上で選択します。

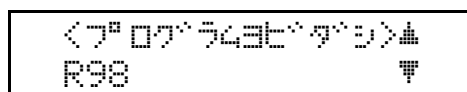
- **リコーのプリンターを選択できるとき**
  ⇒リコーのプリンターを選択する
- PC-9800**シリーズをお使いのとき**
  ⇒PC-PR201H**系のプリンターを選択する**
- DOS/V**機をお使いのとき**
  ⇒VP-1600**系のプリンターを選択する**

3 プリンターのエミュレーションを、手順2で選択したプリンターに対応したエミュレーションモードに切り替えます。

- **リコーのプリンターを選択したとき**
  ⇒「RPDL」に切り替える
- PC-PR201H **系のプリンターを選択したとき**
  ⇒「R98」に切り替える
- VP-1600**系のプリンターを選択したとき**
  ⇒「R16」に切り替える

❶ 操作パネルの【プログラム】キーを押します。

エミュレーションプログラムの選択画面が表示されます。

<ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾖﾋﾞﾀﾞｼ>
RPDL

❷【▲】【▼】キーを押して、選択したいエミュレーションを表示させ、【実行】キーを押します。

<ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾖﾋﾞﾀﾞｼ>
R98

選択したエミュレーションがディスプレイに表示されます。

R98 ﾄﾚｲ1
A4[ ]

4 **アプリケーションによっては、プリンターの印刷条件を変更します。**

印刷条件の設定方法は CD-ROM のヘルプファイルを参照してください。

⇒ P.117 「一太郎Ver.4.3から印刷するとき」

5 **アプリケーションから印刷を実行します。アプリケーションによっては、設定を一部変更してから印刷します。**

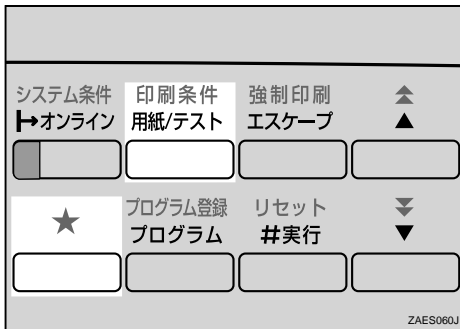
⇒ P.117 「一太郎Ver.4.3から印刷するとき」

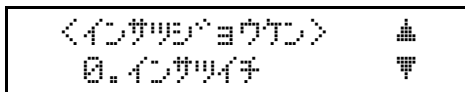
⇒ P.117 「Lotus1–2–3Jから印刷するとき」

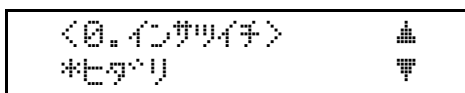
一太郎Ver.4.3から印刷するとき

手順❷で選んだプリンターがPC-PR201Hの場合は、以下のように設定します。

- プリンターの印刷条件の［印刷位置］を「センタリング」に設定し、［ページ長］を「最大長」に設定する。

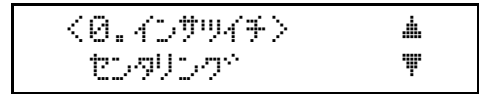
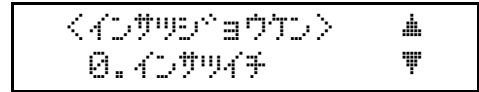
① **【★】**キーを押しながら**【印刷条件】**キーを押します。

印刷条件の設定画面が表示されます。

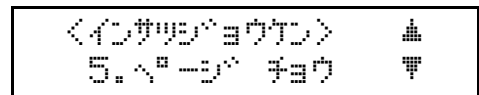
```
<ｲﾝｻﾂｼﾞｮｳｹﾝ>    ▲
 0.ｲﾝｻﾂｲﾁ       ▼
```

② **【実行】**キーを押します。
印刷位置の設定画面が表示されます。

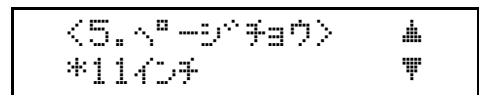
```
<0.ｲﾝｻﾂｲﾁ>      ▲
*ﾋﾀﾞﾘ           ▼
```

③ **【▼】**キーを１回押して、「センタリング」を表示させ、**【実行】**キーを押します。

```
<0.ｲﾝｻﾂｲﾁ>      ▲
 ｾﾝﾀﾘﾝｸﾞ        ▼
```

印刷条件の選択画面に戻ります。

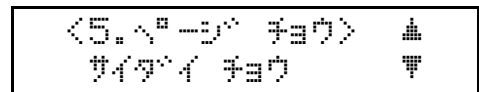
```
<ｲﾝｻﾂｼﾞｮｳｹﾝ>    ▲
 0.ｲﾝｻﾂｲﾁ       ▼
```

④ **【▼】**キーを５回押して、「5．ページ チョウ」を表示させ、**【実行】**キーを押します。

```
<ｲﾝｻﾂｼﾞｮｳｹﾝ>    ▲
 5.ﾍﾟｰｼﾞ ﾁｮｳ    ▼
```

ページ長の設定画面が表示されます。

```
<5.ﾍﾟｰｼﾞﾁｮｳ>    ▲
*11ｲﾝﾁ          ▼
```

⑤ **【▼】**キーを１回押して、「サイダイ チョウ」を表示させ、**【実行】**キーを押します。

```
<5.ﾍﾟｰｼﾞ ﾁｮｳ>   ▲
 ｻｲﾀﾞｲ ﾁｮｳ      ▼
```

⑥ **【エスケープ】**キーを押します。
通常の画面が表示されます。

```
R98         ﾄﾚｲ1
            A4[]
```

- アプリケーション上で、［P印刷］から［Oオプション］を選択した画面で、［シートフィーダーを使用］を「する」に設定にする。

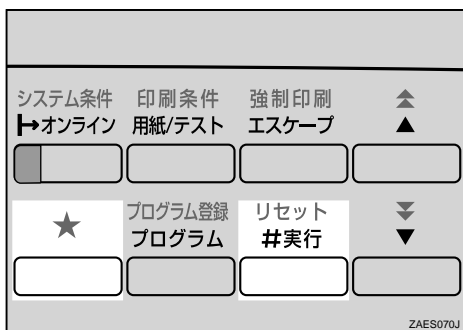
Lotus1–2–3Jから印刷するとき

印刷する前に、アプリケーション上で［P印刷］から［Pプリンタ］を選択した画面で以下のように設定します。

- ［N 装置］でお使いになっているパソコンに対応しているプリンターを選択する。
- ［W用紙］を「Sシートフィーダ」に設定する。
- ［E排紙］を「する」に設定する。

印刷を中止するには

印刷の中止は、**【★】**キー＋**【リセット】**キーを使用して行います。

1 オンラインランプが点灯していることを確認し、【★】キーを押しながら【リセット】キーを押します。

操作パネルのディスプレイに「データキャンセルチュウ」と表示され、印刷データがキャンセルされます。

補足

- ❒ 印刷を中止したデータが再び印刷される場合は、システム条件の［I/F切り替え時間］を長く設定してください。

印刷条件一覧表

❖ RPDL

　　　は初期値です。

項目	設定値					
	1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12
1.給紙トレイ	トレイ2／手差し *1	トレイ1	システムデフォルト	トレイ2	トレイ3 *1	—
	手差し *1	トレイ4 *1				
2.印刷方向	単票縦	単票横	帳票縦	帳票横		
3.CR,LF,FF機能	CR,LF,FF	CR+LF,LF,FF	CR,LF・FF+CR	CR+LF,LF・FF+CR		
4.自動改行	する	しない				
5.行ピッチ	6LPI	3LPI	8LPI	フォントサイズ		
6.文字ピッチ	10CPI	12CPI	15CPI	フォントサイズ		
7.ANKフォント	クーリエ10	プレステージエリート12	レターゴシック15	ボールドフェイスPS	ラインプリンタ	明朝半角
89.国別指定	アメリカ	イギリス	ドイツ1	ドイツ2	フランス	スウェーデン
	フィンランド	スイス	日本1	日本2	日本3	
A.キャンセルコード	CR	クリア				
B.印刷領域	標準	最大	センタリング			
D.リミットレス給紙	しない	する				
I.スペーシングユニット	H=1/120, V=1/48	H=1/180, V=1/120	H=1/160, V=1/120	H=1/160, V=1/160	H=1/240, V=1/120	H=1/240, V=1/240
	H=1/400, V=1/400	H=1/600, V=1/600				
J.漢字コード	新JIS, JISコード	旧JIS, JISコード	新JIS, シフトJIS	旧JIS, シフトJIS		
K.左余白	00mm（0～50mmの範囲で、1mm単位に設定できます。）					
L.上余白	00mm（0～50mmの範囲で、1mm単位に設定できます。）					
M.変倍率	100%（等倍）	88% 11"×14"→B4	80% B4→A4	75% B4→A4	70% 11"×14"→A4	67% A3→A4
	115% B4→A3					

<table>
<tr><th rowspan="3">項目</th><th colspan="6">設定値</th></tr>
<tr><th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th><th>6</th></tr>
<tr><th>7</th><th>8</th><th>9</th><th>10</th><th>11</th><th>12</th></tr>
<tr><td>N.デバイスコントロール</td><td>DC1・DC3無効</td><td>DC1・DC3有効</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>O.半角ピッチ</td><td>1/2</td><td>2/3</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>P.グラフィックス</td><td>簡易グラフィックス</td><td>RPGL</td><td>グラフィックス自動</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>Q.ページ長</td><td>11インチ</td><td>最大長</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>R.イメージ濃度</td><td>うすく</td><td>中間</td><td>こく</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>T.漢字フォント</td><td>明朝</td><td>ゴシック</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>U.ANKサイズ</td><td colspan="6">1200センチポイント（600～2100センチポイントの範囲で、10センチポイント単位で設定できます。）</td></tr>
<tr><td>V.漢字サイズ</td><td colspan="6">960センチポイント（600～1800センチポイントの範囲で、10センチポイント単位で設定できます。）</td></tr>
<tr><td>W.グラフィックスユニット</td><td>1/400インチ</td><td>1/240インチ</td><td>1/600インチ</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>Y.文字ストリング</td><td>する</td><td>しない</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>Z.外字文字数</td><td>256字</td><td>512字</td><td>768字</td><td>1034字</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>A2.印字モード</td><td>トナーセーブモード2</td><td>スムージングオン</td><td>トナーセーブモード1</td><td>スムージングオフ</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>A3.両面とじ方向 *1</td><td>上とじ</td><td>左とじ</td><td>右とじ</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>A4.エンジン解像度</td><td>400dpi</td><td>（400dpi）</td><td>600dpi</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>A6.両面印刷 *1</td><td>しない</td><td>する</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>B1.パラレルI/F1</td><td>ACK inside</td><td>ACK outside</td><td>システムデフォルト</td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>

*1 **オプション**

❖ R16

　　　は初期値です。

項目	設定値					
	1	2	3	4	5	6
	7	8	9	A	B	C
	D	E	F	G	H	I
0.印字開始位置	8.5mm	22mm				
1.印刷方向	縦	横				
2.印刷領域	標準	最大				
3.左余白	00mm（0～50mmの範囲で、1mm単位に設定できます。）					
4.上余白	00mm（-5～50mmの範囲で、1mm単位に設定できます。）					
5.ページ長	11インチ	最大長				
6.ページ幅	用紙幅	13.6インチ				
7.変倍率	100%（等倍）	88% 11"×14"→B4	80% B4→A4	75% B4→A4	70% 11"×14"→A4	67% A3→A4
	115% B4→A3					
8.イメージ濃度	こく	中間	うすく			
9.ANKフォント	レタークオリティ10	レタークオリティ12	レタークオリティ15	クーリエ10	プレステージエリート12	レターゴシック15
	ボールドフェイスPS					
A.漢字フォント	明朝7.2P	明朝9.6P	明朝12P	ゴシック7.2P	ゴシック9.6P	ゴシック12P
B.漢字コード	新JIS	旧JIS				
C.ゼロスラッシュ	なし	あり				
D.国別指定	アメリカ	フランス	ドイツ	イギリス	デンマーク1	スウェーデン
	イタリア	スペイン1	日本	ノルウェー	デンマーク2	スペイン2
	ラテンアメリカ					
E.文字コード	カタカナ	グラフィックス				
F.行ピッチ	6LPI	3LPI	8LPI	フォントサイズ		
G.文字ピッチ	10CPI	12CPI	15CPI	フォントサイズ		
H.CR機能	CR=CR+LF	CR=CR				

項目	設定値					
	1	2	3	4	5	6
	7	8	9	A	B	C
	D	E	F	G	H	I
J.給紙トレイ	トレイ2／手差し [*1]	トレイ1	システムデフォルト	トレイ2	トレイ3 [*1]	―
	手差し [*1]	トレイ4 [*1]				
K.リミットレス給紙	しない	する				
L.グラフィックス	簡易グラフィックス	RPGL				
N.インプットプライム	有効	無効				
P.文字ストリング	設定1	設定2	しない			
Q.スペーシングユニット	H=1/240, V=1/240	H=1/400, V=1/400	H=1/600, V=1/600			
R.グラフィックスユニット	1/400インチ	1/240インチ	1/600インチ			
S.デバイスコントロール	DC1・DC3有効	DC1・DC3無効				
A2.印字モード	トナーセーブモード2	スムージングオン	トナーセーブモード1	スムージングオフ		
A3.両面とじ方向 [*1]	上とじ	左とじ	右とじ			
A4.エンジン解像度	400dpi	（無効）	（無効）	600dpi		
A6.両面 [*1] 印刷	しない	する				
B1.パラレルI/F1	ACK middle	ACK outside	ACK inside	システムデフォルト		

[*1] **オプション**

❖ R98

　　は初期値です。

項目	設定値					
	1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12
0.印刷位置	左	センタリング				
1.印刷方向	単票縦	単票横	帳票縦	帳票横		
2.印刷領域	標準	最大				
3.左余白	00mm（0〜50mmの範囲で、1mm単位で設定できます。）					
4.上余白	00mm（0〜50mmの範囲で、1mm単位で設定できます。）					
5.ページ長	11インチ	最大長				
6.ページ幅	用紙幅	13.6インチ				
7.変倍率	100% （等倍）	88% 11"×14"→B4	80% B4→A4	75% B4→A4	70% 11"×14"→A4	67% A3→A4
	115% B4→A3					
8.イメージ濃度	こく	中間	うすく			
9.ANKフォント	クーリエ10	プレステージエリート12	レターゴシック17	ボールドフェイスPS	指定なし	半角
A.漢字フォント	明朝7.2P	明朝9.6P	明朝12P	ゴシック7.2P	ゴシック9.6P	ゴシック12P
B.漢字コード	新JIS, JISコード	旧JIS, JISコード	新JIS, シフトJIS	旧JIS, シフトJIS		
C.ゼロスラッシュ	なし	あり				
D.国別指定	アメリカ	イギリス	ドイツ1	ドイツ2	フランス	スウェーデン
	フィンランド	スイス	日本			
E.行ピッチ	6LPI	3LPI	8LPI	フォントサイズ		
F.文字ピッチ	10CPI	12CPI	17CPI	フォントサイズ		
G.自動改行	する	しない				
H.印字指令コード	CRのみ	CR,LF,FFetc.				
I.CR機能	CR=CR	CR=CR+LF				
J.キャンセルコード	CR	クリア				

6

項目	設定値					
	1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12
K.デバイスコントロール	DC1・DC3有効	DC1・DC3無効				
M.リミットレス給紙	しない	する				
N.スペーシングユニット	H=1/160, V=1/120	H=1/180, V=1/120	H=1/120, V=1/48	H=1/160, V=1/160	H=1/240, V=1/120	H=1/240, V=1/240
	H=1/400, V=1/400	H=1/600, V=1/600				
O.グラフィックス	簡易グラフィックス	RPGL				
P.パラレルデータサイズ	8ビット	7ビット				
Q.ドットイメージ	ネイティブモード	コピーモード				
R.プライム条件	外字保持	外字クリア				
T.給紙トレイ	トレイ2／手差し *1	トレイ1	システムデフォルト	トレイ2	トレイ3 *1	－
	手差し *1	トレイ4 *1				
V.ケイ線フォント	フォント	イメージ				
W.グラフィックスユニット	1/400インチ	1/240インチ	1/600インチ			
X.文字ストリング	する	しない				
A2.印字モード	トナーセーブモード2	スムージングオン	トナーセーブモード1	スムージングオフ		
A3.両面とじ方向 *1	上とじ	左とじ	右とじ			
A4.エンジン解像度	400dpi	（無効）	（無効）	600dpi		
A6.両面印刷 *1	しない	する				
B1.パラレルI/F1	ACK in, STB down	ACK out, STB up	システムデフォルト			

*1　**オプション**

フォーム印刷する

フォーム印刷のしくみ

フォーム印刷では、１ページごとにフォームコマンドをビットマップデータに展開して記憶し、２ページ目以降は記憶されたビットマップデータのフォームを使用します。あらかじめフォームを登録してビットマップデータに展開した状態で記憶しておき、その後に印刷するデータのみをプリンターに送信すると、フォームとデータが合成されて印刷されます。

フォーム印刷の処理の流れを以下に示します。

① フォームコマンドをプリンターに登録します。

② 印刷データ（複数ページ）をプリンターに転送します。

③ 登録したフォームコマンドを、「フォーム展開コマンド」でビットマップに変換します。

④ 印刷データの１ページ目がメモリーに書き込まれます。

⑤ ビットマップに展開されたフォームと合成されて印刷されます。

⑥ ③〜⑤を繰り返して２ページ目以降が印刷されます。

フォームを展開／登録/削除する

プリンターの登録するフォームコマンドはメモリーに登録されます。

フォームコマンドの登録／展開／削除方法は、コマンドを転送して制御します。

詳細については、「RPDLプログラマーズマニュアル」を参照してください。

補足

❒ 登録したフォームコマンドは、電源を切ると削除され初期状態に戻ります。再度フォームコマンドを登録してください。

❒ メモリー上のフォームは、印刷が完全に終了するまで削除されません。

❒ 記憶されたフォームは以下のタイミングで削除されます。

- プリンターの電源を切ったとき
- システムをリセットしたとき
- エミュレーションの切り替えコマンドでエミュレーションを切り替えたとき

❒ R55モードでご使用になるとき、フォームはメモリー上に100個記憶できます。

マクロキャッシュ機能について

マクロキャッシュ機能とは、一度使用したフォームのビットマップデータをプリンターのメモリー上に展開して記憶することにより印刷スピードを上げる機能です。

フォーム印刷するときにマクロキャッシュ機能を利用すると、１ページ目でプリンターメモリー上に記憶されたフォームのビットマップデータが２ページ目以降ではそのまま使用されるため、印刷スピードが格段に向上します。フォーム印刷でマクロキャッシュ機能を利用する場合は、システム条件「フレームモード」で「リアルマクロなし」または「ソートマクロなし」以外を設定します。

補足

- ❒ マクロキャッシュ機能は同一フォーム（最大４フォーム）を複数枚印字した時の印刷スピード向上に有効な機能です。１フォームに対して１枚のみの印字では、効果はありません。
- ❒ マクロキャッシュ機能はRPDLモードでのみ有効です。
- ❒ マクロキャッシュ機能では4Kバイト以上のフォームを記憶します。
- ❒ 記憶されるフォーム数は以下の条件によって異なります。
  - 印刷するデータサイズ
  - システム条件「優先メモリー」の設定値
  - 印刷解像度
  - プリンターの実装メモリー容量

用紙サイズ	マクロキャッシュの設定値（Mバイト）	メモリ容量（Mバイト）	優先メモリの設定			
			ページメモリ		ユーザーメモリ	
			400dpi	600dpi	400dpi	600dpi
A4	2.1	16	１ページ	—	—	—
		48	１ページ	—	１ページ	—
		80	１ページ	—	１ページ	—
		144	１ページ	—	１ページ	—
	4.2	16	—	—	—	—
		48	２ページ	１ページ	２ページ	１ページ
		80	２ページ	１ページ	２ページ	１ページ
		144	２ページ	１ページ	２ページ	１ページ
	8.6	16	—	—	—	—
		48	４ページ	２ページ	４ページ	２ページ
		80	４ページ	２ページ	４ページ	２ページ
		144	４ページ	２ページ	４ページ	２ページ

用紙サイズ	マクロキャッシュの設定値（Mバイト）	メモリ容量（Mバイト）	優先メモリの設定			
			ページメモリ		ユーザーメモリ	
			400dpi	600dpi	400dpi	600dpi
B4	2.1	16	—	—	—	—
		48	—	—	—	—
		80	—	—	—	—
		144	—	—	—	—
	4.2	16	—	—	—	—
		48	1ページ	—	1ページ	—
		80	1ページ	—	1ページ	—
		144	1ページ	—	1ページ	—
	8.6	16	—	—	—	—
		48	2ページ	1ページ	2ページ	1ページ
		80	2ページ	1ページ	2ページ	1ページ
		144	2ページ	1ページ	2ページ	1ページ
A3	2.1	16	—	—	—	—
		48	—	—	1ページ	—
		80	—	—	1ページ	—
		144	—	—	1ページ	—
	4.2	16	—	—	—	—
		48	1ページ	—	1ページ	—
		80	1ページ	—	1ページ	—
		144	1ページ	—	1ページ	—
	8.6	16	—	—	—	—
		48	2ページ	1ページ	2ページ	1ページ
		80	2ページ	1ページ	2ページ	1ページ
		144	2ページ	1ページ	2ページ	1ページ

❒ マクロキャッシュ機能を有効に活用するための、フォームオーバーレイソフト（Report Creator）が用意されています。詳細については、販売店にお問い合わせください。

6

マクロキャッシュのメモリー容量を設定する

1 **【★】キーを押しながら【システム条件】キーを押します。**

「システム条件」のメニューが表示されます。

<ｼｽﾃﾑ ｼﾞｮｳｹﾝ> ▲
1.ﾊﾟﾗﾚﾙI/F 1 ▼

2 **【▲】【▼】キーを押して、「フレームモード」を表示させ、【実行】キーを押します。**

<ｼｽﾃﾑ ｼﾞｮｳｹﾝ> ▲
18.ﾌﾚｰﾑﾓｰﾄﾞ ▼

設定した項目の設定値が表示されます。「＊」は現在の設定値を示します。

<18.ﾌﾚｰﾑﾓｰﾄﾞ> ▲
*ﾘｱﾙ ﾏｸﾛ ﾅｼ ▼

3 **【▲】【▼】キーを押して、選択したい設定値を表示させ、【実行】キーを押します。**

<18.ﾌﾚｰﾑﾓｰﾄﾞ> ▲
ﾘｱﾙ ﾏｸﾛ4.2MB ▼

4 **【エスケープ】キーを押します。**

次の画面が一瞬表示されたあと、通常の画面が表示されます。

ﾘｾｯﾄｺﾞ
ｾｯﾃｲｶﾞ ﾊﾝｴｲｻﾚﾏｽ

RPDL ﾄﾚｲ1
A4[ ]

5 **【オンライン】キーを押します。**

オンラインランプが消えて、プリンターがオフライン状態になります。

6 **【★】キーを押しながら【リセット】キーを押します。**

設定したシステム条件の内容を確認したいときは、「ステータスシート」を印刷してください。⇒ P.113「ステータスシートを印刷する」

ソート印刷・ステープル印刷について

本機ではオプションの拡張HDD またはメモリーのデータ領域を使用してソート印刷／ステープル印刷を行うことができます。

拡張HDDを取り付けたときは、拡張HDDのデータ領域を使用し、メモリーのデータ領域は使用しません。拡張HDDを取り付けないときは、メモリーのデータ領域を使用します。そのため、メモリーの容量によっては、ソート印刷／ステープル印刷できるページ数に制限があります。

❖ 拡張HDDを取り付けたとき

システム条件の設定にかかわらず、最大1,500ページまでのソート印刷／ステープル印刷が可能です。ただし、ソート印刷／ステープル印刷できるページ数は、原稿のサイズ、ページ数やデータのサイズによって制限されます。また、一度にステープルできるページ数は30枚（A4、Letter(8 1/2×11)以下）までです。

フィニッシャーを取り付けたときは、同時に拡張HDDも取り付けてご使用になることをお勧めします。

❖ 16Mバイト（標準メモリーの容量）、48Mバイト（32Mバイト増設）のとき

システム条件が工場出荷時の設定のままでは、ソート印刷／ステープル印刷はできません。

ただし、システム条件の設定項目「優先メモリー」を「ページメモリー」、「フレームモード」を「ソートマクロなし」に設定するとソート印刷／ステープル印刷できる場合があります。

上記の設定を行っても、原稿のサイズ、ページ数やデータのサイズによってはソート印刷／ステープル印刷できないことがあります。

❖ 80Mバイト（64Mバイト増設）、144Mバイト（128Mバイト増設）のとき

システム条件の設定が工場出荷時の設定のままでソート印刷／ステープル印刷ができます。より多くのページ数をソート印刷／ステープル印刷できるようにするには、システム条件の設定項目「優先メモリー」を「ページメモリー」、「フレームモード」を「ソートマクロなし」に設定します。ただし、ソート印刷／ステープル印刷できるページ数は、原稿のサイズ、ページ数やデータのサイズによって制限されます。

ソート印刷

会議資料など複数部数の印刷をする場合、ページ順に仕分けて印刷できます。この機能を「ソート」といいます。ソートは、パソコン上からプリンタードライバーでソート印刷を指定されて送信されてきたデータをメモリーに読み込むことによって行います。

制限

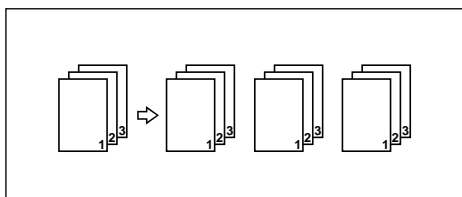
- ❒ 手差しトレイ、厚紙モード指定時のトレイ２にセットされた用紙を給紙する場合は、ソート指定は解除されて通常の印刷となります。
- ❒ システム条件の「自動排紙時間」で設定された時間が過ぎるまでは、最終ページが印刷されない場合があります。
- ❒ 指定した給紙トレイの用紙がなくなった場合、同じサイズ、同じ種類の用紙がセットされているトレイが選択され、代わりに給紙されます（リミットレス給紙）。ただし、以下のトレイはトレイ選択の対象外となります。
  - 手差しトレイ
  - 厚紙モードに設定されたトレイ２

参照

印刷方法については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

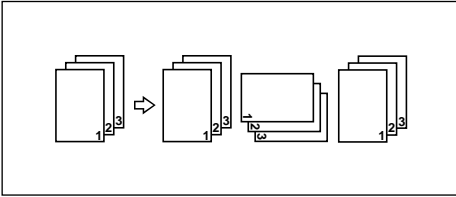
ソートには「ソート」、「回転ソート」、「シフトソート」の３種類があります。

❖ ソート

１部ずつそろえて印刷します。

補足

- ❒ オプションのフィニッシャーが接続されており、［排紙先］タブで「自動排紙先選択」を選択されている場合、［ソート］を選択しても、実際にはシフトソートされてフィニッシャートレイに排紙されます。
- ❒ 排紙先が「フィニッシャー・シフトトレイ」の場合は、ソートの指定がされていてもシフトソートされます。

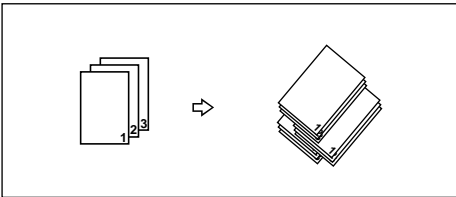
❖ 回転ソート

1部ずつ交互に向きをそろえて印刷します。

オプションの拡張HDDが取り付けられていて、同じサイズ・同じ用紙種類の用紙が縦と横方向に同時にセットされているときにソートの指示をして印刷すると、回転ソートして印刷されます。回転ソートを行うことができるサイズはA4、B5、Letter(8 1/2×11)です。

補足

- ❒ 以下の場合、回転ソートは行われずに通常のソート印刷になります。
  - 異なる原稿サイズが混在している印刷データを印刷するとき
  - 用紙種類を「特殊紙」に設定しているトレイから給紙されるとき
  - 用紙の種類が混在しているとき
- ❒ Windows NT3.51から印刷する場合は、回転ソートはできません。
- ❒ 排紙先が「フィニッシャー・シフトトレイ」の場合は、回転ソートの指定がされていてもシフトソートされます。
- ❒ 回転ソートとステープルを組み合わせることはできません。
- ❒ 回転ソートすると、印刷速度は他のソートより多少遅くなります。

❖ シフトソート

1部ごとにずらして排紙しますので、部の区切りがわかります。

オプションのフィニッシャーが取り付けられているとき、シフトソートして印刷することができます。 シフトソートできる用紙サイズは、取り付けているフィニッシャーの種類によって異なります。

	500枚フィニッシャー	1000枚フィニッシャー
シフトソート可能な用紙サイズ	A3、B4、A4、B5、11×17、Legal(8 1/2×14)、Letter(8 1/2×11)	A3、B4、A4、A5、B5、11×17、Legal(8 1/2×14)、Letter(8 1/2×11)、8 1/2×5 1/2

補足

- ❒ フィニッシャーを接続しているのに、シフトソートの設定ができない場合は、オプション装置が正しく設定されていない可能性があります。[オプション構成]でオプション装置を正しく設定してください。⇒プリンタードライバーのヘルプ
- ❒ ステープルを指定しているときは、シフトソートの指定をしても通常のソート印刷がされます。

動作可能なソート種類は、排紙先によって異なります。

排紙先 / ソート種類	本体排紙トレイ	プリントポスト １～４ビン	フィニッシャー・シフトトレイ
ソート	○	○	×
回転ソート	○	○	×
シフトソート	×	×	○

オプションの拡張HDDを取り付けていない場合、プリンターに搭載しているメモリー容量、システム条件の「優先メモリー」「フレームモード」の設定値によってはソート印刷ができない場合があります。拡張HDDを取り付けていないときのソートができる条件は以下のとおりです。

メモリー容量	16Mバイト（標準）		48Mバイト（32Mバイト増設）		80Mバイト（64Mバイト増設）		144Mバイト（128Mバイト増設）	
優先メモリー / フレームモード	ページ	ユーザー	ページ	ユーザー	ページ	ユーザー	ページ	ユーザー
リアルマクロなし	×	×	×	×	○	○	○	○
リアルマクロ2.1M	×	×	×	×	○	○	○	○
リアルマクロ4.2M	×	×	×	×	○	○	○	○
リアルマクロ8.6M	×	×	×	×	○	○	○	○
ソートマクロなし	○	×	○	○	○	○	○	○
ソートマクロ2.1M	×	×	○	○	○	○	○	○
ソートマクロ4.2M	×	×	○	×	○	○	○	○
ソートマクロ8.6M	×	×	×	×	○	○	○	○

○：ソート可能　×：ソート不可能

ステープル印刷

本機では、オプションのフィニッシャーを取り付けると、複数部数の印刷をするときに印刷物を１部ずつステープルすることができます。

印刷方向、用紙セット方向によって、指定できるステープル位置は異なります。ステープルできる位置は以下のとおりです。

❖ ステープル位置

本機の用紙方向	印刷データの方向	ステープル位置	
		500枚フィニッシャー	1000枚フィニッシャー
	タテ	R	R
	ヨコ	R	R
	タテ	R	R
	ヨコ	R	R

DESTAPLE

ステープルできる用紙のサイズと枚数は以下のとおりです。

	500枚フィニッシャー	1000枚フィニッシャー
用紙サイズ	A3、B4、A4、B5、11×17、Legal(8 1/2×14)、Letter(8 1/2×11)	A3、B4、A4、B5、11×17、Legal(8 1/2×14)、Letter(8 1/2×11)
用紙枚数 *1	A4以下：30枚 B4以上：20枚	A4以下：30枚 B4以上：20枚

*1 **リコピー PPC用紙タイプ6200のとき**

制限

❒ オプションのフィニッシャーが必要です。

❒ 手差しトレイから給紙する場合、ステープルできません。

補足

❒ フィニッシャーを接続しているのにステープルの設定ができない場合は、オプション装置が正しく設定されていない可能性があります。［オプション構成］でオプション装置を正しく設定してください。⇒プリンタードライバーのヘルプ

❒ 両面の指定をしているときは、ステープル位置ととじ方向を合わせてください。

参照

印刷方法については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

メモリー容量と用紙サイズ

印刷できる用紙サイズ、解像度などは、システム条件の設定やメモリー容量によって異なります。

❖ システム条件の「優先メモリー」の設定が「ページメモリー」のとき

メモリー容量	用紙サイズ／フレームモード	A4 (210×297) Letter (8 1/2×11)		Legal (8 1/2×14)		B4 (257×364)		A3 (297×420) 11×17		不定形サイズ最大 (297×1260)	
		400dpi	600dpi	400dpi	600dpi	400dpi	600dpi	400dpi	600dpi	400dpi	600dpi
16Mバイト	リアルマクロなし	●	◎	◎	◎	◎	○	◎	○	○	×
	リアルマクロ2.1M	●	◎	◎	○	◎	○	◎	○	×	×
	リアルマクロ4.2M	●	◎	◎	○	◎	○	◎	○	×	×
	リアルマクロ8.6M	●	◎	◎	○	◎	○	◎	○	×	×
	ソートマクロなし	●	◎	◎	○	◎	○	◎	○	×	×
	ソートマクロ2.1M	●	◎	◎	○	◎	○	◎	○	×	×
	ソートマクロ4.2M	●	◎	◎	○	◎	○	◎	○	×	×
	ソートマクロ8.6M	●	◎	◎	○	◎	○	◎	○	×	×
48Mバイト	リアルマクロなし	●	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○
	リアルマクロ2.1M	●	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○
	リアルマクロ4.2M	●	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○
	リアルマクロ8.6M	●	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○
	ソートマクロなし	●	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○
	ソートマクロ2.1M	●	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○
	ソートマクロ4.2M	●	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○
	ソートマクロ8.6M	●	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○
80M／144Mバイト	リアルマクロなし	●	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○
	リアルマクロ2.1M	●	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○
	リアルマクロ4.2M	●	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○
	リアルマクロ8.6M	●	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○
	ソートマクロなし	●	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○
	ソートマクロ2.1M	●	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○
	ソートマクロ4.2M	●	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○
	ソートマクロ8.6M	●	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○

○：印刷できます。ただし、両面印刷の指示は解除されて印刷されます。
◎：印刷できます。両面印刷もできます。
●：複数枚のとき高速に印刷できます。両面印刷も高速に印刷できます。
×：縦方向の最大長は432mmになります。

❖ システム条件の「優先メモリー」の設定が「ユーザーメモリー」のとき

メモリー容量	用紙サイズ ＼ フレームモード	A4 (210×297) Letter (8 1/2×11)		Legal (8 1/2×14)		B4 (257×364)		A3 (297×420) 11×17		不定形サイズ最大 (297×1260)	
		400dpi	600dpi	400dpi	600dpi	400dpi	600dpi	400dpi	600dpi	400dpi	600dpi
16Mバイト	リアルマクロなし	●	◎	◎	○	◎	○	◎	○	×	×
	リアルマクロ2.1M	●	◎	◎	○	◎	○	◎	○	×	×
	リアルマクロ4.2M	●	◎	◎	○	◎	○	◎	○	×	×
	リアルマクロ8.6M	●	◎	◎	○	◎	○	◎	○	×	×
	ソートマクロなし	●	◎	◎	○	◎	○	◎	○	×	×
	ソートマクロ2.1M	●	◎	◎	○	◎	○	◎	○	×	×
	ソートマクロ4.2M	●	◎	◎	○	◎	○	◎	○	×	×
	ソートマクロ8.6M	●	◎	◎	○	◎	○	◎	○	×	×
48Mバイト	リアルマクロなし	●	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○
	リアルマクロ2.1M	●	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	×
	リアルマクロ4.2M	●	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	×
	リアルマクロ8.6M	●	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	×
	ソートマクロなし	●	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	×
	ソートマクロ2.1M	●	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	×
	ソートマクロ4.2M	●	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	×
	ソートマクロ8.6M	●	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	×
80M／144Mバイト	リアルマクロなし	●	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○
	リアルマクロ2.1M	●	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○
	リアルマクロ4.2M	●	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○
	リアルマクロ8.6M	●	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○
	ソートマクロなし	●	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○
	ソートマクロ2.1M	●	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○
	ソートマクロ4.2M	●	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○
	ソートマクロ8.6M	●	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○

○：印刷できます。ただし、両面印刷の指示は解除されて印刷されます。
◎：印刷できます。両面印刷もできます。
●：複数枚のとき高速に印刷できます。両面印刷も高速に印刷できます。
×：縦方向の最大長は432mmになります。

【用紙/テスト】キーの使い方

【用紙/テスト】キー機能一覧表

【用紙/テスト】キーを使って、プリンターの設定内容を確認したり、用紙サイズを設定することができます。**【用紙/テスト】**キーには以下のような機能があります。

<table>
<tr><th>項目名（ディスプレイ表示）</th><th colspan="3">機能</th></tr>
<tr><td>カウンター表示
（カウンターヒョウジ）</td><td colspan="3">プリンターの総印刷枚数をディスプレイに表示します。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">試し印刷
（タメシインサツ）
※拡張HDD（オプション）取り付け時に表示</td><td rowspan="2">ファイルリスト表示</td><td>文書印刷</td><td>試し印刷を指定して送信した文書の２部目以降を印刷します。
⇒ P.58 「２部目以降を印刷する」</td></tr>
<tr><td>文書消去</td><td>試し印刷を指定して送信した文書を削除します。
⇒ P.59 「文書を削除する」</td></tr>
<tr><td>エラー履歴表示</td><td colspan="2">試し印刷の文書として拡張HDDに蓄積されなかった文書を確認できます。
⇒ P.60 「エラー履歴を確認する」</td></tr>
<tr><td rowspan="3">機密印刷
（キミツインサツ）
※拡張HDD（オプション）取り付け時に表示</td><td rowspan="2">ファイルリスト表示</td><td>文書印刷</td><td>機密印刷を指定した送信した文書を印刷します。
⇒ P.61 「文書を印刷する」</td></tr>
<tr><td>文書消去</td><td>機密印刷を指定して送信した文書を削除します。
⇒ P.63 「文書を削除する」</td></tr>
<tr><td>エラー履歴表示</td><td colspan="2">機密印刷の文書として拡張HDDに蓄積されなかった文書を確認できます。
⇒ P.64 「エラー履歴を確認する」</td></tr>
<tr><td>給紙トレイ選択
（キュウシトレイセンタク）</td><td colspan="3">給紙トレイを選択できます。
選択できるトレイはトレイ1（標準）、トレイ2（標準）、トレイ3（オプション上段）、トレイ4（オプション下段）、手差し（オプション）です。
⇒ P.28 「海外向けサイズの用紙をセットしたとき」</td></tr>
<tr><td>排紙トレイ選択
（ハイシトレイセンタク）</td><td colspan="3">印刷された用紙の排紙先を指定します。選択できるトレイはメイントレイ（標準）、プリントポスト ビン1～4、フィニッシャー（オプション）、自動切替排紙（オプション）です。</td></tr>
<tr><td>紙サイズ選択
（カミサイズセンタク）</td><td colspan="3">給紙トレイに用紙サイズダイヤルにないサイズの用紙をセットしたときに設定します。
⇒ P.28 「海外向けサイズの用紙をセットしたとき」</td></tr>
</table>

項目名（ディスプレイ表示）	機能	
紙種選択 （カミシュセンタク）	給紙トレイにセットした用紙の種類を設定します。選択できる紙種はフツウシ（普通紙）、サイセイシ（再生紙）、トクシュシ（特殊紙）です。 紙種を設定しておくと、違う用紙種類の間ではリミットレス給紙されません。 トレイ２のレバーが「厚紙モード」に設定されているときは、紙種の設定は無効となり、他のトレイとリミットレス給紙できません。	
テスト印刷 （テストインサツ）	システム条件	ステータスシートを印刷します。 ⇒ P.113 「ステータスシートを印刷する」
	印刷条件	印刷条件の設定値を一覧にして印刷します。現在設定されているエミュレーションモードの印刷条件が印刷されます。
	ヘキサダンプ	印刷不良の原因を調べるために、パソコンから送られたデータを16進数で印刷します。
	全文字印字	本機で印刷できる全ての文字を印刷します。
	フォントセット	本機で印刷できるフォントの一覧を印刷します。
	NIBステータスリスト	ネットワークステータスシートを印刷します。
	NIBシステムログ	システムログ情報を印刷します。
レジスト調整 （レジストチョウセイ）	印刷を開始する位置をオプションの各トレイごとに調整します。 -9.0～+9.0mmの範囲で設定できます。数値は【▲】【▼】キーで0.1mmずつ、【⇞】【⇟】キーで1.0mmずつ切り替わります。 ⇒ P.99 「レジスト調整する」	
濃度調整 （ノウドチョウセイ）	印刷濃度を調整します。-3から+3の7段階に設定できます。 ⇒ P.98 「印刷濃度を調整する」	
厚紙モード （アツガミモード） ※手差しトレイ（オプション）取り付け時に表示	手差しトレイから厚紙やOHPフィルムを印刷するときに「アツガミ」に設定します。 ⇒ P.35 「厚紙、OHPフィルムをセットしたとき」	
用紙除湿ヒーター （ヨウシジョシツヒーター）	用紙から除湿するためのヒーターを、システム条件の省エネモード設定時作動させるかどうかを設定します。	
HDDユーティリティー （HDDユーティリティー） ※拡張HDD（オプション）取り付け時に表示	ディレクトリ リスト	拡張HDD内のディレクトリリストを印刷します。
	HDDフォーマット	拡張HDDをフォーマットします。それまでに保存されていたフォントなどのデータは全て削除されます。 ⇒＜セットアップガイド＞「拡張HDDをフォーマットする」

保守・運用について

お客様登録・保守契約

お客様登録はがき、(仮)保証書

このはがきをご返送いただくことにより、正式保証書を発行(無償保証期間の保守サービス対象機として登録)させていただきます。お手数ですが、必要事項をご記入の上必ずご返送ください。

なお、(仮)保証書は正式保証書が届くまでの期間限定保証書となりますので、大切に保管してください。

補足

❒ ご登録がない場合には手続きに時間がかかる場合がありますので、必ずご返送ください。

保守契約

- 保守契約とは、お客様本位に考えられた無償保証期間後のサービスシステムです。一定のご予算でプリンターを良好な状態に保ちます。
- 保守契約されると次のようなメリットがあります。
  - 定期点検を行い、品質の維持を図ります。
  - 計画的に経費の運用ができます。
  - 万一故障したときは、迅速で的確なサービスが受けられます。
  - カルテ管理により、適切なサービスが受けられます。
- 保守サービスのために必要な補修用性能部品の最低保有期間は、本製品の製造中止後、7年間です。したがって、本期間以後は、修理をお引き受けできない場合があります。
- 保守契約を希望される場合は、購入された販売店にご連絡ください。

清掃

⚠警告

- 本書で指定している部分以外のカバーやねじは外さないでください。機械内部には電圧の高い部分やレーザー光源があり、感電や失明の原因になります。機械内部の点検・調整・修理はサービス実施店に依頼してください。
- この機械を分解・改造しないでください。火災や感電の原因になります。また、レーザー光洩れにより失明の恐れがあります。

⚠注意

- 機械内部には高温の部分があります。紙づまりの処置の際は、本書で指定している場所以外には触れないでください。やけどの原因になります。

プリンターを良好な状態に保ち、きれいに印刷するために、定期的に清掃してください。

外装の清掃は、まずやわらかい布で空拭きします。空拭きで汚れが取れないときは、やわらかい布を水でぬらし、固く絞ってから拭いてください。水でも取れない汚れは、中性洗剤を使って拭き、水拭きして、そのあと空拭きし、水気を十分に取ります。

重要

❒ ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品を使用したり、殺虫剤をかけたりしないでください。変形、変色、ひび割れの原因となります。

❒ プリンターの内部にほこりや汚れがあるときは、乾いた清潔な布で拭いてください。

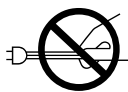
移動

⚠注意

- プリンター本体は約40Kgあります。
- 機械を移動するときは、2人以上で両側面にある取っ手を持ち、ゆっくりと体に負担がかからない状態で持ち上げてください。無理して持ち上げたり、乱暴に扱って落としたりすると、けがの原因になります。

⚠注意

- 機械を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

⚠注意

- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

- 本機は日本国内向けに製造されており、電源仕様の異なる諸外国では使用できません。日本国外に移動するときは、保守サービスの責任は負いかねます。また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は各国異なります。これらの規則に違反して、本製品および消耗品等を諸外国に持ち込むと罰せられることがあります。
- サービス実施店にご連絡いただくと、安全に輸送できるようにプリンターの措置をします。ただし、梱包と輸送についてはお客様で行ってください。

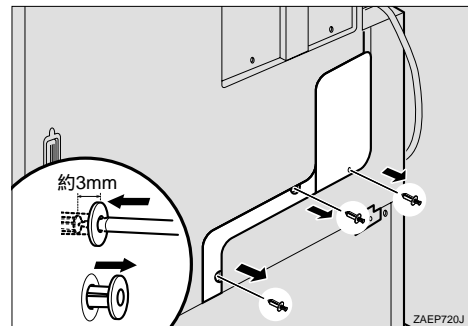
プリンターを輸送するとき

オプションを取り外し、プリンター購入時の箱に入れて輸送してください。

オプションの取り外し方法は、<セットアップガイド>「オプションを取り付ける」の手順を逆に操作してください。なお、次の操作は取り付け時とは異なります。

❖ 給紙テーブルの取り外し

給紙テーブルのケーブルを格納しているコネクターカバー1、2の取り外し方は次のとおりです。

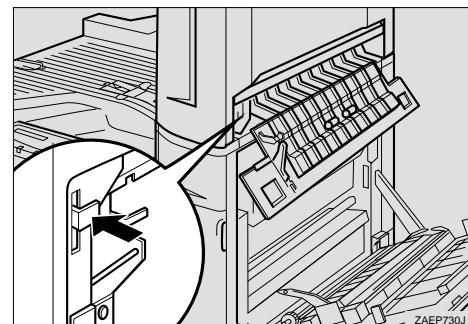
① リベットねじの中央部を先端のとがったもので2～3mm押して（①）、ねじ中央部が飛び出たところでねじを外し（②）、コネクターカバーを取り外します。

❖ 4ピンプリントポストの取り外し

4ピンプリントポストを取り外すときは、4ピンプリントポストを固定しているロックを解除します。

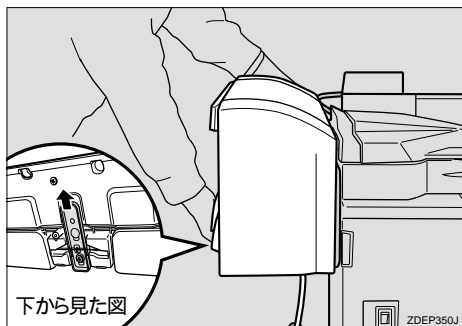
① 右カバー、右上カバーを開けます。

② 4ピンプリントポストと本体を固定しているねじ2本を取り外します。

③ 右上カバー内部の図の位置にあるレバーを押し、4ピンプリントポストを固定しているロックを解除します。

6

❖ 500枚フィニッシャーの取り外し

500枚フィニッシャーを取り外すときは、フィニッシャーを固定しているロックを解除しながら取り外します。

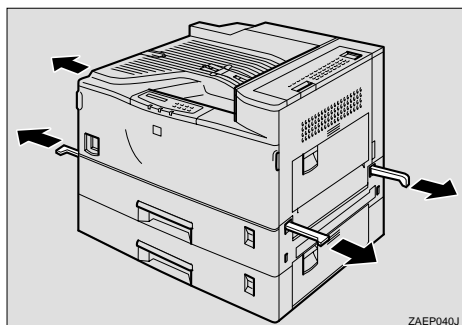
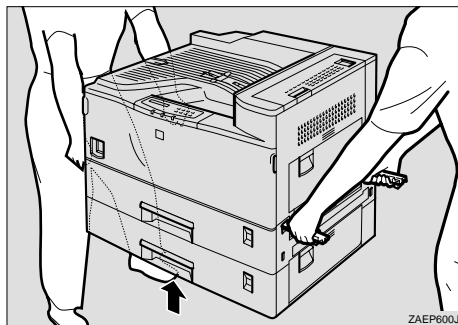
① 500枚フィニッシャー下面にあるロックを手前に引いて解除しながら持ち上げて、取り外します。

❖ 1000枚フィニッシャーの取り外し

1000枚フィニッシャーの取り外しについては、サービス実施店にご連絡ください。

6

重要

- ❒ ケーブル類はすべて取り外します。
- ❒ 精密機器ですので、輸送時に破損しないようご注意ください。

1 本体の側面から取っ手を２本ずつ引き出します。

2 前面に引き出した取っ手と背面の取っ手を２人以上で持ちます。

近くに移動するとき

1 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

2 インターフェースケーブルを取り外します。

3 水平を保ち、静かに動かしてください。

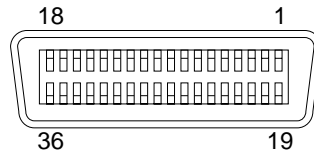
補足

- ❒ 転倒防止用のスタンドが引っ掛かり移動ができないときは、サービス実施店までご連絡ください。

廃棄

本機を廃棄したいときは、販売店またはサービス実施店に相談してください。

パラレルインターフェース仕様

パラレルインターフェース（セントロニクス準拠）の図を以下に示します。
図中の数字はピンNo.を表わします。

ピンNo.	信号名	ピンNo.	信号名
1	STROBE	19	GND($\overline{\text{STROBE}}$)
2	DATA0	20	GND(DATA0)
3	DATA1	21	GND(DATA1)
4	DATA2	22	GND(DATA2)
5	DATA3	23	GND(DATA3)
6	DATA4	24	GND(DATA4)
7	DATA5	25	GND(DATA5)
8	DATA6	26	GND(DATA6)
9	DATA7	27	GND(DATA7)
10	$\overline{\text{ACK}}$	28	GND(PERROR,SELECT,$\overline{\text{ACK}}$)
11	BUSY	29	GND(BUSY,$\overline{\text{FAULT}}$)
12	PERROR	30	GND($\overline{\text{AUTOFD}}$,$\overline{\text{SELECT IN}}$,$\overline{\text{INIT}}$)
13	SELECT	31	$\overline{\text{INIT}}$(Input Prime)
14	$\overline{\text{AUTOFD}}$	32	$\overline{\text{FAULT}}$
15	reserved	33	reserved
16	Logic GND	34	reserved
17	Chassis GND	35	reserved
18	Peripheral Logic High	36	$\overline{\text{SELECT IN}}$

消耗品一覧

⚠注意

- トナー等の消耗品や部品は、リコー指定の製品により、安全性を評価しています。安全にご使用いただくため、リコー指定の消耗品または交換部品をご使用ください。部品の交換はサービス実施店に相談してください。

❖ トナー

商品名	販売単位	印刷可能ページ数*	商品コード
IPSiOトナー タイプ800	１個	10,000ページ	307720

*:A4▯5%チャートを印刷した場合の目安です。実際の印刷ページ数は、印刷する用紙の種類・サイズ、印刷内容、環境条件によって異なります。トナーは使用期間によっても劣化するため、上記ページ数より早く交換が必要になる場合があります。なおトナー（消耗品）は保証対象外です。ただし、ご購入になった時点で不具合があった場合は購入された販売店までご連絡ください。

❖ 感光体ユニット

商品名	販売単位	印刷可能ページ数*	商品コード
感光体ユニット タイプ810	１個	約60,000ページ	307796

*:A4▯5%チャートを印刷した場合の目安です。実際の印刷ページ数は、印刷する用紙の種類・サイズ、印刷内容、環境条件によって異なります。感光体ユニットは使用期間によっても劣化するため、上記目安より早く交換が必要になる場合があります。なお感光体ユニットは保証対象外です。ただし、ご購入になった時点で不具合があった場合は購入された販売店までご連絡ください。

❖ 用紙

種類	商品名	サイズ	販売単位
普通紙	リコピー PPC用紙 タイプ6200	A3	1ケース（250枚×5パック）
		A4、A5、A6、B4、B5、B6、Letter(8 1/2×11)、Legal(8 1/2×14)	1ケース（250枚×10パック）
	乾式PPC用紙 マイペーパー	A3	1ケース（250枚×5パック）
		A4、B4、B5、Letter(8 1/2×11)、Legal(8 1/2×14)	1ケース（500枚×5パック）
		A5、B6	1ケース（250枚×10パック）
カラー紙	リコピー PPC用紙 タイプCP（ピンク） タイプCB（ブルー） タイプCY（イエロー） タイプCG（グリーン）	A3	1ケース（250枚×5パック）
		A4、B4、B5	1ケース（250枚×10パック）
再生紙	リサイクルペーパー 紙源PPC用 タイプS	A3	1ケース（500枚×3パック）
		A4、B4、B5	1ケース（500枚×5パック）
第二原図用紙	リコピー PPC用紙 タイプTA	A3	1ケース（200枚×5パック）
		A4、B4、B5	1ケース（200枚×10パック）
OHPフィルム	OHPフィルム TYPE PPC-DX	A4、B4	1パック（100枚入り）
ハクリ紙	リコピー PPC用紙 タイプSA	A4、B4	1パック（100枚入り）

❖ ステープラーの針

商品名	容量	販売単位	商品コード
リコー PPCステープラー針 タイプG	3,000針／ カートリッジ	1ケース（カートリッジ1個 ＋リフィール針3個）	316283

関連商品一覧

メンテナンスキット

❖ **メンテナンスキット タイプ800（商品コード：307725）**
転写ローラー、定着ユニット、フリクションパッド４個、給紙コロ４個とオプションの2000枚給紙テーブル用の給紙コロ３個が含まれています。「メンテキットコウカン」のメッセージが表示されたら交換してください。
＊：メンテナンスキットは、目安として約120,000ページ（A4）印刷するたびに交換が必要です。実際の印刷可能ページ数は、印刷する用紙の種類・サイズ、印刷内容、環境条件によって異なります。メンテナンスキットは使用期間によっても劣化するため、上記目安より早く交換が必要になる場合があります。

外部オプション

❖ **500枚増設トレイユニット タイプ800（商品コード：307709）**
最大500枚の用紙をセットできます。標準装備の給紙トレイと合わせると、1,500枚の用紙を一度にセットすることができます。

❖ **1000枚給紙テーブル タイプ800（商品コード：307710）**
最大500枚の用紙をセットできる給紙トレイを２段増やすことができます。標準装備の給紙トレイと合わせると2,000枚の用紙を一度にセットすることができます。

❖ **2000枚給紙テーブル タイプ800（商品コード：307711）**
A4、Letterの用紙を最大2,000枚セットできます。標準装備の給紙トレイと1000枚給紙テーブルと合わせると最大3,000枚の用紙を一度にセットすることができます。

❖ **手差しトレイ タイプ800（商品コード：307722）**
給紙トレイにセットできないサイズの用紙やハガキなどの厚紙、OHPフィルム、ハクリ紙などを、最大100枚セットできます。

❖ **両面印刷ユニット タイプ810（商品コード：307784）**
用紙の両面に印刷することができます。

❖ **分岐ユニット タイプ800（商品コード：307716）**
両面ユニット、４ビンプリントポストを取り付けるときに使用します。

❖ **4ビンプリントポスト タイプ800（商品コード：307714）**
印刷するときに排紙するビンを指定することができます。排紙量は、各ビンに約125枚です。

❖ **500枚フィニッシャー タイプ810（商品コード：307794）**
シフトソートなどの仕分け印刷、ステープルなどの後処理が可能になります。排紙量は最大500枚です。

❖ **1000枚フィニッシャー タイプ800（商品コード：307713）**
シフトソートなどの仕分け印刷、ステープルなどの後処理が可能になります。排紙量は最大1,000枚です。

❖ **排紙中継ユニット タイプ810（商品コード：307795）**
フィニッシャーと本体排紙トレイへの排紙を仕分けます。フィニッシャーを取り付けるときに使用します。

SDRAMモジュール

❖ **SDRAMモジュールⅡ 32MB（商品コード：307779）、64MB（商品コード：307780）、128MB（商品コード：307781）**
メモリーは標準で16Mバイト装備しています。SDRAMモジュールを増設することで、マクロキャッシュを設定したときも、大きなサイズの用紙に両面で印刷できるようになります。

マルチエミュレーションモジュール

❖ **マルチエミュレーションモジュール タイプ810（商品コード：307798）**
R-PS2、RP-GL/2、5577、RTIFFすべてを包含したエミュレーションです。本機をいろいろな環境から使用する場合、このエミュレーションをご利用ください。

- **R-PS2**
  本機を日本語ポストスクリプトレベル 2 互換のプリンターとして使用できるようにします。Windows環境以外にもMacintosh、UNIXから印刷できるようにします。
- **RP-GL/2**
  Hewlett Packard社で開発されたペンプロッター制御用グラフィック言語HP-GL（Hewlett Packard Graphic Language）をエミュレーションしたRP-GLモード、ラスタープロッター制御用グラフィック言語HP-GL/2およびイメージデータを作画するために開発されたグラフィック言語HP RTL（HP`s Raster trasfer Language）をエミュレーションしたRP-GL/2モードに対応しています。「HP7550A」系、「DJ600」系で印刷できるCADソフトからの印刷ができるようになります。
- **5577**
  IBM5553、5577–F01、F02プリンターで印刷していた方が、本機で印刷できるようにするエミュレーションです。
- **RTIFF**
  UNIXワークステーションやパソコンからTIFF(Tagged Image File Format)形式のビットマップイメージデータを、本機で印刷できるようにするエミュレーションです。

拡張HDD

❖ **拡張HDD タイプA（商品コード：307370）**
ソート印刷や試し印刷、機密印刷をしたり、フォントやフォームの登録をすることができます。

インターフェースケーブル

- ❖ LP**インターフェースケーブル タイプ**1B**（商品コード：**307273**）**
  NEC PC-9800シリーズ 双方向通信対応 2.5m

- ❖ LP**インターフェースケーブル タイプ**4B**（商品コード：**307274**）**
  IBM PS/Vシリーズ、各社DOS/V機、PC98–NXシリーズ 双方向通信対応 2.5m

- ❖ LP**インターフェースケーブル タイプ**4S**（商品コード：**307470**）**
  IBM PS/Vシリーズ、各社DOS/V機、PC98–NXシリーズ 双方向通信対応 1.5m

- ❖ USB**変換プリンターケーブル（商品コード：**307727**）**
  パラレル/USB変換ケーブル 2m

仕様

項目	内容
現像方式	レーザービーム走査＆乾式2成分電子写真方式 乾式静電方式
印刷スピード	ファーストプリント：７秒未満（A4印刷時） 複数枚印刷：32ページ/分（A4印刷時）
解像度	600dpi/400dpi
エッジスムージング	2,400dpi相当×600dpi *:データ解像度600dpi時
変倍率	変倍率設定：40～200%（1%きざみ）
倍率誤差	±0.5%以下
用紙サイズ	トレイ１：A3、B4、A4、B5、A5、11×17、Legal(8 1/2×14)、Letter(8 1/2×11)、5 1/2×8 1/2
	トレイ２：A3、B4、A4、B5、A5、B6、A6、はがき、11×17、Legal(8 1/2×14)、Letter(8 1/2×11)、5 1/2×8 1/2、不定形サイズ（フリー）：縦148～432mm、横100～297mm
用紙種類	普通紙（リコピー PPC用紙 タイプ6200、リコピー PPC用紙 タイプ6000、乾式PPC用紙 マイペーパー） 再生紙（リサイクルペーパー紙源PPC用 タイプS） カラー紙（リコピー PPC用紙 タイプCP80、CB80、CY80、CG80） ハクリ紙（リコピー PPC用紙 タイプSA） OHPフィルム（リコー OHPフィルム TYPE PPC-DX） 第二原図用紙（リコピー PPC用紙 タイプTA） 官製はがき
給紙量	1,000枚（500枚×2段）
最大給紙量	3,100枚（2000枚給紙テーブル、手差しトレイ取り付け時）
排紙量	500枚
排紙方法	裏面排紙
電源	100V 10A 50/60Hz
消費電力	最大消費電力：950W以下 平均消費電力：600W以下 省エネモード時消費電力：28W以下
ウォーミングアップ時間	45秒以下
形式	デスクトップタイプ
外形寸法（幅×奥×高）	本体：550×538×516mm、フルオプション：950×538×1140mm
質量	約40Kg（本体のみ）
騒音	65dB以下（オプション未装着時）

6

項目	内容
CPU	RM5261-200
メモリー	標準：16Mバイト、最大：144Mバイト
インターフェース	IEEE1284準拠双方向パラレル、100Base-TX/10Base-T イーサネット
ページ記述言語	RPDL IV
エミュレーション	標準装備：R98(NEC PC-PR201H)、R16(EPSON ESC/P) オプション：IBM5577、HP7475A/7550A、HP-GL/2+HP RTL(Design Jet600)、RICOH-SCRIPT2、RTIFF
搭載フォント	アウトライン：明朝L、明朝Lプロポーショナル、ゴシックB、ゴシックBプロポーショナル、ゴシックM、AR-RICOH(Normal、Bold、Italic、Bold-Italic)、CN-RICOH(Normal、Bold、Italic、Bold-Italic)、TN-RICOH(Normal、Bold、Italic、Bold-Italic)、CE-RICOH、SM-RICOH、WD-RICOH、Courier10、PrestigeElite、LetterGothic15、BoldFacePS、OCR-B
	ビットマップ：Courier10、PrestigeElite、LetterGothic15、BoldFacePS、OCR-B、漢字ストローク
バーコード	JAN(標準)、JAN(短縮)、2of5(Matrix)、2of5(ITF)、2of5(Industrial)、CODE39、CODE128(B)、NW-7、UPC(A)、UPC(E)、カスタマバーコード

❖ 500枚増設トレイユニット タイプ800

項目	内容
用紙サイズ	A3、B4、A4、B5、A5、11×17、Legal(8 1/2×14)、Letter(8 1/2×11)、5 1/2×8 1/2
給紙量	500枚
外形寸法（幅×奥×高さ）	550×520×134mm
質量	約11Kg
最大消費電力	約45W（電源は本体から供給）

❖ 1000枚給紙テーブル タイプ800

項目	内容
用紙サイズ	A3、B4、A4、B5、A5、11×17、Legal(8 1/2×14)、Letter(8 1/2×11)、5 1/2×8 1/2
給紙量	1,000枚（500枚×2段）
外形寸法（幅×奥×高さ）	660×675×271mm（転倒防止部材を含む）
質量	約22.8kg
最大消費電力	約45W（電源は本体から供給）

❖ 2000枚給紙テーブル タイプ800

項目	内容
用紙サイズ	A4、Letter(8 1/2×11)
給紙量	2,000枚
外形寸法（幅×奥×高さ）	660×675×271mm（転倒防止部材を含む）
質量	約22.8kg
最大消費電力	約45W（電源は本体から供給）

❖ 両面印刷ユニット タイプ810

項目	内容
両面印刷できるサイズ	A3、B4、A4、B5、A5、11×17、Legal(8 1/2×14)、Letter(8 1/2×11)
外形寸法（幅×奥×高さ）	90×495×455mm
質量	約6.6kg
最大消費電力	約20W（電源は本体から供給）

❖ 手差しトレイ タイプ800

項目	内容
用紙サイズ	A3、B4、A4、B5、A5、B6、 はがき、11×17、Legal(8 1/2×14)、 Letter(8 1/2×11)、5 1/2×8 1/2、 不定形サイズ（縦148mm～1260mm、横 90～297mm）
給紙量	100枚
外形寸法（幅×奥×高さ）	125×495×163mm
質量	約2.5kg

❖ 4ビンプリントポスト タイプ800

項目	内容
収容できる用紙サイズ	A3、B4、A4、B5、A5、11×17、Legal(8 1/2×14)、Letter(8 1/2×11)
排紙量（A4のとき）	１ビンあたり約125枚
外形寸法（幅×奥×高）	440×520×370mm（足含まず）
質量	約7.1Kg
最大消費電力	約17W（電源は本体から供給）

❖ 500枚フィニッシャー タイプ810

項目	内容
ステープルできる用紙サイズ	A3、B4、A4、B5、11×17、Legal(8 1/2×14)、Letter(8 1/2×11)
ステープルできる用紙枚数	A4、Letter(8 1/2×11)以下：30枚 B4、Legal(8 1/2×14)以上：20枚
排紙量（A4のとき）	約500枚
外形寸法（幅×奥×高さ）	350×490×230mm
質量	約8.3kg
最大消費電力	約164W（排紙中継ユニットを含む　電源は本体から供給）

❖ 1000枚フィニッシャー タイプ800

項目	内容
ステープルできる用紙サイズ	A3、B4、A4、B5、11×17、 Legal(8 1/2×14)、Letter(8 1/2×11)
ステープルできる用紙枚数	A4、Letter(8 1/2×11)以下：30枚 B4、Legal(8 1/2×14)以上：20枚
排紙量（A4のとき）	約1,000枚
外形寸法（幅×奥×高さ）	568×520×625mm（足含まず）
質量	約21Kg
最大消費電力	約164W（排紙中継ユニットを含む　電源は本体から供給）

❖ 排紙中継ユニット タイプ810

項目	内容
収容できる用紙サイズ	A3、B4、A4、B5、A5、B6、 はがき、11×17、Legal(8 1/2×14)、 Letter(8 1/2×11)、5 1/2×8 1/2、 不定形サイズ（縦148～1260mm、横90～297mm）
排紙量（A4のとき）	約250枚
外形寸法	443×497×156mm
質量	約4.5Kg

用語解説

用語	解説
ANKフォント	アルファベット（Alphabet）、数字（Numeric）、カナ（Kana）フォントの総称です。
dpi（Dots Per Inch）	１インチ（25.4mm）あたりに印刷できるドット数を表し、解像度の単位として使われます。数字が大きいほど精細な印刷ができます。
ESC/P®	エプソン社のプリンターで印刷するためのコントロールコード。（⇒R16）
Ethernet®	LAN（Local Area Network）で使用されるネットワークプロトコルの規格の１つです。LANとは、１つの会社など比較的狭い範囲で、コンピューター、プリンターなどを接続し、共有するネットワークをいいます。Ethernetによるネットワークが構築してあれば、オプションのネットワークボードを使用して、本機をネットワークプリンターとして使用できます。
HP-GL®、HP-GL/2®、HP RTL®	米国Hewlett-Packard社が開発した、プロッタ用グラフィック言語。ペンプロッター用に開発された言語が HP-GL、ラスタープロッター用に開発された言語がHP-GL/2、イメージデータを作画するために開発された言語がHP RTLです。（⇒RP-GL、RP-GL/2）
PC-PR201H	NECのドットプリンター。（⇒R98）
R-PS2（RICOH-SCRIPT2）	Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）のPostScript Level2 に準拠してリコーが独自に開発したインタープリターです。インタープリターとは、PostScriptデータを解析し、印刷できるデータに変換するソフトウェアです。オプションのマルチエミュレーションモジュールを取り付けると本機をPostScriptプリンターとして使用できるようになります。
R16	エプソン社のドットプリンター VP-1600をエミュレーションして印刷するモードです。パソコンからESC/Pのコマンド体系で送信されてきたデータを印刷することができます。（⇒ESC/P）
R55	IBMのドットプリンター 5553、577-F01、5577-F02をエミュレーションして印刷するモードです。オプションです。
R98	NECのドットプリンター PC-PR201Hをエミュレーションして印刷するモードです。（⇒PC-PR201H）
RP-GL、RP-GL/2	RP-GLはHP-GLをエミュレーションして印刷するモード、RP-GL/2は、HP-GL/2、HP RTLをエミュレーションして印刷するモードです。オプションのマルチエミュレーションモジュールを使用するとRP-GLとRP-GL/2の両方に対応できます。（⇒HP-GL、HP-GL/2、HP RTL）
RPDL（RICOH Page Description Language）	リコーの日本語プリンター用のページ記述言語、つまりパソコンから送信されてきたデータを印刷するためのコマンド体系です。（⇒ページ記述言語） プリンターの解像度により種類が分かれており、本機にはRPDL IVが搭載されています。
RTIFF	UNIXワークステーションやパソコンからTIFF（Tagged Image File Format）形式のビットマップデータを印刷するエミュレーションです。

TrueType**フォント**	Windowsに標準で搭載されているアウトラインフォント。TrueTypeフォントを使用すると、画面でみたままのフォントをイメージデータとして印刷ができます。また、高速で印刷したい場合は、TrueTypeフォントの置き換えの機能を使用して画面上ではTrueTypeフォント、印刷はプリンターフォントを使用することもできます。
USB	パソコンと周辺機器を接続するシリアルインターフェース規格です。キーボードやマウス、プリンターなどの周辺機器を最大127台まで接続でき、周辺機器の用途に応じて1.5Mbit/秒または12Mbit/秒の速度で通信できます。また、プラグアンドプレイ機能だけでなく電源を入れたままで接続できるホットプラグ機能にも対応しており、パソコンと周辺機器を簡単に接続できます。(⇒プラグアンドプレイ)
印刷先のポート	印刷データのパソコンからの出力先です。たとえば、プリンターとパソコンをパラレルインターフェースケーブルで接続した場合、パソコンは印刷データをプリンタポート(LPT1)に出力します。ネットワークプリンターに印刷する場合は、ネットワークの形態により印刷先のポートが変わります。
トナーセーブ	トナーを節約しながら印刷するモード。
エミュレーション	エミュレーションとは、「まねをする」という意味です。つまり、本機がほかのプリンターのまねをして動作するモードです。たとえば、エミュレーションをR16にすることによって、本機でVP-1600と同じように印刷することができます。
グラフィックスコマンド	直線、円、楕円などの図形を印刷するためのコマンド。
プラグアンドプレイ	Windows® 95/98、Windows® 2000で、パソコンに新しい周辺機器や拡張カードなどを接続したとき、自動的に必要な情報が設定され、すぐに使用できるようになる機能です。周辺機器がプラグアンドプレイに対応している必要があります。本機はプラグアンドプレイに対応しています。
プリンタのプロパティ	Windows® 95/98、Windows® 2000で印刷するときに、個々のプリンターの機能に応じて、印刷の条件を設定する画面です。
プロポーショナルフォント	幅の広い文字と狭い文字を同じ文字幅で印刷すると文字間隔が空きすぎてバランスが悪くなることがあります。プロポーショナルフォントとは、文字がバランスよく並ぶように、それぞれの文字の幅が調整されたフォントのことです。Windows® 95/98、Windows® NT4.0に標準で搭載されているMS P明朝とMS Pゴシックはプロポーショナルフォントです。
ヘキサダンプ	パソコンから送信されてきたデータを16進数で印刷する機能です。印刷に不良が生じた場合など、送信されてきたコマンドやデータを解析するために使用します。
スムージング機能	文字や図形の輪郭のギザギザを自動的になめらかにする機能。
ページ記述言語	ページ記述言語とは、パソコンから送信されてきたデータをページプリンターで印刷するためのコマンド体系のことです。通常パソコンで作成したデータをプリンターで印刷する場合、パソコンのデータをプリンターが理解できるコマンドに置き換えて送信します。この、プリンターが理解できるコマンド体系をプリンターコマンドといい、その中でもページプリンターで使用されるコマンド体系をページ記述言語と呼びます。

ページメモリー	パソコンからデータが送信されてくると、プリンターは、送信されてきたコマンドを解釈し、いったん、ページごとにプリンター内部でビットマップデータに展開します。この展開されたデータを記憶させておくメモリーをページメモリーといいます。展開されたデータはページ単位で印刷されるため、ページメモリーに１ページ分しか入らない場合、２ページ目は１ページ目のデータを排出したあとに展開されます。ページメモリーに２ページ分のデータが入る場合は、１ページ目のデータ排出を待たずに、２ページ目を展開できるので、高速に印刷できます。ビットマップメモリー、フレームメモリーと呼ばれることもあります。
マクロキャッシュ機能	印刷のためにビットマップメモリーに展開したフォームデータをプリンターのメモリー上に蓄えておくことができます。同じフォームを使用する際には、キャッシュされたフォームを使用することにより、より高速なフォームオーバーレイ出力を実現します。
受信バッファ	パソコンから送信されてきたデータを一時的に記憶させるメモリー。

索引

アルファベット索引

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

や行

ら行

機械の改良変更等により、本書のイラストや記載事項とお客様の機械とが一部異なる場合がありますのでご了承ください。

おことわり

1. 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
2. 本製品（ハードウエア、ソフトウエア）および使用説明書（本書・付属説明書）を運用した結果の影響については、いっさい責任を負いかねますのでご了承ください。
3. 本書の一部または全部を無断で複写、複製、改変、引用、転載することはできません。